





10
①

神武天皇紀元二千五百六十七年
西曆紀元一千九百〇七年

明治
十年
當用日記

東京博文館發行

1907	S	M	T	W	T	F	S	四明 十年治	S	M	T	W	T	F	S
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
JAN.	1	2	3	4	5	JULY	...	1	2	3	4	5	6
一	6	7	8	9	10	11	12	七	7	8	9	10	11	12	13
月	13	14	15	16	17	18	19	月	14	15	16	17	18	19	20
	20	21	22	23	24	25	26		21	22	23	24	25	26	27
	27	28	29	30	31		28	29	30	31	
FEB.	1	2	AUG.	1	2	3
二	3	4	5	6	7	8	9	八	4	5	6	7	8	9	10
月	10	11	12	13	14	15	16	月	11	12	13	14	15	16	17
	17	18	19	20	21	22	23		18	19	20	21	22	23	24
	24	25	26	27	28		25	26	27	28	29	30	31
MAR.	1	2	SEP.	1	2	3	4	5	6	7
三	3	4	5	6	7	8	9	九	8	9	10	11	12	13	14
月	10	11	12	13	14	15	16	月	15	16	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
	24	25	26	27	28	29	30		29	30	
	31	
APR.	...	1	2	3	4	5	6	OCT.	1	2	3	4	5
四	7	8	9	10	11	12	13	十	6	7	8	9	10	11	12
月	14	15	16	17	18	19	20	月	13	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26	27		20	21	22	23	24	25	26
	28	29	30		27	28	29	30	31	...	
MAY	1	2	3	4	NOV.	1	2
五	5	6	7	8	9	10	11	十一	3	4	5	6	7	8	9
月	12	13	14	15	16	17	18	月	10	11	12	13	14	15	16
	19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
	26	27	28	29	30	31	...		24	25	26	27	28	29	30
JUNE	1	2	DEC.	1	2	3	4	5	6	7
六	3	4	5	6	7	8	9	十二	8	9	10	11	12	13	14
月	10	11	12	13	14	15	16	月	15	16	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
	24	25	26	27	28	29	30		29	30	31	
	31	

○ 皇 室

百二十一代 今上天皇 御名 睦仁 孝明天皇第二皇子		皇 后 宮 御名 美子 故從一位 格 忠香公第三女		皇 太 子 御名 嘉仁 第三皇子		皇 太 子 妃 御名 節子 比叡親王九女 第四女		昌子內親王 常宮 御生誕 明治二十一年九月三十日		房子內親王 周宮 御生誕 明治二十三年一月二十八日		允子內親王 富美宮 御生誕 明治二十四年八月七日		聰子內親王 泰宮 御生誕 明治二十九年五月十一日	
御降誕 嘉永五年壬子九月二十二日 陽曆十一月三日		御元服 慶應四年戊辰正月十五日 陽曆三月九日		御生誕 明治十二年八月三十一日		御生誕 明治十七年六月二十五日		裕仁親王 迪宮 御生誕 明治三十四年四月二十九日		雍仁親王 淳宮 御生誕 明治三十五年六月二十五日		宣仁親王 光宮 御生誕 明治三十八年一月三日			
立太子 東宮宣下 明治二十年八月三十一日		宣 皇 后 明治元年戊辰十二月二十八日		太子妃 御入興 明治三十三年五月十日											
大嘗會 明治四年辛未十一月十七日		宣 皇 后 明治元年戊辰十二月二十八日		太子妃 御入興 明治三十三年五月十日											
御即位 明治元年戊辰八月二十七日		宣 皇 后 明治元年戊辰十二月二十八日		太子妃 御入興 明治三十三年五月十日											

明治十四年日曜大祭祝日表

大陰曆 六月廿六日 小陰曆 七月廿七日 大陰曆 八月廿八日 小陰曆 九月廿九日 大陰曆 十月三十日 小陰曆 十一月	日祭大日祝 ●●●●● 新天神秋地 嘗長嘗皇久 祭節祭祭節 十一月廿三日 十一月十七日 十月二十四日 五月二十八日	神武天皇即位 紀元一千五百六十七年	日祭大日祝 ●●●●● 神春紀孝元四 武季明天皇始方 皇靈皇皇拜 祭祭節祭祭拜 四月三日 三月二十一日 二月三十日 一月一日	大陽曆 七月一日 八月二日 九月三日 十月四日 十一月五日 十二月六日
表曜日		表曜日		
十二月	十一月	十月	九月	八月
一日	三日	六日	一日	四日
八日	十日	十三日	八日	十一日
十五日	十七日	二十日	十五日	十八日
廿二日	廿四日	廿七日	廿二日	廿五日
廿九日			廿九日	
				七月
				七日
				十四日
				廿一日
				廿八日
				六月
				六日
				十三日
				二十日
				廿七日
				四月
				三日
				十日
				十七日
				廿四日
				卅一日
				三月
				二日
				九日
				十六日
				廿三日
				三十日
				二月
				一月
				六日
				十三日
				二十日
				廿七日
				五月
				四日
				十一日
				十八日
				廿五日
				三月
				二日
				九日
				十六日
				廿三日
				三十日
				一月
				八日
				十五日
				廿二日
				廿九日
				一月
				八日
				十五日
				廿二日
				廿九日
				二月
				一日
				八日
				十五日
				廿二日
				廿九日
				三月
				二日
				九日
				十六日
				廿三日
				三十日
				四月
				三日
				十日
				十七日
				廿四日
				卅一日
				五月
				四日
				十一日
				十八日
				廿五日
				六月
				五日
				十二日
				十九日
				廿六日
				七月
				六日
				十三日
				二十日
				廿七日

洋曆紀元一千九百十七年
清曆光緒三十三年
韓曆光武十一年

神武天皇即位紀元年數の四を以て整除し得べき年
を閏年とす。但し起元年數より六百六十に減じて
百を以て整除し得べきものうち更に四を以て其
の商を整除し得ざる年は平年とす
(明治三十一年勅令第九十號)

寒 暖	天 氣	日 二 月 一	辛 亥	水 曜
信 談		十一月十八日 兄 俊作 (四) 祖母の愛 二歳の男の子の世に 見えて来り		
訪 注				
時 分	時 分			
時 分	時 分	尊 就 床 起 時 分		

寒 暖	天 氣	日 三 月 一	壬 子	木 曜
信 談		十一月十九日 元始祭		
訪 注				
時 分	時 分			
時 分	時 分	尊 就 床 起 時 分		

大正十四年一月

月

五

月

四

松梅垣土三白川山崎

(外竹) 水断是瓊玻尺徑。響然鏗網舉人漁

寒 暖	天 氣	日 七 月 一	丙 辰	月 曜
信	談	訪	注	曆 十一 月 廿 三 日
九	時	時	分	分

(年九卅) る成園内寺園四し解瓦閣内桂 (年八卅) く設を府守鎮に口順旅

41 2.2 16 2.66
17 41 32 2153
27 32 180 180
52 16 4 32 32 180 180

(蕉芭) りよた初の勢伊やばか聞に葉蓬

寒 暖	天 氣	日 六 月 一	乙 卯	月 曜
信	談	訪	注	曆 十一 月 廿 二 日
九	時	時	分	分

(年八卅) す没沈艦旗の隊艦クツナルバ

(許) 來水春消雪蜀巴。出山暮盡雲潭湘

寒 暖	天 氣	日 三 十 月 一	壬 戌	日曜
十一月廿九日				
信	發	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
訪	注	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
就	床	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
時	時	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
分	分	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110

(年八廿) 才設創を隊艇水潛に軍我

月

一五

10769
10765
10766

(已推) 哉夜雨るたいつの寂に月正

寒 暖	天 氣	日 二 十 月 一	辛 酉	日曜
十一月廿八日				
信	發	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
訪	注	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
就	床	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
時	時	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110
分	分	1030 230 645	505 350 508 100 15 20 30 10	450 22 22 30 110 110 110 110

(年九廿) 旋凱將大奥及下殿宮本梨

月

一四

(許) 風還夜浪吹我江。雨亦晴雲拂燕石

寒 暖	天 氣	日 五 十 月 一	甲 子	火 曜
信 敬				
<p>10:00 起床</p> <p>10:15 洗面</p> <p>10:30 朝食</p> <p>10:45 掃除</p> <p>11:00 読書</p> <p>11:15 雑用</p> <p>11:30 掃除</p> <p>11:45 読書</p> <p>12:00 掃除</p> <p>12:15 雑用</p> <p>12:30 掃除</p> <p>12:45 読書</p> <p>13:00 掃除</p> <p>13:15 雑用</p> <p>13:30 掃除</p> <p>13:45 読書</p> <p>14:00 掃除</p> <p>14:15 雑用</p> <p>14:30 掃除</p> <p>14:45 読書</p> <p>15:00 掃除</p> <p>15:15 雑用</p> <p>15:30 掃除</p> <p>15:45 読書</p> <p>16:00 掃除</p> <p>16:15 雑用</p> <p>16:30 掃除</p> <p>16:45 読書</p> <p>17:00 掃除</p> <p>17:15 雑用</p> <p>17:30 掃除</p> <p>17:45 読書</p> <p>18:00 掃除</p> <p>18:15 雑用</p> <p>18:30 掃除</p> <p>18:45 読書</p> <p>19:00 掃除</p> <p>19:15 雑用</p> <p>19:30 掃除</p> <p>19:45 読書</p> <p>20:00 掃除</p> <p>20:15 雑用</p> <p>20:30 掃除</p> <p>20:45 読書</p> <p>21:00 掃除</p> <p>21:15 雑用</p> <p>21:30 掃除</p> <p>21:45 読書</p> <p>22:00 掃除</p> <p>22:15 雑用</p> <p>22:30 掃除</p> <p>22:45 読書</p> <p>23:00 掃除</p> <p>23:15 雑用</p> <p>23:30 掃除</p> <p>23:45 読書</p> <p>24:00 掃除</p>				
訪 注				
<p>10:00 起床</p> <p>10:15 洗面</p> <p>10:30 朝食</p> <p>10:45 掃除</p> <p>11:00 読書</p> <p>11:15 雑用</p> <p>11:30 掃除</p> <p>11:45 読書</p> <p>12:00 掃除</p> <p>12:15 雑用</p> <p>12:30 掃除</p> <p>12:45 読書</p> <p>13:00 掃除</p> <p>13:15 雑用</p> <p>13:30 掃除</p> <p>13:45 読書</p> <p>14:00 掃除</p> <p>14:15 雑用</p> <p>14:30 掃除</p> <p>14:45 読書</p> <p>15:00 掃除</p> <p>15:15 雑用</p> <p>15:30 掃除</p> <p>15:45 読書</p> <p>16:00 掃除</p> <p>16:15 雑用</p> <p>16:30 掃除</p> <p>16:45 読書</p> <p>17:00 掃除</p> <p>17:15 雑用</p> <p>17:30 掃除</p> <p>17:45 読書</p> <p>18:00 掃除</p> <p>18:15 雑用</p> <p>18:30 掃除</p> <p>18:45 読書</p> <p>19:00 掃除</p> <p>19:15 雑用</p> <p>19:30 掃除</p> <p>19:45 読書</p> <p>20:00 掃除</p> <p>20:15 雑用</p> <p>20:30 掃除</p> <p>20:45 読書</p> <p>21:00 掃除</p> <p>21:15 雑用</p> <p>21:30 掃除</p> <p>21:45 読書</p> <p>22:00 掃除</p> <p>22:15 雑用</p> <p>22:30 掃除</p> <p>22:45 読書</p> <p>23:00 掃除</p> <p>23:15 雑用</p> <p>23:30 掃除</p> <p>23:45 読書</p> <p>24:00 掃除</p>				
時	時			
分	分			

(年九卅) るらせは行なめ始書講御て於に中宮

月 一七

(美成) 哉ひ笑む込れは鞠手に鍋汁

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 一	癸 亥	月 曜
信 敬				
<p>10:00 起床</p> <p>10:15 洗面</p> <p>10:30 朝食</p> <p>10:45 掃除</p> <p>11:00 読書</p> <p>11:15 雑用</p> <p>11:30 掃除</p> <p>11:45 読書</p> <p>12:00 掃除</p> <p>12:15 雑用</p> <p>12:30 掃除</p> <p>12:45 読書</p> <p>13:00 掃除</p> <p>13:15 雑用</p> <p>13:30 掃除</p> <p>13:45 読書</p> <p>14:00 掃除</p> <p>14:15 雑用</p> <p>14:30 掃除</p> <p>14:45 読書</p> <p>15:00 掃除</p> <p>15:15 雑用</p> <p>15:30 掃除</p> <p>15:45 読書</p> <p>16:00 掃除</p> <p>16:15 雑用</p> <p>16:30 掃除</p> <p>16:45 読書</p> <p>17:00 掃除</p> <p>17:15 雑用</p> <p>17:30 掃除</p> <p>17:45 読書</p> <p>18:00 掃除</p> <p>18:15 雑用</p> <p>18:30 掃除</p> <p>18:45 読書</p> <p>19:00 掃除</p> <p>19:15 雑用</p> <p>19:30 掃除</p> <p>19:45 読書</p> <p>20:00 掃除</p> <p>20:15 雑用</p> <p>20:30 掃除</p> <p>20:45 読書</p> <p>21:00 掃除</p> <p>21:15 雑用</p> <p>21:30 掃除</p> <p>21:45 読書</p> <p>22:00 掃除</p> <p>22:15 雑用</p> <p>22:30 掃除</p> <p>22:45 読書</p> <p>23:00 掃除</p> <p>23:15 雑用</p> <p>23:30 掃除</p> <p>23:45 読書</p> <p>24:00 掃除</p>				
訪 注				
<p>10:00 起床</p> <p>10:15 洗面</p> <p>10:30 朝食</p> <p>10:45 掃除</p> <p>11:00 読書</p> <p>11:15 雑用</p> <p>11:30 掃除</p> <p>11:45 読書</p> <p>12:00 掃除</p> <p>12:15 雑用</p> <p>12:30 掃除</p> <p>12:45 読書</p> <p>13:00 掃除</p> <p>13:15 雑用</p> <p>13:30 掃除</p> <p>13:45 読書</p> <p>14:00 掃除</p> <p>14:15 雑用</p> <p>14:30 掃除</p> <p>14:45 読書</p> <p>15:00 掃除</p> <p>15:15 雑用</p> <p>15:30 掃除</p> <p>15:45 読書</p> <p>16:00 掃除</p> <p>16:15 雑用</p> <p>16:30 掃除</p> <p>16:45 読書</p> <p>17:00 掃除</p> <p>17:15 雑用</p> <p>17:30 掃除</p> <p>17:45 読書</p> <p>18:00 掃除</p> <p>18:15 雑用</p> <p>18:30 掃除</p> <p>18:45 読書</p> <p>19:00 掃除</p> <p>19:15 雑用</p> <p>19:30 掃除</p> <p>19:45 読書</p> <p>20:00 掃除</p> <p>20:15 雑用</p> <p>20:30 掃除</p> <p>20:45 読書</p> <p>21:00 掃除</p> <p>21:15 雑用</p> <p>21:30 掃除</p> <p>21:45 読書</p> <p>22:00 掃除</p> <p>22:15 雑用</p> <p>22:30 掃除</p> <p>22:45 読書</p> <p>23:00 掃除</p> <p>23:15 雑用</p> <p>23:30 掃除</p> <p>23:45 読書</p> <p>24:00 掃除</p>				
時	時			
分	分			

(年八卅) 才着に邦我下以ルセツテス將降 (年九卅) 旋凱將大木乃

月 一六

寒 暖	天 氣	日 一 月 二	辛 巳	全 曜
信	談	十二月十九日		
訪	注	<p> 河内 杖 岡 祭 一 日 日向 鷓 戸 祭 一 日 加賀 菅生石部祭 十 日 河内 四條 暖祭 十 二 日 </p>		
時 分	時 分	<p> 起 床 時 分 就 睡 時 分 </p>		

(年八卅) 賜下語勅し關に戰會壘溝黒 (年九卅) 慶開府監統

年中行事

十一日の紀元節は、神武天皇御即位記念の佳辰なり、陰曆にては正月朔日なりしを、陽曆によりて此日に改めらる。○此月初の午の日を初午とて、諸所の稻荷の神を祭る、今年は九日なれば廿一日二の午なり。○立春(此月の下旬)より初めて春となる、梅花漸やく東風に綻ぶべし。○五日諸寺にて釋迦涅槃會を行ふ。

節物時令

節分○立春○初春○梅○白梅○紅梅○探梅○看梅○春の雪○淡雪○雪解○殘雪○春風○東風○餘寒○初午○紙鳶○初霞○月梅○椿○鶯○初音○白魚○海苔○紀元節○下萌○初雷○青麥○早わらび○蕪花○つば蕪○根芹

食品月令

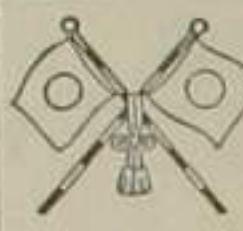
鱒○ほしかれひ○いか○春菊○土筆○露のとろろ○鶯菜○其他の食品多く一月に同じ

河内	杖	岡	祭	一	日
日向	鷓	戸	祭	一	日
加賀	菅生石部祭			十	日
河内	四條	暖祭		十	二 日

○二月中行事豫記


寒 暖	天 氣	日 六 月 二	丙 戌	水 曜
信 箋				
十二月廿四日				
訪 注				
暮 就 床 起				
時	時			
分	分			

寒 暖	天 氣	日 七 月 二	丁 亥	木 曜
信 箋				
十二月廿五日				
訪 注				
暮 就 床 起				
時	時			
分	分			

寒 暖	天 氣	日 一 十 月 二	辛 卯	月 曜
信	談	 紀元節 十二月廿九日		
詩	送			
時 分	時 分	<p>Handwritten notes in vertical columns, including names like 'Hatakeyama' and 'Matsuyama'.</p>		

二
月

四五

寒 暖	天 氣	日 十 月 二	庚 寅	日 曜
信	談	 十二月廿八日		
詩	送			
時 分	時 分	<p>Handwritten notes in vertical columns, including names like 'Hatakeyama' and 'Matsuyama'.</p>		

二
月

四四

寒 暖	天 氣	日 七 月 三	乙 卯	木 曜
信 敬		正月二十三日		
訪 談		<p>7036 7037 7038 7039 7040 7041 7042 7043 7044 7045 7046 7047 7048 7049 7050 7051 7052 7053 7054 7055 7056 7057 7058 7059 7060 7061 7062 7063 7064 7065 7066 7067 7068 7069 7070 7071 7072 7073 7074 7075 7076 7077 7078 7079 7080 7081 7082 7083 7084 7085 7086 7087 7088 7089 7090 7091 7092 7093 7094 7095 7096 7097 7098 7099 7100</p>		
時 分		時 分		

三
月

七〇

寒 暖	天 氣	日 八 月 三	丙 辰	全 曜
信 敬		正月二十四日		
訪 談		<p>7096 7097 7098 7099 7100 7101 7102 7103 7104 7105 7106 7107 7108 7109 7110 7111 7112 7113 7114 7115 7116 7117 7118 7119 7120 7121 7122 7123 7124 7125 7126 7127 7128 7129 7130 7131 7132 7133 7134 7135 7136 7137 7138 7139 7140 7141 7142 7143 7144 7145 7146 7147 7148 7149 7150 7151 7152 7153 7154 7155 7156 7157 7158 7159 7160 7161 7162 7163 7164 7165 7166 7167 7168 7169 7170 7171 7172 7173 7174 7175 7176 7177 7178 7179 7180 7181 7182 7183 7184 7185 7186 7187 7188 7189 7190 7191 7192 7193 7194 7195 7196 7197 7198 7199 7200</p>		
時 分		時 分		

三
月

七一

(註 郭) 安平竹靜畫并環。貴富花明春繡錦

寒 暖	天 氣	日 十 月 三	戊 午	曜 日
信 談		15-0		正月二十六日
詩 注				
時 分	時 分			

(年八卅) 予 領 占 を 天 奉 軍 我

(董 九) 市 歸 小 の 下 の 柳 ん み し ば し

寒 暖	天 氣	日 九 月 三	丁 巳	大 曜
信 談				正月二十五日
詩 注				
時 分	時 分			

(年九卅) ふ 行 な 式 典 授 位 學 の 士 博 學 醫 へ 氏 西 外 口 谷 て 於 に 室 臣 大 省 部 文

寒 暖	天 氣	日 十 二 月 三										戊 辰	水 曜
信 載		<p>1400 1400 400 200 100 100 100 100 100 100 100</p> <p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p> <p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p>										二月七日	
訪 注		<p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p> <p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p> <p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p>											
時 分		<p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p> <p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p> <p>1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000</p>											

三
月

八三

寒 暖	天 氣	日 九 十 月 三										丁 卯	火 曜
信 載												二月六日	
訪 注													
時 分													

三
月

八二

(王簡奏) 風旗酒店郵花杏。水斗科塘池柳楊

寒 暖	天 氣	日 十 三 月 三										戊 寅	大 曜
信 敬												曆 二 月 十 七 日	
訪 注		<p>Handwritten notes and numbers in the '訪注' section, including '89', '78', '65', '1909', '450', '38', '66', '56', '252', and various symbols like 'x' and 'o'.</p>											
時	時											時	時
分	分											分	分

(年九卅) りあ式授親御號稱御宮香朝に下殿王彦鳩 宮田竹に下殿土久恒

三
月

九三


(臺 曉) りなる流花の葉の雨の々唄

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 三										丁 丑	金 曜
信 敬												曆 二 月 十 六 日	
訪 注													
時	時											時	時
分	分											分	分

(年九廿) るらせ賜下を盃銀に貞議院兩

三
月

九二

寒 暖	天 氣	日一十三月三	己 卯	
信	設			二月十八日
詩	注			
時	時			
分	分			

(年八卅) 領占街花錦 (年三卅) 寸内參將少スル1ク官令司隊艦洋東國英

雨 霰 月 四 明 清 (節の中月三同) (節月三曆陰)

下美佐尾岩淡出山驗紀攝近山下山山大能山大
總作波張代路雲城河伊津江城總城和登城和

小中度奧靈伊須吉東熊生建平香稻護廣氣平大
御山津田并佐田照野田部安取荷王瀬多野和
祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭

二二二二二二十十十十十十九四四三二一
十十十十十入八七五五五四
九四三二二二二二二二二二二二二二二二二二
日日日日日日日日日日日日日日日日日

羽加丹越伊近因遠下豐甲信武近大山出山山
前賀後中豫江幡野後斐瀆蔵江和城和雲城城

上尾籠射大多字小二西淺上金日大大龍美梅松
杉山 水 祇賀倍國山多荒築間訪蹟吉神野原田保宮尾
祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭

二二二二二二十十十十十十九八八七三二
十十十十十入七五五五四
九七四三二二二二二二二二二二二二二二二二二
日日日日日日日日日日日日日日日日日

年中行事 三日神武天皇祭○八日は灌佛會、所謂お釋迦の誕生日とて、寺々の釋迦佛に詣つ○櫻桃を初め、百花爛漫春風胎蕩の好時節なれば、遊入到る所に賑ふめり○沙干狩は陰曆三月三日及び十五日を好期とす○十七日は上野東照宮祭○此月全国神社の祭典多し

節物時令 花○櫻○櫻狩○夜櫻○朝櫻○桃○菜の花○蝶○神武祭○涅槃會○灌佛○駒鳥○百千鳥○春の田○花の雪○花吹雪○櫻餅○柳鮓○海棠○山吹○ゆく春○惜春○送春○別春○暮春○香晚○夏となり○符○櫻もち○神まき○胡瓜

食品月令 松魚○めげる○櫻鯛○ひらめ○鱈○蔵○胡瓜○うど○茨豌豆○初茄子○蕪菜○菜○葱○元豆

○四月中行事豫記

9810	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
...

寒 暖	天 氣	日 二 月 四	辛 巳	火 曜
信	談			二月二十日
訪	注			
就 床	起			
時	時			
分	分			

寒 暖	天 氣	日 一 月 四	庚 辰	月 曜
信	談			二月十九日
訪	注			
就 床	起			
時	時			
分	分			

216
10
-6
175
312
8
176

寒 暖	天 氣	日 三 月 四	壬 午	水 曜
信	談		曆 二月二十一日	神 武 天皇祭
訪	注			
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

(年八卅) す領占を城面四 (年七卅) む攻を國藏西軍英

四
月

九
八

寒 暖	天 氣	日 四 月 四	癸 未	木 曜
信	談		曆 二月二十二日	
訪	注			
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

(年九卅) 行執祭大の公宗時條北位一從贈て於に寺覺圓倉鏡

Vertical handwritten notes on the left margin of the left page, including the characters '四', '月', and '九'.

(參 翠) 乾未露旌旌拂柳。落初星佩劍迎花

寒 暖	天 氣	日 八 月 四	丁 亥	月 曜
				二月二十六日
信	發	1200	1200	1200
訪	注	1200	1200	1200
時	時	時	時	時
分	分	分	分	分

(年元祿長) < 築 九 城 戶 江 瀧 道 田 太


(窓 南) 麗の猫ぬし盡へぞか雨の春

寒 暖	天 氣	日 七 月 四	丙 戌	日 曜
				二月二十五日
信	發	1200	1200	1200
訪	注	1200	1200	1200
時	時	時	時	時
分	分	分	分	分

(年四十) < 置 を 省 務 商 農 て め 初

四 月

1011

寒 暖	天 氣	日 一 十 二 月 四	庚 子	
信 敬		曆 日 三 月 九 日		
訪 談		<p>41-11 41-12 41-13 41-14 41-15 41-16 41-17 41-18 41-19 41-20 41-21 41-22 41-23 41-24 41-25 41-26 41-27 41-28 41-29 41-30</p>		
時 分	時 分	<p>41-11 41-12 41-13 41-14 41-15 41-16 41-17 41-18 41-19 41-20 41-21 41-22 41-23 41-24 41-25 41-26 41-27 41-28 41-29 41-30</p>		

(年九卅) るらへ與を告宣の罪無もれ何等氏中廣野河件事業嘯徒兇

四 月

一 六

寒 暖	天 氣	日 二 十 二 月 四	辛 丑	月 曜
信 敬		曆 日 三 月 十 日		
訪 談		<p>41-11 41-12 41-13 41-14 41-15 41-16 41-17 41-18 41-19 41-20 41-21 41-22 41-23 41-24 41-25 41-26 41-27 41-28 41-29 41-30</p>		
時 分	時 分	<p>41-11 41-12 41-13 41-14 41-15 41-16 41-17 41-18 41-19 41-20 41-21 41-22 41-23 41-24 41-25 41-26 41-27 41-28 41-29 41-30</p>		

(年七卅) す朝來め爲の務勤婦護看人夫！ギツマ人婦國米

四 月

一 七

(湖石范) 粘無竟露承盤荷。結不元風受帶柳

水曜	庚戌	五月一日	天氣 晴	寒暖
三月十九日	三月十九日	三月十九日	三月十九日	三月十九日
伊勢 結城祭 一 日	備後 沼名前祭 二 日	肥後 鹿池祭 四 日	越前 金崎祭 五 日	加賀 白山比咩祭 六 日
武藏 水若酢祭 三 日	三河 砥鹿祭 四 日	肥後 鹿池祭 五 日	越前 金崎祭 六 日	加賀 白山比咩祭 七 日
武藏 大國魂祭 五 日	肥後 鹿池祭 四 日	越前 金崎祭 五 日	加賀 白山比咩祭 六 日	加賀 白山比咩祭 七 日
美濃 南宮祭 六 日	越前 金崎祭 五 日	加賀 白山比咩祭 六 日	加賀 白山比咩祭 七 日	加賀 白山比咩祭 八 日
武藏 靖國祭 七 日	加賀 白山比咩祭 六 日	加賀 白山比咩祭 七 日	加賀 白山比咩祭 八 日	加賀 白山比咩祭 九 日
伯耆 名和祭 八 日	羽後 古四王祭 七 日	常陸 常磐祭 八 日	越後 彌彦祭 九 日	越後 彌彦祭 十 日
羽後 大物忌祭 九 日	常陸 常磐祭 八 日	越後 彌彦祭 九 日	越後 彌彦祭 十 日	越後 彌彦祭 十一 日
出雲 出雲祭 十 日	越後 彌彦祭 九 日	越後 彌彦祭 十 日	越後 彌彦祭 十一 日	越後 彌彦祭 十二 日
山城 上下加茂祭 十一 日	琉球 波上祭 十二 日	琉球 波上祭 十三 日	琉球 波上祭 十四 日	琉球 波上祭 十五 日

三月十九日
 誘回部記略
 大寺本
 了
 用
 此

起 床 時
 就 睡 時

(年七卅) 予 領 占 を 城 連 九 軍 我

五月五日 立夏 (節月四曆陰) 小 (節の中月四同)

伊勢 結城祭 一 日	備後 沼名前祭 二 日	肥後 鹿池祭 四 日	越前 金崎祭 五 日	加賀 白山比咩祭 六 日	加賀 白山比咩祭 七 日	常陸 常磐祭 八 日	越後 彌彦祭 九 日	越後 彌彦祭 十 日	越後 彌彦祭 十一 日	越後 彌彦祭 十二 日
------------	-------------	------------	------------	--------------	--------------	------------	------------	------------	-------------	-------------

年中行事 立夏の日、上旬より夏となる。五月蟻は一日より飾りて五日を當日とす、今は鯉のみ建つる家多し。此日には粽又は柏葉餅を喰ふ。湯屋にて菖蒲湯をたつ。躰躰、牡丹、藤の花開く。立春より八十八日を八十八夜といひ、農家にて重要な季節なり。

節物時令 首夏立夏更衣。藤牡丹。つゝじ。芍薬。青蘆。つりしのぶ。初稔。短夜。運糧。葉櫻。若葉。杜鵑。松魚。新樹。鯉。菖蒲湯。卯の花。羽織。螢。螢狩。卯の花。くだし。栗の花。柏餅。青梅。

食品月令 黒鯉。あなご。泥鰌。鱧。いな。年魚。あはび。蛸。姫百合根。茗荷の子。蕪。芋。青蕃椒。摘み菜。水芹。蠶豆。薑。白瓜。ぜんまい。

○五月中行事豫記

(歌正) くづしの葉や椒山青る出ひほに

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 五	癸 亥	火 曜
信	談			
訪	注			
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

五
月
三
日

廣瀬 四月三日

Haeruan fakapu ka Kobaie Hpeudya
 Pyeekae Toramēnko (ka Kōmōy to amō jeku)
 In Kōmōy Kobaie Hpeudya 14 pōdōu
 In Kōmōy Pye. Toram. to pōdōu

150

(年七卅) る觸に雷水械機て於に沖漚連大古宮艦軍我

(殺董) 名有自朋呼島山。字成粗草點花林

寒 暖	天 氣	日 五 十 月 五	甲 子	水 曜
信	談			
訪	注			
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

五
月

廣瀬 四月四日

predru kaun (dome pōdōu)
 Ommpabuchi mueduo on Kōmōy
 Hpeudya

141

(年七卅) 才没沈に角東山野吉び及瀬初艦軍我

(童牧) なか芽の木るへかて来いつが雀山

寒暖	天氣	日六十月五	乙丑	木曜
曆 四月五日				
信	敬	詩	注	寐就 床起
<p>14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>		<p>14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>		<p>時 分</p>

(年三卅)す通開話電の間帳札構小 (年五廿)るらせ會停會議國帝

五月

一四二

(村三) 情幽適氣天殘春。輕尙暖陰微弄風

寒暖	天氣	日七十月五	丙寅	金曜
曆 四月六日				
信	敬	詩	注	寐就 床起
<p>14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>		<p>14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>		<p>時 分</p>

(年七卅)るらせ陸迫に位一從て以を旨特宗時條北

五月

一四三

(太 夢) なか袖花るたぎすひ買は枝一

寒 暖	天 氣	日 八 十 月 五	丁 卯	土 曜
信	談			
訪	注			
時	時	(Amis asphoe mufuo) en nypraxam 1979 a Amipalun mufuo Newydeky 1979		
分	分			

五月

一四五

(年二) 才定平館函り降賊の哪陵五

(明徴文) 閑扇羽涼生院別。淺甌茶睡被窓小

寒 暖	天 氣	日 九 十 月 五	戊 辰	曜 日
信	談			
訪	注			
時	時	曆舊 四月八日		
分	分			

五月

一四五

(年九卅) るらせ免を任兼の相首寺園四れらせ任に臣大務外氏董林

寒 暖	天 氣	日 五 十 二 月 五	甲 戌	大 曜
信	議	<p>四月十四日</p> <p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
起	時	時	時	時
分	分	分	分	分

(年九廿)ふ興を教大に人犯事國れ容を求嬰の會議國帝(帝露(年九廿)く舉を式冠戴帝露

五月... 手紙... 日記...

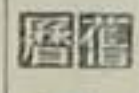

寒 暖	天 氣	日 四 十 二 月 五	癸 酉	全 曜
信	議	<p>四月十三日</p> <p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
起	時	時	時	時
分	分	分	分	分

(年七廿) 子職坐號ルオるす屬に隊艦クツチルバ

日記... 手紙... 日記...

日記... 手紙... 日記...

(角其) 影の笹に子障り明や子雀

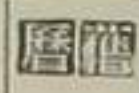
寒 暖	天 氣	日 八 十 二 月 五	丁 丑	火 曜
信 談		 四月十七日		
世に けりし 心と れを 思ふ		 地久節		
訪 談		夜八時ころは月既あつれど、 若衛より長く見えず		
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

五月

一五四

(年七世) 了着到に山松名餘十九鷹捕軍露

(註 旭) 靜更山鳴鹿處遠。影燈孤壁粘螢殘

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 五	戊 寅	水 曜
信 談		 四月十八日		
1200 1200 1400		1716 1716 1716		
詩 談		1716 1716 1716		
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

五月

一五五

(年九世) ろらせ任に將大軍陸氏三文尙見立同敬尙追大同直久島大爵男將中

寒 暖	天 氣	日 七 月 六	丁 亥	全 曜
信	説	全三拾五	全三拾五	全三拾五
訪	注	全三拾五	全三拾五	全三拾五
學 就	床 起	時 分	時 分	時 分

四月二十七日
Omnpabu melleke in Theemure
by a speech by

六
月

一六五

寒 暖	天 氣	日 六 月 六	丙 戌	木 曜
信	説	全三拾五	全三拾五	全三拾五
訪	注	全三拾五	全三拾五	全三拾五
學 就	床 起	時 分	時 分	時 分

四月二十六日

六
月

一六四

(簡大) 滋樹竹看方檻幽。帷簾拂々陣風山

寒 暖	天 氣	日三十月六						癸 巳	木 曜
信 發								曆 節 五月三日	
訪 注									
時 分	時 分								

六
月

一七

(年九卅) 止廢程規院會士學京東布發程規院士學國帝て以令勅

(燕芭) 川井大し早てめ集をれだみさ

寒 暖	天 氣	日二十月六						壬 辰	水 曜
信 發								曆 節 五月二日	
訪 注									
時 分	時 分								

六
月

一七〇

(年九卅) るらせらあ御臨に會總圓十弟會大後戰社字十赤本日下午后皇

(蕭史) 禪參小鳥語頭樹。性見眞魚游底水

寒 暖	天 氣	日 九 十 月 六	己 亥	水 曜
信 敬		<p style="text-align: center;">曆 舊</p> <p style="text-align: center;">五 月 九 日</p> <p style="text-align: center;"><i>Maryann nuchaw ofi Tuncy)kano (of 10/12)</i></p>		
訪 談				
寐 就 床 起				
時 分	時 分			

(年十) つ 頭 を 約 條 合 聯 便 郵 國 萬

(村 燕) 門 の 半 夜 く ゆ き 過 て ら 寄 て れ く 鮎

寒 暖	天 氣	日 八 十 月 六	戊 戌	火 曜
信 敬		<p style="text-align: center;">曆 舊</p> <p style="text-align: center;">五 月 八 日</p>		
訪 談				
寐 就 床 起				
時 分	時 分			

(年七卅) る 正 現 に 海 北 艦 敵

(實李) 人喚如汀隔島好。足濯可屋邊溪清

寒 暖	天 氣	日 四 月 七	甲 寅	木 曜
信	敬	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 五月二十四日 518 </div>		
<p>112988</p> <p>15288</p> <p>69</p>				
訪	注	<p>191</p> <p>618</p> <p>287</p> <p>296</p> <p>292</p> <p>655</p> <p>266</p> <p>266</p> <p>1022</p> <p>838</p> <p>220</p> <p>1022</p> <p>492</p> <p>487</p> <p>533</p> <p>1022</p>		
<p>88</p> <p>712</p> <p>72</p> <p>199</p> <p>130</p> <p>1668</p> <p>838</p> <p>220</p> <p>1022</p> <p>492</p> <p>487</p> <p>533</p> <p>1022</p>				
暮就	床起	<p>518</p> <p>487</p> <p>533</p> <p>1022</p>		
時	時			
分	分			

(年七卅) 才領占を嶺天摩軍一第

七
月

一九三

(枝北) 花らくさげへるふを幕やしほ虫

寒 暖	天 氣	日 三 月 七	癸 丑	水 曜
信	敬	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 五月二十三日 518 </div>		
訪	注			
暮就	床起			
時	時			
分	分			

(年四) く開を便郵に間演京てめ始

七
月

一九二

(露風) なかき暑るたぎ過り太の鴻澤

寒 暖	天 氣	日 五 月 七	乙 卯	全 曜
信 敬		<p>五月二十五日</p> <p>18 27 39 16 46 50 00 82 76 10 88 95 91</p> <p>24 15 9</p>		
訪 注		<p>10 56 9 10 34 10 16 68 24 24</p>		
時 分		<p>時 分</p>		
時 分		<p>時 分</p>		

(年七卅) す没沈に外灣連大臘門海

七
月

一九四

(劍 鐵) 涼此有間人信不。夢疑猶後醒眠午

寒 暖	天 氣	日 六 月 七	丙 辰	大 曜
信 敬		<p>五月二十六日</p> <p>18 27 39 16 46 50 00 82 76 10 88 95 91</p> <p>24 15 9</p>		
訪 注		<p>10 56 9 10 34 10 16 68 24 24</p>		
時 分		<p>時 分</p>		
時 分		<p>時 分</p>		

(年七卅) す發か橋新一の長謀參總玉兒官司令徳山天

七
月

一九五

寒 暖	天 氣	日 七 月 七	丁 巳	曜 日
信	説	<p>五月二十七日</p> <p>夕涼の... 涼風は中々に涼しに思ふ... けふは... 涼風は中々に涼しに思ふ... けふは... 涼風は中々に涼しに思ふ... けふは...</p>		
詩	通	<p>夕涼の... 涼風は中々に涼しに思ふ... けふは... 涼風は中々に涼しに思ふ... けふは...</p>		
暮 就	床 起	<p>時 時</p> <p>分 分</p>		

七 月

一九六

寒 暖	天 氣	日 八 月 七	戊 午	月 曜
信	説	<p>五月二十八日</p> <p>Impress, to supper's path many more Hobae M'pauy omi pro view - Apr 20. Heseppan cage & nareppan go 5th u 6th.</p>		
詩	注	<p>Impress, to supper's path many more Hobae M'pauy omi pro view - Apr 20. Heseppan cage & nareppan go 5th u 6th.</p>		
暮 就	床 起	<p>時 時</p> <p>分 分</p>		

七 月

一九七

(湖 菱) 叢露照螢秋點一。祭人無墓古頭勝

寒 暖	天 氣	日 二 十 月 七						壬 戌	全 曜
信 敬								曆 六 月 三 日	
訪 徒									
時 分	時 分								

(年八卅) 才 領 占 九 部 南 太 樟

七
月

1101

(三 葛) 月るゆ見てまふ道の蜘蛛火り送


寒 暖	天 氣	日 一 十 月 七						辛 酉	木 曜
信 敬								曆 六 月 二 日	
訪 徒									
時 分	時 分								

(年八卅) 才 領 占 九 部 岬 藤 近

七
月

1100

(憲惟洛) 舟入氣荷兼酒。扇午拋風柳倚人

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 七						甲 子	 曜 日
信 敬								曆 舊	六 月 五 日
訪 注									
時 分	時 分								

(年三卅) 寸領占を城津天軍合聯國列

七
月

三〇三

(女務誠) なか鬼餓施るたわれは空の妻稻

寒 暖	天 氣	日 三 十 月 七						癸 亥	大 曜
信 敬								曆 舊	六 月 四 日
訪 注									
時 分	時 分								

(年九廿) りあ覺天馬乗の校將軍陸 (年八廿) る崩山州豐縣岡福

七
月

三〇三

(道安袁) 濃露竹林園過雨。淨光花上池來月

寒 暖	天 氣	日 六 十 月 七						丙 寅	火 曜
信	敬							曆 六 月 七 日	
訪	注								
暮 就	床 起								
時 分	時 分								

(年七卅) 予著に山松校將藤捕の嶺天摩

七
月

二〇五

(吉保) なかしきすの胸に風松てめさ寝書

寒 暖	天 氣	日 五 十 月 七						乙 丑	月 曜
信	敬							曆 六 月 六 日	
訪	注								
暮 就	床 起								
時 分	時 分								

(年七卅) 予著到に司門りゝ地軍二第名百二藤敵

七
月

二〇四

(隣松) 種木白しめそきさ朝今や瘦夏

寒 暖	天 氣	日 七 十 月 七	丁 卯	水 曜
信	談			
訪	注			
時	時			
分	分			

六月八日
午後七時(十)の2と花云
8 am maculosa

(年七卅) す撃逆に嶺天摩ルレルケ將敵

二〇六

(鏡曹) 開穀枳飄香落籬。密桐梧暗影窓軒

寒 暖	天 氣	日 八 十 月 七	戊 辰	木 曜
信	談			
訪	注			
時	時			
分	分			

六月九日
Naupium tohor Apennis ga 12³⁰ u 15³⁰
Jostis (no of apennis emus.)

(年四) す置設を省部文てめ始

二〇七

(亭 葵) るへがきひよぞるなに秋が暮のこ

寒 暖	天 氣	日 九 十 月 七	己 巳	全 曜
信 敬		六月十日 Newyuan, Hokoe Apeun 7, 8, 9 u 10 ²⁰ Apeun. (no em, em.)		
訪 注				
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

(年七卅) す着歸に崎長丸洲滿の用戦觀

七
月

二〇八

(亭 葵) 消氣暑如流漢河。宵清坐下月牀移

寒 暖	天 氣	日 十 二 月 七	庚 午	土 曜
信 敬		六月十一日		
訪 注				
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

(年七卅) ふ賜を語勅に團陣二第るたし戦勇に擊逆流天摩

七
月

二〇九

(金學汪) 風花菴里十蟬溪雨葉松聲數鷓山

寒 暖	天 氣	日 二 十 二 月 七					壬 申	月 曜
信	叢						圖 符	六 月 十 三 日
訪 注								
時 分	時 分							

(年七卅) 着御に橋新下殿宮將大見伏

(明五) なかめしほの秋る着物てめさの目

寒 暖	天 氣	日 一 十 二 月 七					辛 未	日 曜
信	叢						圖 符	六 月 十 二 日
訪 注								
時 分	時 分							

(年七卅) す鎮占を地の帯一沿河細軍我

七
月

二
一

七
月

二
一〇

(偉其何) 青麩一放常山好。緑徑三添漸竹新

寒 暖	天 氣	日 四 十 二 月 七				甲 戌	水 曜
信	敬						六月十五日 (No. 15)
訪	注						
時 分	時 分						

(年八世) 才 領 占 を 都 首 島 太 樺

(昌 祐) なか 賊 木 の 軒 つ 立 秋 と ら さ ら さ

寒 暖	天 氣	日 三 十 二 月 七				癸 酉	火 曜
信	敬						六月十四日
訪	注						
時 分	時 分						

(年七世) り あ 戦 激 に 近 附 橋 石 大

(瑞宗) 哉瓜四てし殘も憂ふすむ斗疑

寒 暖	天 氣	日 五 十 二 月 七	乙 亥	木 曜
信 敬				
訪 注				
暮 就 床 起				
時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
		18	17	17
		16	16	16
		15	15	15
		7	18	18
		17	16	16
		15	15	15
		14	14	14
		16	16	16
		15	15	15
		19	19	19
		10	10	10
		13	13	13
		13	13	13
		16	16	16

(年七卅) 予領占办嶺磐過口營及橋石大軍我

七 月

六月十六日

二四

(盛際程) 意當靜日障塵疎。戸入涼風受樹高

寒 暖	天 氣	日 六 十 二 月 七	丙 子	金 曜
信 敬				
訪 注				
暮 就 床 起				
時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
		18	17	17
		16	16	16
		15	15	15
		7	18	18
		17	16	16
		15	15	15
		14	14	14
		16	16	16
		15	15	15
		19	19	19
		10	10	10
		13	13	13
		13	13	13
		16	16	16

(年九) る成道鐵間阪大京四


七 月

六月十七日

二五

Handwritten notes in cursive script.

(治 陸) 山青失雨飛看忽。殿碧生涼微愛坐

寒 暖	天 氣	日 八 十 二 月 七	戊 寅	 曜 日
信	談	<p>六月十九日</p> <p><i>[Faint handwritten notes in vertical columns]</i></p>		
訪	注			
時 分	時 分			

七
月

二
一
七

(年八世)す領占をオレバ (年七世)らせ殺暗氏エウ1レア臣大務内國露

(人 梅) なか男る賣虫てら知もとればあ

寒 暖	天 氣	日 七 十 二 月 七	丁 丑	大 曜
信	談	<p>六月十八日</p> <p><i>[Faint handwritten notes in vertical columns]</i></p>		
訪	注			
時 分	時 分			

七
月

二
一
六

(年八世)す領占をフコイル

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 七	己 卯	月 曜
信	談	<p>六月二十日</p> <p>物あるは... (Handwritten text)</p>		
訪	注	<p>... (Handwritten text)</p>		
時 分	時 分	<p>... (Handwritten text)</p>		

(年八世) 賜下語勅き付に領占太樺 (年七世) 才死戦尉大崎松ひ戦に倣成軍清征

七
月

二一八


寒 暖	天 氣	日 十 三 月 七	庚 辰	火 曜
信	談	<p>六月二十一日</p> <p>... (Handwritten text)</p>		
訪	注	<p>... (Handwritten text)</p>		
時 分	時 分	<p>... (Handwritten text)</p>		

(年八世) る 來使軍敵 (年七世) る 昭を山牙昌義島大

七
月

二一九

(介高魏) 聲鳥好藏深葉密。色荷池映斜泉細

寒 暖	天 氣	日 四 月 八	乙 酉	 曜 日	
信	敬				曆 舊 六 月 二 十 六 日
訪	注				
時 分	時 分				

八
月

二
三
五

(年七卅) りあ告報捷戦の背側陽送りゝ將大木黒

(老 篤) なか暑殘きこつしに花の顔朝

寒 暖	天 氣	日 三 月 八	甲 申	大 曜	
信	敬				曆 舊 六 月 二 十 五 日
訪	注				
時 分	時 分				

八
月

二
三
四

(年七卅) す領占を莊牛び及城海軍我

(美成) きしくつうの竹のしとこや妻稻

寒 暖	天 氣	日 五 月 八	丙 戌	月 曜
信	談			
訪	談			
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

八
月
六月二十七日

八
月

二二六

(年七卅) す戦激に口港順旅隻三の電艦曙

(吉申曹) 聲有半風臨樹竹。影留時水傍臺櫻

寒 暖	天 氣	日 六 月 八	丁 亥	火 曜
信	談			
訪	談			
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

八
月
六月二十八日

八
月

二二七

(年七卅) す去薨臣素口山爵子將大軍陸

(瀛方米) 花勝却香清葉荷。暑遮全綠濃陰柳

寒 暖	天 氣	日 八 月 八	己 丑	木 曜	
信	談				圖 籍 六 月 三 十 日
訪	談				
時 分	時 分				

八 月

二 二 九

(年七卅) ろらせ發を使問慰御へ部令司總軍洲滿

(六 升) 風の秋ぬき咲ほが書たまは畫

寒 暖	天 氣	日 七 月 八	戊 子	水 曜	
信	談				圖 籍 六 月 二 十 九 日
訪	談				
時 分	時 分				

八 月

二 二 八

(年七卅) ふ賜を語勅に軍一第

(古遊王) 醒宿似連留暑殘。客佳如近瀝涼新

寒 暖	天 氣	日 六 十 月 八						丁 酉	全 曜
信 敬								曆 舊 七 月 八 日	
訪 注									
尊 就	床 起								
時 分	時 分								

(年七卅) ふ傳に將敵を書降勅及旨聖佐少岡山使軍

八
月

二
三
七

(蘭石) 哉野花いる暮て見雨にきさとあ


寒 暖	天 氣	日 五 十 月 八						丙 申	木 曜
信 敬								曆 舊 七 月 七 日	
訪 注									
尊 就	床 起								
時 分	時 分								

(年七卅) るは賜を里玉馬名に宮院閑

八
月

二
三
六

(文乘道) 山定不移雲末天。水究無寫風頭樹

寒 暖	天 氣	日 八 十 月 八				己 亥	 曜 日	
信 發		$\begin{array}{r} 444 \\ 56 \\ 123 \\ 15 \\ 56 \\ 95 \\ \hline 1549 \end{array}$				曆 禧	七 月 十 日	
訪 注		$\begin{array}{r} 200 \\ 200 \\ 390 \\ 22 \\ 36 \\ 3 \\ \hline 1951 \end{array}$				$\begin{array}{r} 21 \\ 394 \\ 64 \\ 126 \\ 3 \\ \hline 1260 \end{array}$		
時 分	時 分							

(年七卅) 才絶拒を降勳將敵の順旅

二
三
九

(也 菊) 兒の山いめ染を務に草ゆつ

寒 暖	天 氣	日 七 十 月 八				戊 戌	大 曜		
信 發		$\begin{array}{r} 909 \\ 156 \\ \hline 2535 \\ 1735 \\ \hline 1265 \end{array}$				曆 禧	七 月 九 日		
訪 注		$\begin{array}{r} 121 \\ 19 \\ \hline 988 \\ 126 \\ \hline 1028 \\ 1218 \\ \hline 9446 \end{array}$				$\begin{array}{r} 259 \\ 6 \\ \hline 1518 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 9500 \\ 22 \\ 36 \\ 24 \\ \hline 200 \end{array}$		
時 分	時 分								

(年四承治) 才起に豆伊を兵朝頼源

二
三
八

(之 芳) なか分野るあて出は月にずは構

寒 暖	天 氣	日 九 十 月 八	庚 子	月 曜
信 叢		七月十一日 <i>Passage of Murray Islands & make Ensign's Expedition</i>		
訪 注		$\begin{array}{r} 365 \\ 12 \\ \hline 377 \\ 365 \\ \hline 3980 \end{array}$		
時 分	時 分	床 起 時 分		

(年六) 才行發を幣紙行銀て始 (年元) 才脱を川品等揚武本樓

二四〇

(尊 陳) 壺一酒聲秋裏竹。里千人色月邊雲

寒 暖	天 氣	日 十 二 月 八	辛 丑	火 曜
信 叢		七月十二日 <i>Passage of Adolphus's NN region of most water</i>		
訪 注		$\begin{array}{r} 365 \\ 12 \\ \hline 377 \\ 365 \\ \hline 3980 \end{array}$		
時 分	時 分	床 起 時 分		

(年七卅) 才破擊に太樺を艦敵艦二の島對歳千

二四一

(霖 張) 吟苦聯階登蟬蟋。字奇問席入牛蟬

寒 暖	天 氣	日 四 十 二 月 八					乙 巳	大 曜
信 談							曆 舊 七 月 十 六 日	
訪 注								
時 分	時 分						時 分	時 分

(年七卅)る福に雷水械機艦逐驅の敵てに沖山歳老

二四五

(和 蘭) りどや雨に軒やればあ蝶の夏

寒 暖	天 氣	日 三 十 二 月 八					甲 辰	全 曜
信 談							曆 舊 七 月 十 五 日	
訪 注								
時 分	時 分						時 分	時 分

(年七卅)る福に雷水械機リボトスバセ艦敵

二四四

(洲 巨) 花犀木動香麗疎。起未人寒新味一

寒 暖	天 氣	日 六 十 二 月 八	丁 未	月 曜
信	談			
訪 注				
學 就	床 起			
時 分	時 分			

曆舊 七月十八日

八 月

二四七

(年七卅) 才領占を等站山鞍りま始撃攻面方陽遼

(考 支) 哉さ暑の秋る居て來てま梢

寒 暖	天 氣	日 五 十 二 月 八	丙 午	日 曜
信	談			
訪 注				
學 就	床 起			
時 分	時 分			

曆舊 七月十七日

八 月

二四六

(年七卅) 才除解を裝武艦露の海上

(帝熙康) 晴秋報葉一梧碧。節獻新盤滿果珍

寒 暖	天 氣	日 八 十 二 月 八				己 酉	水 曜
信 訖		8000			500	曆 舊 七 月 二 十 日	
		9200			30		
訪 注		28000			80		
		90000			400		
		12000			720		
		15000			10		
		20700			1270		
		17000			127		
		35			12		
		55			8		
		67					
		10					
60							
177							
寐 就	床 起						
時 分	時 分						

(年七卅) 才領占を店山鞍軍二第我

二四九

(宇蓬) 雨時露む住が誰は家の中人ま

寒 暖	天 氣	日 七 十 二 月 八				戊 申	火 曜
信 訖						曆 舊 七 月 十 九 日	
訪 注							
寐 就	床 起						
時 分	時 分						

(年七卅) りあ遣差御に軍圖攻順旅を醫侍

二四八

(涯王) 荷洲滿盡翻珠露。起末嶺風清夜一

寒 暖	天 氣	日 十 三 月 八				辛 亥	全 曜
信	談						曆 曆
							七 月 二 十 二 日
訪	談						
暮 就	床 起						
時	時						
分	分						

(年十三) りあ賜下を圓百七千二金水洪後越

二五一

(太 藝) 花郎女し淋げれ折手にのも我

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 八				庚 戌	木 曜
信	談						曆 曆
							七 月 二 十 一 日
訪	談						
暮 就	床 起						
時	時						
分	分						

(年七卅) す捕拿を隻六十二船食糧の敵て於に近附島圓

二五〇

(村 蕪) 月のふけてけかしころもきな櫻

寒 暖	天 氣	日 五 月 九	丁 巳	木 曜				
信 敬		七月二十八日						
訪 注		<p>Maupuru ha upuru papi ha ry- uapa gy ekaoo bora emba (Istherku a wood skin?) haimearu haunuofo</p>						
時 分	時 分	<table border="1"> <tr> <th>床 起</th> <th>就 寝</th> </tr> <tr> <td>時 分</td> <td>時 分</td> </tr> </table>			床 起	就 寝	時 分	時 分
床 起	就 寝							
時 分	時 分							

(年八卅) < 開に園公谷比日を會大民國題問和講

二五八

(滯 道) 明處淺雲浮在月。斷吹風半夜頭櫻

寒 暖	天 氣	日 六 月 九	戊 午	全 曜				
信 敬		七月二十九日						
訪 注		<p>7:00 AM 7:20 AM 7:40 AM 8:00 AM 8:20 AM 8:40 AM 9:00 AM 9:20 AM 9:40 AM 10:00 AM 10:20 AM 10:40 AM 11:00 AM 11:20 AM 11:40 AM 12:00 PM 12:20 PM 12:40 PM 1:00 PM 1:20 PM 1:40 PM 2:00 PM 2:20 PM 2:40 PM 3:00 PM 3:20 PM 3:40 PM 4:00 PM 4:20 PM 4:40 PM 5:00 PM 5:20 PM 5:40 PM 6:00 PM 6:20 PM 6:40 PM 7:00 PM 7:20 PM 7:40 PM 8:00 PM 8:20 PM 8:40 PM 9:00 PM 9:20 PM 9:40 PM 10:00 PM 10:20 PM 10:40 PM 11:00 PM 11:20 PM 11:40 PM 12:00 AM</p>						
時 分	時 分	<table border="1"> <tr> <th>床 起</th> <th>就 寝</th> </tr> <tr> <td>時 分</td> <td>時 分</td> </tr> </table>			床 起	就 寝	時 分	時 分
床 起	就 寝							
時 分	時 分							

(年八卅) 布公令嚴戒 (年七卅) む定を章徽の軍民國

二五九

(義典陳) 聲秋着處無愁却。盡葉吹道西道莫

寒 暖	天 氣	日 十 月 九	壬 戌	火 曜
信	敬			曆 八 月 三 日
訪	注			
時 分	時 分			

(年一卅) るらせ布公約條正改換日

二六三

(藁曉) 雲のきある定に鶴やしけつし

寒 暖	天 氣	日 九 月 九	辛 酉	月 曜
信	敬			曆 八 月 二 日
訪	注			
時 分	時 分			

(年四) く設な砲號の時午て始

二六四

(頼 李) 深影花庭一月涼。寂聲鳥樹千陽夕

寒 暖	天 氣	日 二 十 月 九										甲 子	木 曜
信 敬												曆 舊	九 月
訪 送												八 月 五 日	
暮 就	床 起												
時	時												
分	分												

(年七卅) リあ彈ムダムダに彈銃の獲齒陽遂

二六五

(明 方) 夕の秋し高皆山た來てえ越

寒 暖	天 氣	日 一 十 月 九										癸 亥	水 曜
信 敬												曆 舊	九 月
訪 送												八 月 四 日	
暮 就	床 起												
時	時												
分	分												

(年七卅) す領占を坑炭石臺烟

二六四

(謙之曹) 寒水秋天碧滿月。去樓南過遠聲一

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 九					西 寅	大 曜
信 敬		<p style="text-align: center;"> <i>Versepater mooywute om Kobara Apesweta moorki eRemi, a Krau He mooywute</i> </p>					曆 續	八 月 七 日
訪 談							曆 續	八 月 六 日
尊 就	床 起						時	時
分	分						分	分

九
月

二
六
七

(年八世)子遣派を便大賀祝王法馬羅 (年七世)らさ遣差を便問慰御兵病傷りよ下陸后皇

(期 士) 松の庭きしへすに終やまづ稻


寒 暖	天 氣	日 三 十 月 九					乙 丑	全 曜
信 敬							曆 續	八 月 六 日
訪 談							曆 續	八 月 六 日
尊 就	床 起						時	時
分	分						分	分

九
月

二
六
六

(年六世)く遊郎十團川市優名 (年七世)豊發御へ島廣下陸帥元大

(茶一) 哉けくむし逢に水出とかうかう

寒 暖	天 氣	日 五 十 月 九	丁 卯	 曜 日
信	敬			
詩	注			
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

九 月

曆 舊
八 月 八 日

Amphibium multicoeruleum
(maple note)

二六八

(年三卅)る成會友政憲立 (年二卅)月餘千二燒延火大館函

(水姫黃) 聲雨聞蕉芭桐梧。夜眠無々寂窈山

寒 暖	天 氣	日 六 十 月 九	戊 辰	月 曜
信	敬			
詩	注			
暮 就	床 起			
時 分	時 分			

曆 舊
八 月 九 日

山 窈 寂 々 無 眠 夜 梧 桐 芭 蕉 聞 雨 聲
我 兵 平 擬 包 圍 攻 擊 才 (廿七平)

(年七廿) 才 擊 攻 圍 包 を 擬 平 兵 我

九 月

二六九

(枚 裏) 村一水回風當牧。里千風醒酒亭旗

寒 暖	天 氣	日 十 二 月 九					壬 申	全 晴
信 敬							圖 八月十三日	
訪 注								
學 就	床 起							
時	時							
分	分							

(年七廿) ふ賜を語勅し嘉を捷大の海黃

九
月

二七三

(尊 嵐) れだす繩ぬきこう心の風秋


寒 暖	天 氣	日 九 十 月 九					壬 未	木 曜
信 敬							圖 八月十二日	
訪 注								
學 就	床 起							
時	時							
分	分							

(年三) るさ許をふ呼を氏姓氏平

九
月

二七二

(北風道) 知先葉信有風秋。温白衣聲無露夜

寒 暖	天 氣	日 二 十 二 月 九										甲 戌	 曜 日
信 敬												曆 舊	八 月 十 五 日
訪 注													
時 分	時 分												

九 月

二 七 五

(年元) るらせは行を儀の節長天てめ始

(更 關) にちうく動の萩りけに咲りけに散

寒 暖	天 氣	日 一 十 二 月 九										癸 酉	土 曜
信 敬												曆 舊	八 月 十 四 日
訪 注													
時 分	時 分												

九 月

二 七 四

(年八卅) す出呈を書類請否拒准批約條和講は士博六等氏部建

(理有朱) 來外天滯秋里萬。聽中月鶴老聲一

寒 暖	天 氣	日 六 十 二 月 九										戌 寅	木 曜
信 談												曆 舊	八 月 十 九 日
訪 注													
時 分	時 分												

九
月

二
七
九

(年七卅) 朝來下殿王親ル！カ族皇逸獨

(雄 白) よとこく吹しらあの葉葛ふけふのき

寒 暖	天 氣	日 五 十 二 月 九										丁 丑	水 曜
信 談												曆 舊	八 月 十 八 日
訪 注													
時 分	時 分												

九
月

二
七
八

静子さん等々可多つらうと我も今を見つたし
 二六よしは別水たしてかうわつかるすか防い
 やうな心也をします

(年八卅) ろらせ賜下子金りよ下陸兩てしと恤救御害被雨風暴下縣崎長

(韓鴻朱) 籬花豆蟬蟻前風。紡業荷蛤蜻後雨

寒 暖	天 氣	日 八 十 二 月 九										庚 辰	土 曜
信 敬												曆 舊 八 月 二 十 一 日	
訪 談													
時 分	時 分											時 分	時 分

(年元延萬) ろ ら せ 下 宜 王 親 皇 天 上 今

九
月

二八一

(六 許) なか花尾き寒の頓片に風らか

寒 暖	天 氣	日 七 十 二 月 九										己 卯	金 曜
信 敬												曆 舊 八 月 二 十 日	
訪 談													
時 分	時 分											時 分	時 分

(年一卅) 才 京 出 舉 大 民 人 地 害 被 毒 鎖 尾 足

九
月

二八〇

(普 陳) 清魂夢枕方華露。冷骨詩窓滿色月

寒 暖	天 氣	日 十 三 月 九						壬 午	月 曜
信	鼓	大工 任 材 有 年 勤 定 之 全 部 也 子 6 5 0 0 工 火 引 改 定 1 5 8 6							
訪	注								
暮 就	床 起								
時	時								
分	分								

(年一廿) 誕 生 御 宮 常 女 皇

九
月

二八三

(嘉 青) し 悲 水 に れ 哀 は 空 や 秋 く 行

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 九						辛 巳	日 曜
信	鼓	no more. no gain no powerie o the for Takuhu... papuata							
訪	注								
暮 就	床 起								
時	時								
分	分								

(年一卅) る せ 紙 に 爲 の 徒 兎 國 伊 后 皇 國 奥

九
月

二八二

(宗雅長) 佳漸色濃霜到菊。瘦偏容老秋當山

寒 暖	天 氣	日 一 月 十										癸 未	火 曜
信	敬	<div style="text-align: right;"> 曆 八月二十四日 </div>											
訪	注												
時	時												
分	分												

(年三卅) るらせ施實例條便郵正改

十月

二八五

霜 降 月 十 露 寒 (節の月中九同) (節月九曆陰)

齋日丹但備播紀出備讚石肥大周
北向波馬中磨伊雲前岐見前和防
臺宮出出吉伊伊熊安金物諏丹豐
灣崎雲石備太野仁刀部訪生川榮
祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭
二二二二十十十十十九八八一
十十十十八五五四一
八六一
日日日日日日日日日日日日

筑礎下下阿播薩常筑播山伯讚長
前摩野野波津摩陸後磨城香岐門
香照唐二忌長枚酒高海梨大田赤
澤荒部田開列良木神村間
祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭祭
二二二二十十十十十九八七
十十十九八五五三一
九八五
日日日日日日日日日日日日

食品月令 ほうぼうさんま◎松茸◎初茸◎しめじ茸◎
新蕎麥◎芋◎細根大根◎柚子◎栗◎柿

節物時令 秋雨◎秋夕◎菊◎野菊◎造り菊◎稻干◎木の
實◎栗◎柿◎鹿◎鴛◎百舌◎鳴◎後の月◎秋霜◎秋の風◎烏
瓜◎糸瓜◎梅もどき◎紅葉◎紅葉狩◎秋柳◎秋晩◎暮秋◎神
嘗祭◎多びす諸◎十夜◎會式◎菊月◎捨團扇◎落穂◎晚稻◎
冬近し◎ゆく秋◎蟋蟀◎龜馬

年中行事 十七日は神嘗祭として、新穀を伊勢太廟に薦め
玉ふ祭儀あり○六日より十五日まで、淨土宗諸寺に十夜詣あ
り○十一日より十三日まで、日蓮宗諸寺に會式あり、何れも
信徒群集す○此月二十日、商家にては恵比須講として恵比須神
を祭る

○十月中行事豫記

二八四

(驛高) 易周點朱研露滴。寒窓碧鎖深門洞

寒 暖	天 氣	日 三 月 十		乙 酉	木 曜
信	發	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 八月二十六日 </div>			
訪	注				
時	時				
分	分				

(年十三) 才堯治元地山將中軍陸督都部西

二八七

(蕉西) 庭の草に來にいきを音の虫窺

寒 暖	天 氣	日 二 月 十		甲 申	水 曜
信	發	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 八月二十五日 </div>			
訪	注				
時	時				
分	分				

(年五) 才禁を買賣身人

二八六

(安 陳) 穰滿月聲無露風。水如天動不河星

寒 暖	天 氣	日 七 月 十	己 丑	月 曜	
信	鼓				曆 九 月 朔 日
訪	注				
時 分	時 分				

二九一

(年二) す許なるす有な船鶴風洋の商農

(董 几) なか夜る入に體骨月立木冬

寒 暖	天 氣	日 六 月 十	戊 子	月 曜	
信	鼓				曆 八 月 二 十 九 日
訪	注				
時 分	時 分				

二九〇

(年二卅) す戦開とルアヴスンラト國英

(六 韻) るけれ流の水な麗奇に花の茶

寒 暖	天 氣	日 八 月 十	庚 寅	火 曜
信 敬				
訪 注				
學 就	床 起			
時	時			
分	分			

十
月
陰曆
九
月
二
日

二
九
二

(年 四) るさほ遺差に國各米歐を臣大右倉岩

(辰應朱) 花白開餘雨菊寒。葉黃落過風林枯

寒 暖	天 氣	日 九 月 十	辛 卯	水 曜
信 敬				
訪 注				
學 就	床 起			
時	時			
分	分			

陰曆
九
月
三
日

二
九
三

(年六) るらせ臨視下陸成落校學成開 (年二應慶) 御崩皇天明孝

(女代干) 哉鳥千とほれそへ跡く行てつ立

寒 暖	天 氣	日 十 月 十	壬 辰	木 曜
信	談			曆 九 月 四 日
訪	注			
就 時	起 時			
分	分			

Ammpabun medad to K. M. Harano Apeadetu
 Ammpabun Nuneplamony. Itte kuma a it
 1910, Komopetu nauyuan cenodus ympanu,
 Nojan nponemi to Kourouckyo No-
 modyo Komopu o Adam nepetoda
 Komopetody
 to Admanckoy yhadan kuro.

(年八廿) 才寄に餐總山樺を書福永劉音越海峯前

二九四


(澄 遠) 吟蟬蟋聲秋壁四。雨桐梧韻冷意半

寒 暖	天 氣	日 一 十 月 十	癸 巳	金 曜
信	談			曆 九 月 五 日
訪	注			
就 時	起 時			
分	分			

(年七廿) 才没沈り權に雷水械機敵裝遠平艦軍

二九五

(孫名沈) 秋雁白風西樹紅。節花黃日淡雲碧

寒 暖	天 氣	日 三 十 月 十	乙 未	曜 日
信	談	 <p>matter to what knowing Do Do not know himself</p> <p>12 11.5 13</p> <p>10 12 20</p> <p>12 12 10</p> <p>17 Japan new Do not know himself</p>		
訪	注			
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

(年八廿) 予朝來使大恩謝の鮮朝 (年元) る入に京東てめ始駕聖

二九七

(源奇) 月の松る寄片の魚氷や上川

寒 暖	天 氣	日 二 十 月 十	甲 午	大 曜
信	談			
訪	注			
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

(年四十) づ出詔の設開會國年三廿 (年三應慶) 予還奉を政大喜慶川徳

二九六

寒 暖	天 氣	日 五 十 月 十	丁 酉	火 曜
信	談	九月九日 此の日は... (Handwritten notes in Japanese)		
訪	註			
暮 就	床 起	17. 14. (Handwritten numbers and notes)		
時 分	時 分			

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 十	丙 申	月 曜
信	談	九月八日 此の日は... (Handwritten notes in Japanese)		
訪	註			
暮 就	床 起	17. 14. (Handwritten numbers and notes)		
時 分	時 分			

(暁) 雁の風てれ亂りよ夜しめそいき

火曜	甲辰	日二十二月十	天 氣	寒 暖
九月十六日	廿	信	談	詩
<p>九月十六日 廿</p> <p>信 談</p> <p>詩</p> <p>床 起</p> <p>時 分</p> <p>時 分</p>				

(年七卅) 大 將 日 本 凱 旋 了

(晴) 高梧白月繞飛鷗。衰草濕露啼寒蟬

水曜	乙巳	日三十二月十	天 氣	寒 暖
九月十七日	廿	信	談	詩
<p>九月十七日 廿</p> <p>信 談</p> <p>詩</p> <p>床 起</p> <p>時 分</p> <p>時 分</p>				

(年八卅) 横 濱 沖 於 觀 艦 式 行 せ ば 天 皇 陛 下 臨 幸 遊 ば せ ば

九月十六日 廿

信 談

詩

床 起

時 分

時 分

十月

三〇七

(垣屋呂) 酣雨風聲蟲枕一。淡河秋影雁意半

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 十	辛 亥	火 曜
信	敬			
詩 注				
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

曆 舊 九月二十三日

(年八廿) く開を會迎歡待招に邸別込駒を卒士下校將軍海てに家崎岩

(村 燕) なか田門るな鳴鼠に稻掛

寒 暖	天 氣	日 八 十 二 月 十	庚 戌	月 曜
信	敬			
訪 注				
暮 就	床 起			
時	時			
分	分			

曆 舊 九月二十二日

(年四廿) 震地大濃美浪尾 (年九) す起に口山を亂尋敵一原前

(川曲) 葉紅葛よ男は松もて雨時

寒 暖	天 氣	日 六 月 一 十					己 未	水 曜
信 敬							曆 禰 十 月 二 日	
訪 注								
尋 就	床 起							
時 分	時 分							

(年七廿) る上に上以圓萬億貳廣國內回三第

十
一
月

十
月
朔
日

三
三

(意誠劉) 燈青一雨風更五。鬢白雙山江里八

寒 暖	天 氣	日 七 月 一 十					庚 申	木 曜
信 敬							曆 禰 十 月 二 日	
訪 注								
尋 就	床 起							
時 分	時 分							

(年七廿) 寸領占を湯連大軍二第浩征

平
凡
(
十
四
)
と
ま
り

十
一
月

三
三

(當時王) 家酒賣村孤葉黃。路詩尋岸兩山青

寒 暖	天 氣	日 九 月 一 十							壬 戌	土 曜
信	敬								十月四日 平凡(十三回)を 了す	十月四日
訪	注									
時 分	時 分									

(年五) む改に曆陽太てし殿を曆陰太

十一月

三二五

(丸江大) なか野鷹る散吹市頭に川砂

寒 暖	天 氣	日 八 月 一 十							辛 酉	金 曜
信	敬								十月三日	十月三日
訪	注									
時 分	時 分									

(年四十) す過經を面陽太星水

十一月

三二五

(登御王) 多宵昨較寒宵今。月輪半燈孤點一


寒 暖	天 氣	日 一 十 月 一 十				甲 子	月 曜
信 敬		平A (平十四日) (とと)				曆 節 十 月 六 日	
訪 注							
時 分	時 分					時 分	時 分

(年八録元) 寸出を今の個憐類吉綱川徳

十一月

三二七

(斐有) 榮干釣ぬれか里山ぬれ枯里

寒 暖	天 氣	日 十 月 一 十				癸 亥	 曜 日
信 敬		平A (十二日) (とと)				曆 節 十 月 五 日	
訪 注							
時 分	時 分					時 分	時 分

(年十三) ふ行を式通開樂改橋代永

十一月

三二六

(休日皮) 紅成却雨因苔蒼。紫帶翻霜爲日白

寒 暖	天 氣	日 五 十 月 一 十	戊 辰	全 曜	
信	敬	平凡(十八日)と美 〆			十月十日
訪	注				〆
學 就	床 起				
時	時				
分	分				

(年一卅) ろらせ行舉を習演大別特泉河攝

十一月

三三

(期士) 聲の沖ぶ呼又てえたや夜の冬

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 一 十	丁 卯	木 曜	
信	敬	平凡(十七日)と美 〆			十月九日
訪	注				〆
學 就	床 起				
時	時				
分	分				


(年八卅) 聲發御め爲の告奉御復克和平并參御廟大勢伊はに下陸皇天

十一月

三三〇

十月十七日

(齊誠楊) 長聲一木枯猿斷。短夢初燈寒雨細

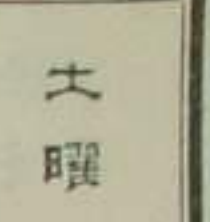
寒 暖	天 氣	日七十月一十	庚 午	
信	發	<p>Estimata diinjoro, dentau' kelkaj tagoj mi ricevis vian postkarton. Kiam dankon por ĝi! Mi sentas kun plezur vian proponon mi sendas al vi tiujn ĉi postkartojn vi faros al mi grandan plezuron, se vi demone sendos al mi iajn kridaĵojn de via lando, aŭ vian postkarteton. Kun kora saluto mi restas postato Garrison Ruiz 8 parantita Konsulejo de la grupo (del) S. Fernando strato M. Tornera, 10 Fernando</p>		
時	分	時	分	時
時	分	時	分	時

Madrid
Espagne.

三三三

(年四) ろは行に内城皇を會登大

(雄白) らつが葛しれらめこりぬやまが炭

寒 暖	天 氣	日六十月一十	己 巳	
信	發	<p>平丸(十九日)の到着</p>		
訪	注			
時	分	時	分	時
時	分	時	分	時

(年五政安) 才投に海摩薩と照月僧盛隆那西

三三三

(翁放陸) 香餘尙袖彩殘菊。葉稿多牀井落桐

寒 暖	天 氣	日 九 十 月 一 十	壬 申	火 曜
信 菽		十月十四日 平凡(三十二回)お系		
訪 菽				
時 分	時 分			

十一月

三三五

(年六) 才禁なるすと稱通て以名官及名國

(丸恒) 宿の緒ぞえ見もと人ふ願世後

寒 暖	天 氣	日 八 十 月 一 十	辛 未	月 曜
信 菽		十月十三日 平凡(三十四)お系 ホトバツノノオモロク (Faint handwritten notes in the background)		
訪 菽				
時 分	時 分			

十一月

三三四

(年八世) 濟印調約臨新す關に置設部監統任委權交外の國韓て於に議會前師

(治文王) 前盤落山晴擁雪。外林穿日晚銜雲

寒 暖	天 氣	日 二 月 二 十	乙 酉	月 曜
信	敬			十月二十七日
7:00	起床	7:00	起床	7:00
7:10	...	7:10	...	7:10
7:20	...	7:20	...	7:20
7:30	...	7:30	...	7:30
7:40	...	7:40	...	7:40
7:50	...	7:50	...	7:50
8:00	...	8:00	...	8:00
8:10	...	8:10	...	8:10
8:20	...	8:20	...	8:20
8:30	...	8:30	...	8:30
8:40	...	8:40	...	8:40
8:50	...	8:50	...	8:50
9:00	...	9:00	...	9:00
9:10	...	9:10	...	9:10
9:20	...	9:20	...	9:20
9:30	...	9:30	...	9:30
9:40	...	9:40	...	9:40
9:50	...	9:50	...	9:50
10:00	...	10:00	...	10:00
10:10	...	10:10	...	10:10
10:20	...	10:20	...	10:20
10:30	...	10:30	...	10:30
10:40	...	10:40	...	10:40
10:50	...	10:50	...	10:50
11:00	...	11:00	...	11:00
11:10	...	11:10	...	11:10
11:20	...	11:20	...	11:20
11:30	...	11:30	...	11:30
11:40	...	11:40	...	11:40
11:50	...	11:50	...	11:50
12:00	...	12:00	...	12:00
12:10	...	12:10	...	12:10
12:20	...	12:20	...	12:20
12:30	...	12:30	...	12:30
12:40	...	12:40	...	12:40
12:50	...	12:50	...	12:50
13:00	...	13:00	...	13:00
13:10	...	13:10	...	13:10
13:20	...	13:20	...	13:20
13:30	...	13:30	...	13:30
13:40	...	13:40	...	13:40
13:50	...	13:50	...	13:50
14:00	...	14:00	...	14:00
14:10	...	14:10	...	14:10
14:20	...	14:20	...	14:20
14:30	...	14:30	...	14:30
14:40	...	14:40	...	14:40
14:50	...	14:50	...	14:50
15:00	...	15:00	...	15:00
15:10	...	15:10	...	15:10
15:20	...	15:20	...	15:20
15:30	...	15:30	...	15:30
15:40	...	15:40	...	15:40
15:50	...	15:50	...	15:50
16:00	...	16:00	...	16:00
16:10	...	16:10	...	16:10
16:20	...	16:20	...	16:20
16:30	...	16:30	...	16:30
16:40	...	16:40	...	16:40
16:50	...	16:50	...	16:50
17:00	...	17:00	...	17:00
17:10	...	17:10	...	17:10
17:20	...	17:20	...	17:20
17:30	...	17:30	...	17:30
17:40	...	17:40	...	17:40
17:50	...	17:50	...	17:50
18:00	...	18:00	...	18:00
18:10	...	18:10	...	18:10
18:20	...	18:20	...	18:20
18:30	...	18:30	...	18:30
18:40	...	18:40	...	18:40
18:50	...	18:50	...	18:50
19:00	...	19:00	...	19:00
19:10	...	19:10	...	19:10
19:20	...	19:20	...	19:20
19:30	...	19:30	...	19:30
19:40	...	19:40	...	19:40
19:50	...	19:50	...	19:50
20:00	...	20:00	...	20:00
20:10	...	20:10	...	20:10
20:20	...	20:20	...	20:20
20:30	...	20:30	...	20:30
20:40	...	20:40	...	20:40
20:50	...	20:50	...	20:50
21:00	...	21:00	...	21:00
21:10	...	21:10	...	21:10
21:20	...	21:20	...	21:20
21:30	...	21:30	...	21:30
21:40	...	21:40	...	21:40
21:50	...	21:50	...	21:50
22:00	...	22:00	...	22:00
22:10	...	22:10	...	22:10
22:20	...	22:20	...	22:20
22:30	...	22:30	...	22:30
22:40	...	22:40	...	22:40
22:50	...	22:50	...	22:50
23:00	...	23:00	...	23:00
23:10	...	23:10	...	23:10
23:20	...	23:20	...	23:20
23:30	...	23:30	...	23:30
23:40	...	23:40	...	23:40
23:50	...	23:50	...	23:50
24:00	...	24:00	...	24:00

十二月

三四九

(年九) む定を制の草授大花菊位

(亞存) 庵の草し廣げればすて着巾頭

寒 暖	天 氣	日 一 月 二 十	甲 申	月 曜
信	敬			十月二十六日
7:00	起床	7:00	起床	7:00
7:10	...	7:10	...	7:10
7:20	...	7:20	...	7:20
7:30	...	7:30	...	7:30
7:40	...	7:40	...	7:40
7:50	...	7:50	...	7:50
8:00	...	8:00	...	8:00
8:10	...	8:10	...	8:10
8:20	...	8:20	...	8:20
8:30	...	8:30	...	8:30
8:40	...	8:40	...	8:40
8:50	...	8:50	...	8:50
9:00	...	9:00	...	9:00
9:10	...	9:10	...	9:10
9:20	...	9:20	...	9:20
9:30	...	9:30	...	9:30
9:40	...	9:40	...	9:40
9:50	...	9:50	...	9:50
10:00	...	10:00	...	10:00
10:10	...	10:10	...	10:10
10:20	...	10:20	...	10:20
10:30	...	10:30	...	10:30
10:40	...	10:40	...	10:40
10:50	...	10:50	...	10:50
11:00	...	11:00	...	11:00
11:10	...	11:10	...	11:10
11:20	...	11:20	...	11:20
11:30	...	11:30	...	11:30
11:40	...	11:40	...	11:40
11:50	...	11:50	...	11:50
12:00	...	12:00	...	12:00
12:10	...	12:10	...	12:10
12:20	...	12:20	...	12:20
12:30	...	12:30	...	12:30
12:40	...	12:40	...	12:40
12:50	...	12:50	...	12:50
13:00	...	13:00	...	13:00
13:10	...	13:10	...	13:10
13:20	...	13:20	...	13:20
13:30	...	13:30	...	13:30
13:40	...	13:40	...	13:40
13:50	...	13:50	...	13:50
14:00	...	14:00	...	14:00
14:10	...	14:10	...	14:10
14:20	...	14:20	...	14:20
14:30	...	14:30	...	14:30
14:40	...	14:40	...	14:40
14:50	...	14:50	...	14:50
15:00	...	15:00	...	15:00
15:10	...	15:10	...	15:10
15:20	...	15:20	...	15:20
15:30	...	15:30	...	15:30
15:40	...	15:40	...	15:40
15:50	...	15:50	...	15:50
16:00	...	16:00	...	16:00
16:10	...	16:10	...	16:10
16:20	...	16:20	...	16:20
16:30	...	16:30	...	16:30
16:40	...	16:40	...	16:40
16:50	...	16:50	...	16:50
17:00	...	17:00	...	17:00
17:10	...	17:10	...	17:10
17:20	...	17:20	...	17:20
17:30	...	17:30	...	17:30
17:40	...	17:40	...	17:40
17:50	...	17:50	...	17:50
18:00	...	18:00	...	18:00
18:10	...	18:10	...	18:10
18:20	...	18:20	...	18:20
18:30	...	18:30	...	18:30
18:40	...	18:40	...	18:40
18:50	...	18:50	...	18:50
19:00	...	19:00	...	19:00
19:10	...	19:10	...	19:10
19:20	...	19:20	...	19:20
19:30	...	19:30	...	19:30
19:40	...	19:40	...	19:40
19:50	...	19:50	...	19:50
20:00	...	20:00	...	20:00
20:10	...	20:10	...	20:10
20:20	...	20:20	...	20:20
20:30	...	20:30	...	20:30
20:40	...	20:40	...	20:40
20:50	...	20:50	...	20:50
21:00	...	21:00	...	21:00
21:10	...	21:10	...	21:10
21:20	...	21:20	...	21:20
21:30	...	21:30	...	21:30
21:40	...	21:40	...	21:40
21:50	...	21:50	...	21:50
22:00	...	22:00	...	22:00
22:10	...	22:10	...	22:10
22:20	...	22:20	...	22:20
22:30	...	22:30	...	22:30
22:40	...	22:40	...	22:40
22:50	...	22:50	...	22:50
23:00	...	23:00	...	23:00
23:10	...	23:10	...	23:10
23:20	...	23:20	...	23:20
23:30	...	23:30	...	23:30
23:40	...	23:40	...	23:40
23:50	...	23:50	...	23:50
24:00	...	24:00	...	24:00

十二月

三四八

(年五) む定を制の兵徴に國全てし詔

大正二年十月二十六日

(城羅) らしは床き寒風松や掃煤

寒 暖	天 氣	日 五 月 二 十	戊 子	木 曜
信	鼓	<p>十一月初日</p> <p>三十二</p> <p>三十二</p>		
訪	鼓			
縣就	床起	<p>征我清軍復州占領才(年七廿)</p>		
時	時	<p>分</p>		

(庭朽) 燕後雪披難色服。菊中霜淡冷情詩

寒 暖	天 氣	日 六 月 二 十	己 丑	金 曜
信	鼓	<p>十一月二日</p> <p>三十一</p> <p>三十一</p>		
訪	鼓			
縣就	床起	<p>我軍赤坂山占領才(年七廿)</p>		
時	時	<p>分</p>		

(年七廿) 才領占山坂赤軍我

(寒 曉) 裁人一人の入れぐたる刈田冬

寒 暖	天 氣	日 七 月 二 十	庚 寅	六 曜
信 菽		十一月三日		
詩 菽		十一月三日		
時 分	時 分	6:59 7:00 7:01 7:02 7:03 7:04 7:05 7:06 7:07 7:08 7:09 7:10 7:11 7:12 7:13 7:14 7:15 7:16 7:17 7:18 7:19 7:20 7:21 7:22 7:23 7:24 7:25 7:26 7:27 7:28 7:29 7:30 7:31 7:32 7:33 7:34 7:35 7:36 7:37 7:38 7:39 7:40 7:41 7:42 7:43 7:44 7:45 7:46 7:47 7:48 7:49 7:50 7:51 7:52 7:53 7:54 7:55 7:56 7:57 7:58 7:59 8:00		
時 分	時 分	7:00 7:01 7:02 7:03 7:04 7:05 7:06 7:07 7:08 7:09 7:10 7:11 7:12 7:13 7:14 7:15 7:16 7:17 7:18 7:19 7:20 7:21 7:22 7:23 7:24 7:25 7:26 7:27 7:28 7:29 7:30 7:31 7:32 7:33 7:34 7:35 7:36 7:37 7:38 7:39 7:40 7:41 7:42 7:43 7:44 7:45 7:46 7:47 7:48 7:49 7:50 7:51 7:52 7:53 7:54 7:55 7:56 7:57 7:58 7:59 8:00		

(年 元) つ分に國々二を羽出に國々五を奥陸

十二月

三五四

(純 陳) 氷成酒底杯寒夜。雪似花中山晚歲

寒 暖	天 氣	日 八 月 二 十	辛 卯	六 曜
信 菽		十一月四日		
詩 菽		十一月四日		
時 分	時 分	7:11 7:12 7:13 7:14 7:15 7:16 7:17 7:18 7:19 7:20 7:21 7:22 7:23 7:24 7:25 7:26 7:27 7:28 7:29 7:30 7:31 7:32 7:33 7:34 7:35 7:36 7:37 7:38 7:39 7:40 7:41 7:42 7:43 7:44 7:45 7:46 7:47 7:48 7:49 7:50 7:51 7:52 7:53 7:54 7:55 7:56 7:57 7:58 7:59 8:00		
時 分	時 分	7:11 7:12 7:13 7:14 7:15 7:16 7:17 7:18 7:19 7:20 7:21 7:22 7:23 7:24 7:25 7:26 7:27 7:28 7:29 7:30 7:31 7:32 7:33 7:34 7:35 7:36 7:37 7:38 7:39 7:40 7:41 7:42 7:43 7:44 7:45 7:46 7:47 7:48 7:49 7:50 7:51 7:52 7:53 7:54 7:55 7:56 7:57 7:58 7:59 8:00		

(年一卅) 才獻に室帝を圓萬千二金價

十二月

三五五

(石 綺) 川の冬りなく鳴和日の他鶴

寒 暖	天 氣	日 九 月 二 十	壬 辰	月 曜
十一月五日				
信	鼓	<p>Handwritten notes and numbers in the '信鼓' section.</p>		
詩	送	<p>Handwritten notes and numbers in the '詩送' section.</p>		
時 分	時 分	<p>Handwritten notes and numbers in the '時分' section.</p>		

(年七廿) く開な會掛祝清征に園公野上民市京皇

十二月

十一月五日

三五六

(村江高) 裴孤擲獨身寒夜。勅鐵廻羅馬勁風

寒 暖	天 氣	日 十 月 二 十	癸 巳	火 曜
十一月六日				
信	鼓	<p>Handwritten notes and numbers in the '信鼓' section.</p>		
詩	送	<p>Handwritten notes and numbers in the '詩送' section.</p>		
時 分	時 分	<p>Handwritten notes and numbers in the '時分' section.</p>		

(年二應慶) る下論勅の古復政王

十二月

三五七

Handwritten notes at the top of the left page.

Handwritten notes on the right margin of the right page.

Handwritten notes at the bottom of the right page.

(棟 張) 想帆一送寒風斜。雪解干含澗日落

寒 暖	天 氣	日 四 十 月 二 十	丁 酉	大 曜
信	發	<p>Handwritten entries in columns, including numbers and characters.</p>		
訪	注			
時	時	<p>Handwritten entries in columns, including numbers and characters.</p>		
分	分			

(年五十餘元) 才嗣な之てふ襲を央義其吉臣道極赤

十二月

三六一

(耕 春) りけり通てつ叱を竹が候季節

寒 暖	天 氣	日 三 十 月 二 十	丙 申	全 曜
信	發	<p>Handwritten entries in columns, including numbers and characters.</p>		
訪	注			
時	時	<p>Handwritten entries in columns, including numbers and characters.</p>		
分	分			

(年七廿) 才領占之城海軍一第清征我

99
86
15

十二月

三六〇

(昆道汪) 鐘曉是華年送斷。裏門千戶萬橋可


寒 暖	天 氣	日 十 三 月 二 十	癸 丑	月 曜
信	叢	<p style="text-align: right;">曆 十一月廿六日</p> <p style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} 1000/12 \\ 80 \end{array}$ </p>		
訪	注			
時 分	時 分			

(年七卅) 寸内參旋凱將中村上將大郷東

十
二
月

三
七
七

(翠半) りな氣り有物買も僧市の年

寒 暖	天 氣	日 九 十 二 月 二 十	壬 子	 曜 日
信	叢	<p style="text-align: right;">曆 十一月廿五日</p> <p style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} 1000/12 \\ 80 \end{array}$ </p>		
訪	注			
時 分	時 分			

(年八卅) 寸呈奉を文奏上徳頌の議決は院族貴

十
二
月

三
七
六

81	Экономическое значение	Меншик Сындыкчи и др.
82	Климатическое значение	За справку на род
83	Климатическое значение	14 стр. и на б. м. м. м. м.
84	Климатическое значение	7 стр.
85	Климатическое значение	Коммунальные дела
86	Климатическое значение	Мокша, Моздокская
87	Климатическое значение	Танки и котельный кот., 2
88	Климатическое значение	Кышанка, К. № I.
89	Климатическое значение	Подарки от В. К. Спирова
90	Климатическое значение	
91	Климатическое значение	
92	Климатическое значение	
93	Климатическое значение	
94	Климатическое значение	
95	Климатическое значение	
96	Климатическое значение	
97	Климатическое значение	
98	Климатическое значение	
99	Климатическое значение	
100	Климатическое значение	

91	Экономическое значение	Меншик Сындыкчи и др.
92	Климатическое значение	За справку на род
93	Климатическое значение	14 стр. и на б. м. м. м. м.
94	Климатическое значение	7 стр.
95	Климатическое значение	Коммунальные дела
96	Климатическое значение	Мокша, Моздокская
97	Климатическое значение	Танки и котельный кот., 2
98	Климатическое значение	Кышанка, К. № I.
99	Климатическое значение	Подарки от В. К. Спирова
100	Климатическое значение	
101	Климатическое значение	
102	Климатическое значение	
103	Климатическое значение	
104	Климатическое значение	
105	Климатическое значение	
106	Климатическое значение	
107	Климатическое значение	
108	Климатическое значение	
109	Климатическое значение	
110	Климатическое значение	

⊕	Сквалы рыбачьи:	Торба за мужик
	Книжкины мануалы и	А. Школы - Понавелеки
	Н. Ковалева и К. Школы	Сопруки кривозеки
	Ва. Мерекова (гид.) до.	Смачен, о Лехов, адм.
	№ 105.	Пелья, Кинпука, апыг.
	В. К.	Самель и др.
	В. К.	Аме / пуд.
	В. К.	Угачуембо О. Н. Мо
	В. К.	орбу, Анд. Хельки, 57.
	В. К.	(Молитви, камачи
	В. К.	ураам О. Н. Нортоа? ба-

Сквалы (сгн. см. ко.)	Машо Шинер.	Хиис
	за 50 смм тугор, чачача	
	дучуево? андулды аучем,	
	авора бачеке кийки	
	ка Хаоние, Улсера и м.	
	др.	
	Ба "Игорисм & Кис оон"	
	ураака та дучека	

四〇五	17.5	23.45
五〇六	27.5	26.92
六〇七	30.5	166.46
二枚	39.5	95.22
	<u>165.0</u>	<u>302.00</u>
計一及七五六十五		

Mypranda "Hnau" u "Looomue Pyho"

Gyaeerie Dekadertu	msom & u lla eu ofeua
Trekuu?	moos je kanyakuum
Tneonofus vertiku?	hissicualh klanofa
Aureandpru lorka	tpetmatra
Taukustorum	Tofues Tynaela
Apsakustorum	
Zurawda Luniger	
Markpuda Karaur	
Ahrudaur	
Haupepiu' Tprocohr	

種
遺

誘 誘

誘柳使 誘柳使

種
造
九

○ ● ●	-5	-10	+15	1	-20	+40	-20	
○ ○ ●	-10	-10	+20	2	-35	+15	+20	
○ ● ●	-20	+5	+15	3	+25	+15	-10	
○ ○ ●	+10	+5	-15	4	-15	+45	-30	
○ ● ●	-15	+60	-45	5	-95	+10	+85	三本 95
○ ● ●	+25	+20	-45	6	-20	+25	-5	25
○ ● ●	-75	+50	+25	7	-55	+15	-10	20
○ ● ●	+35	-60	+25	8	+15	+25	-25	
○ ● ●	-5	+95	-90	9	-25	+15	+10	
○ ● ●	-60	+65	+5	10	-45	+50	-15	
					+40	285	+15	
	+70	+295	+105					



	使	誘	柳				
	○	●	○	1			
	●	○	△	2			
	●	○	○	3			
	●	●	○	4			
	●	●	○	5			
	○	●	○	6			
	●	○	△	7			
	●	●	○	8			
	●	●	○	9			
	●	○	△	10			

10770
10780
10790
10800
10810
10820
10830
10840
10850
10860
10870
10880
10890
10900

10770
10780
10790
10800

種
遺

11

10

種
遺

以下
4 丁
白紙

二

10

明治四十年二月收支一覽表

日	收	入	千	百	十	円	十	銭	厘	支	出	千	百	十	円	十	銭	厘
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
合計																		
果																		
殘																		

金錢出納錄 二月收支一覽表

三三

Imperial Post & Telegraph Office
Tokyo
No 1391
(Traduction Française)
Tokyo, le 8 Octobre 1907

Messieurs,
En réponse à votre lettre du 29 septembre, j'ai l'honneur de vous informer que les lettres envoyées par la poste à Tokio ne se trouvent pas en souff.

明治四十年三月收支一覽表

日	收	入	千	百	十	円	十	銭	厘	支	出	千	百	十	円	十	銭	厘
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
合計																		
果																		
殘																		

金錢出納錄 三月收支一覽表

三三

A price, Monsieur, etc.

Messieu des Postes à
Kobayashi
Tokyo

明治四十年五月收支一覽表

日	收					支				
	入	千	百	十	圓	出	千	百	十	圓
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
合	計									
果	計									
殘	高									

金錢出納錄 五月收支一覽表

明治四十年四月收支一覽表

日	收					支				
	入	千	百	十	圓	出	千	百	十	圓
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
合	計									
果	計									
殘	高									

金錢出納錄 四月收支一覽表

種
遺

以下
4 丁
白紙

二

10

住所人名録

友誼ハ血縁ヨリモ強シ
朱ニ近ケハ赤ク墨ニ近ケハ黒シ
最舊友ハ最良友ナリ

サイラス
里客叢書
プロータス

四四

住所	電話	氏名	郷國
Депанкотеки, D.C.		Лаврадо Ро-Аутин	3p. 50k
Депанкотеки, C.A.		Вепта мо аемопин	
		Вуекон'инепатин	2. 50
М. Тодеропс.		Убрамде Саа.	1. 25
Загнм аам, Т.		Семпар уга Тумофедера	50k.
Шепетотеки, Д.		Мемпа и Аветерои	
Шепуно, нромена		Капуена (60k)	3 pagl.

Шепуно и Макена Шампа	Мо-		
Метрагера.			
Там I	2 pagl.		
Там II	1. 75		
	2, 25		
	6. 00		

表日期氣中點初名宮支干朔小大曆陰年十四

月	正	二	三	四	五	六
大小朔干支	小みづのとみ	大みづのえいぬ	小みづのえたつ	大かのと	小かのと	大かのえ
月	七	八	九	十	十一	十二
大小朔干支	大かのえ	小かのえ	大つちのとうし	小つちのと	大つちのえれ	小つちのえうま
宮名	初點	符	中氣	日期	(年十四治明)	
寶雙白金雙巨獅室天人摩	大雨春穀小夏大處秋霜小冬	☰	月二十	日一十二	月一	
瓶魚羊牛女蟹子天稱蠲馬	寒水分雨滿至暑暑分降雪至	☷	月正	日二十二	月二	
宮宮宮宮宮宮宮宮宮宮宮宮		☽	月二	日二十二	月三	
		☹	月三	日二十二	月四	
		☿	月四	日二十二	月五	
		♁	月五	日二十二	月六	
		♂	月六	日二十二	月七	
		♆	月七	日二十二	月八	
		♅	月八	日二十二	月九	
		♄	月九	日二十二	月十	
		♃	月十	日二十二	月十一	
		♂	月十一	日二十二	月十二	

農家年中行事

農業には時より重きはなし時を以て播種し時を以て培養し時を以て收穫す苟も其時に當らざれば多收好果を望むべからず利益あるべきことも不利益に陥ることを免れざるなりされば農家は年の首に於て一年間の仕事を豫想し置き其時を失ふことなきやう心掛くるを肝要とし時の近づくに及びて周章狼狽し諺に云ふ賊を捕へて索を作るの愚を學ぶべからずまして况んや時過ぎて始めて之を覺るが如きことあるべけんや想ふに昔時太陰暦を用ひたりし頃は農業上の不便幾干なりしや春夏秋冬四季の變替は此暦に於て月日と相一致せしむるを得ず從つて農業上の仕事は月日を以て豫め之を定め置くを得ざりしかば氣節と云ふものを設けて其不便を免るゝとなしありしも是とて年々曆本によりて初めて之を知るとを得たりき是に於て曆本を購ふを得ざりし多數の農家は指導者の後に隨ふて僅に時を失はずして稼穡の事を擧げ行ふを得たりしのみ今や太陽暦を用ふるととなりたりしより農家の仕事は月日を以て之を規定し得べきこととなりて彼の氣節の設は既にして必要なに至りしも舊慣遠に棄つべからずして氣節の名は農家尚ほ往々之を用ふ是とて年々一定し居りて年により僅に一日の差あるのみなれ

ば之を用ふるや大なる便あらざると同時に又別に不可なる理由もあらず但其各季節と月日との關係を豫め暗記し置かざるへからざる之を不便とすべきのみ以下先づ右季節を掲げ次に年間に於ける月々の仕事の概要即ち所謂農家中行事の一斑を示すへし若夫れ氣候の各地相齊からざるや到處に相當すべき月令は茲に記すべきにあらざるが故に且つ略東京附近を標準として之を撰み東京にあらざる行事は推測を以てせるなり大方の農家若之を參考として各其年中の月令を定め置き之を基礎とし便宜事を行はば庶くは其時に於ける以て甚しき失錯に陥るとなきを得るに幾からんか

氣節

(記載の時日は年により二日の差あり以下之に倣ふべし)

八節	立	春	二月四日	春	分	三月二十一日	立	夏	五月六日	夏	至	六月二十二日
	立	秋	八月八日	秋	分	九月二十三日	立	冬	十一月七日	冬	至	十二月二十二日
雨	水	二月十九日	啓	蟄	三月六日	清	明	四月五日	穀	雨	四月二十日	
小	滿	五月二十一日	芒	種	六月六日	小	暑	七月七日	大	暑	七月二十三日	
處	暑	八月二十三日	白	露	九月八日	小	寒	十月八日	大	霜	十月二十四日	
十六節	小	雪	十一月二十二日	大	雪	十二月七日	小	寒	一月五日	大	寒	一月二十日

土	用	春	四月十七日	夏	七月二十日	秋	十月二十一日	冬	一月十七日	
節	分	二月三日	八十八夜	五月二日(三)	入	梅	六月十一日乃	半	夏生	七月二日
二百十日	九月一日	社	日	三月二十三日	九月十九日	彼	岸	三月十八日	九月二十日	

月令

一月 此月は冬の終にして寒氣甚しきが故に圃場の仕事甚は疎なれば便宜各種の閉事業に従ふてよし堆肥其他諸肥の調製茶桑果樹竹などの肥培の如き是れなり三月に掛け繩草鞋蠶簇等の葉細工を營む油菜の移植未だ終らざるべし麥類の耕耘肥培慈姑の採收尙ほ持續すべく楮及三椏の收穫持續し後者は三月に及ふ又三月に掛け促成の土當歸摘收●燻腿燻肉腸詰鹹肉等の製造に宜し●梅を接ぐ麥踏を行ふ豚の交尾に適す秋蠶種を圃ふ三月迄便宜蠶室蠶具の消毒を行ふ

二月 此月農事最も閑なれば農家の會計年度は前月を以て終るとし此月を年度の初めとし前年の決算をなすに宜しかるべし●農具道路の修繕用惡水路溜池の浚深改修を爲す●苗床を整備し胡瓜茄子などの早生物を播種す土當歸を植付け毒の培肥をなす●苗代の犁起を始む●柑類桃栗巴旦杏榲等の種子を蒔く●桑果樹などの移植果樹

の刈込挿木等を行ふ●三月にかけ甘藍の播種に宜し、

三月 此月春暖漸く催したるか故に農事次第に繁忙となる蓋し霜を恐れざる作物は彼岸に至りて既に播種に宜しく苗床に播くは多く此時にあるなり●床蒔のものには玉葱石刁柏烟草紫蘇茄子南瓜蕃茄蕃椒藍冬瓜甜瓜越瓜葱薑漆三椏果樹などの種子甘藷の塊根等あり●床蒔胡瓜を移植す柿櫻桃油桃葡萄李苹果等を移植するに宜し楮芋麻藜薄荷等の分植をなし百合薯蕷蒟蒻九面芋馬鈴薯薑甘蔗等植付亞麻麻若蓮夏菜菔菘稜草牛蒡苘高等を播種す西洋胡蘿蔔は是より十一月に掛け時々播種するに宜し桑葡萄柿李梅梨杏等接木に宜し挿木も亦た宜し桑茶等の中耕肥培を行ふ二年子菜菔を收穫す翌月に掛け野蜀葵を花椰菜を八月に掛け收む柑類は下旬に至り移植すべし四月上旬に掛け貯藏せし蠶卵紙を取出す、

四月 茶玉蜀黍蕙苳蘆粟麻亞麻糸瓜直蒔又床蒔夏菜菔牛蒡夏小豆豆早大豆麥稷菘蒟蒻落花生直蒔又移植等播種杞柳挿木中旬以後稻の種子蒔く里芋甘藷薑玉葱蓮薯蕷蒟蒻慈姑芋麻蕪薯土當歸山茶菜石刁柏蒟蒻等植付又分根「チーゼル」九月に掛け播種亞麻の種子を採收す麥の中耕を終り土寄をなす豌豆蠶豆中耕又肥培す紫蘇胡瓜等植移高菜芥菜罌粟草莓等收穫胡瓜の早物漸次收穫豌豆及石刁柏翌月に掛け收穫下旬に

は、これまた口惜からずや。農工の事につけても、書彫刻の道につけても、すべて我が學淺ければ我が趣き乏しきまゝ、我が興も薄く千里の路を行きて疲勞のみおぼえたらんは悲しからずや。無學にして旅するはたとへば夜行くが如く、すべての美しきものをも認めずして過ぎん。

一。學問は急に如何とも爲しがたし。されど注意といふことは我が心の置きかたにて、深くも淺くもなるべければ旅にありては如何なる物にも事にも勤めて深く注意すべし。注意は智識を生じやがては其人を趣味豊かなる人となして、すべての事物につけ興を多からしむるものなり。學淺くとも注意だに深くば旅はなかく興多くして、しかも其人旅したるがために少からぬ利をば得んこと疑あるべからず。

一。旅立たんとする前地理の大概は必ず豫め知らざるべからず。次に行く手の地方の氣候をよくよく問ひ糺して衣服など相當の準備をすべし開けたる御世なれば如何なる山の奥にても困ずるやうのことは有るまじきなれど地方氣候といふことに心づかて何の準備も無く立出てたらんは聊か愚なるに近くして、しかも或は悔あるべし。次には大概の道づもりをなすべし。何日我家を出て、何の路を取り、那里に至り、何日歸るべしとの心定めは如何なる心まかせの旅にも大概は無くして叶はぬことなり。道づもりは我が

一日に斯ばかりは歩み得べしと思ふ道程より二割ほどを減きて算るを可とす。我がおもふほどは歩まぬものなり。一日に十里を行き得べしと思ふは人の常ながら遊覧の旅なるに日々十里づゝ歩まんは聊か苦しかるべし。日に行くこと八里と算らんには大なる過無かるべく、戦時の定め程に則りて六里と算らんには安全なるべし。また次には携ふべきもの、品々を遺漏なく考へ定めて準備ふべし。こは行かんとする地方の状態により、また我が取るべき身の體裁とにより、取捨に大なる差異あるべけれど、まづ手拭ひ、小風呂敷、半紙、筆、墨、小硯、小刀、齒磨粉、楊枝、時計、地圖、外用藥、興奮性の内用藥の例へば寶丹の如きものなどは携へては叶はざるものなり。穿さかへの靴襪、若くは足袋、褌、絆若くはシャツなども少し長き旅には携ゆるを可とす。雨具は紳士風の旅をせんには餘り用無けれど、學生風の旅せんには油紙など其準備として携ふるをよしとす。婦人など同行して、おのれ一行を保護すべき任を帯びたる時、短銃の類を携へ居らざらんには、萬一不幸の起りたる時、心くばり足らざる人との諍を避くるに路なかるべし。

一。旅に在りては、みだりに他人の事に關はること勿れ。思ひのほかなることの出來て、身退かんに退きがたく、心にもあらず時日金錢を費し心を苦めては、己みがたきことに遇はんも知るべからず。すべて我が豫想せざりし事に深く立入らんは面白きことに遇ふ源ともなるべけれど、好ましからぬことに遇ふ源となるかた多しと知るべし。

一。脚を傷めては旅の興を失ふこと極めて大なり。肉刺といふものは、皮の擦れて熱するより生ずるとおぼし。心して生ぜざる前に防ぐべし。人によりては、これの生じやすき皮膚を有するもありと見ゆ。既に生じたらんには、睡るに先だちて飯糊に煙草の炭寶丹などを練り交ぜ、厚く紙につけて貼るべし。靴ずれば、木綿の靴襪を用うるか、毛糸のにも汚れ垢づきたるを用うるより生ずるものなり。これも豫め防ぐべし。石鹼を解きたるを靴襪にも足にもしたゝかに塗れば、まさに靴ずれの生ぜんとするをも防ぐ功あり。

渡舟賃を拂ひて剩錢を其まゝになしつ顧みざるが如き振舞するは、悪き車夫などの眼をそばだゝすこと、知るべく、また大概の定めを越えて値低く馬車など儲はんとするが如きは、脚に病有る馬に乗りて、岨路に墜とされ、車の前蔽ひ無くして泥を浴びさせらるゝなどの事に遇ひ勝なる基なりと知るべし。金錢を正しく使はんことを特に旅にありては心掛くべきなり。

一。旅に在りては、みだりに他人の事に關はること勿れ。思ひのほかなることの出來て、身退かんに退きがたく、心にもあらず時日金錢を費し心を苦めては、己みがたきことに遇はんも知るべからず。すべて我が豫想せざりし事に深く立入らんは面白きことに遇ふ源ともなるべけれど、好ましからぬことに遇ふ源となるかた多しと知るべし。

一。脚を傷めては旅の興を失ふこと極めて大なり。肉刺といふものは、皮の擦れて熱するより生ずるとおぼし。心して生ぜざる前に防ぐべし。人によりては、これの生じやすき皮膚を有するもありと見ゆ。既に生じたらんには、睡るに先だちて飯糊に煙草の炭寶丹などを練り交ぜ、厚く紙につけて貼るべし。靴ずれば、木綿の靴襪を用うるか、毛糸のにも汚れ垢づきたるを用うるより生ずるものなり。これも豫め防ぐべし。石鹼を解きたるを靴襪にも足にもしたゝかに塗れば、まさに靴ずれの生ぜんとするをも防ぐ功あり。

既に生じたるにはまた例の肉刺を治する法を用うべし。肉刺靴ずれなど足にありては歩むことを厭ふのみに心取られて彼の名高き付句にいへる如く三里と聞いて行かぬ松島といふやうなことにものなるものなり。

一。奇を好むに過ぎてあらぬ路などに踏み入らむこと然るべからず。我のみならむには猶可なりゆめ他人と共によしなき山中などにさまよふべからず。

一。旅にては酒を過ぐすとも大抵二日酔などはせぬものなり。されと多く用ゐんは愚なるべし。特に午の休憩に酒を多く飲まんは、おもしろからぬ事を生ずる源たるべし。心すべきなり。

一。十分の力を用ゐて路を貪り行かんは風雅も薄く心も忙しく無下に拙き旅の仕方なり。旅にては常に七分の氣力を用ゐて三分の氣力を剩し置くべし。十里行くべきを七里行きて宿り、五里歩むべきを四里歩みて休むほどにすれば、心もゆたかに身も苦まぬまゝ見ることも聞くことも自然詳しく密やかになり、旅行の興も益も多く、また萬一の事起るとも氣力乏しからぬば能く之に應ずるを得べし。然るに我が氣力の有らん限りを費さんには事に當るの餘地といふもの無ければ、おのづから萬般の事を懶くのみおぼえて見るも聞くもあろそかにするに至るべく、また萬一の事など起らんには精神まづ萎

靡して身もまた變に應ずるに堪へざるべし。朝に多く語る人は夕に勢ひ弱るものなりと旅に慣れたる人は言ふ。味ある言なり。

一。木賃などに宿らんもまた興あるべく、間の宿の淋しく衰へたる宿なんどに一夜寝んもまた興あるべけれど、おほかたは好き驛の名ある家に宿假るを可とす。榮ゆる家は、おほかた婢僕なども心利きて膳部のものも鮮らしく、よろづにつけて好き事多し。あやしきところに宿りて萬一の事などあらんには、人必ず我を愚なりとて責めん。奇を好む心にのみ身を委せんは、なか／＼愚なる事なり。

一。同行のもの三人以上なる時は、よく／＼金銭出納の事など豫め約束して定め置くを可とす。二日三日と日數重なりては人々我が好み／＼になさんとて人のおもはくを省みるに及ばざるやうになるものなれば、口にまては出さずとも心の中には互に誇りも罵りもするものなり。奢侈を悦ぶ人あり。悦ばぬ人あり。酒を飲む人あり。飲まぬ人あり。戲言いひて婢など鬪るを興なりとおもふ人あり。苦々しとおもふ人あり。これらの人々共に旅するに當りては、年若きものほど多くは人を憚らず、世慣れたるものほど常に自ら克ちて、兎に角に右に立ち左に立ちて同じ山水にさまよふなれど、一日二日の中こそよけれ四日五日となりては、心易くおもふことの増すにつけ飽かずおもふことも増し來て

酒飲まぬ人は酒飲む人を忌み戯言いふ人は戯言いはぬ人を嘲るやうにもなるものなればよるづの事に離れぬ關係ある金錢出納の上などには最初よりあるそかならぬ注意を下し置くを宜しとす。

一。旅日記は必ず其日々に記すべし。一日怠りては次の日いよいよ怠り勝つものなり。甚だしく疲れて筆持つをだに堪へ難くおもはば他日記憶を喚び出すに足るべきかどくをなるとも記し置くべし。

一。旅にては旅の人を恐れよ其土地の人は自己だに良からぬ心持たずば左のみ恐るべくもあらず。たゞ旅の人に心せよ悪き人といふべきほどの人ならぬも。旅にては良からぬことをするものとぞ聞く。まことに世の犯罪の中にて土地の人の土地にて爲せるは幾許もあらぬものなれば然ることもあるべきにや。田舎人の東京にてしたゝかなる眼にあふ如きは多く此心得無きためなり。

一。旅にて見なれぬものを多く食ふことなかれ。生れて初めてかゝるものを食うぞとてしたゝかに食ふが如きはいと鳥辭なることなり。

一。妻子兄弟父母など、旅したらんには旅の中にも勝て樂しき旅なるべし。たゞ少しの路なりとも徒歩にて行かんなど、思ふ時は、一行の中の最も弱き人の脚の左のみ

自ら勤めて歩み得べきほどを尺度にして歩むべき道程の心算をすべし。此の注意足らざる時は大に愉快を少うすることの湧くものなり。ゆめく我を以て人を律するなかられ。

以上は皆我が自ら愚なる實驗を積みて聊か知り得たることなり。旅の心得めくもの書きてよとの博文館の囑に鳥辭がましとは知りながらかくはしるしぬ。

海水浴の効力

海水浴の療法は海の空氣海水の作用、波動の作用の三種に由つて効を奏するものなり、即ち海の大氣は最も純潔にして有害の瓦斯を含まず濃密にして多量の酸素を有す故に肺に多量の酸素を攝取し得べく其温度均一にして身體に害せず又は適度の濕氣あり種々の有効なる成分ある故に體内の燃焼作用を助け消化機を興奮せしめ大に食慾を増進せしめ身體の營養を活潑ならしむ海水の作用は皮膚を強固にし血行を盛んにし波動の打撃に由て普通の運動と同一の効力を有す浴節は夏期にして七八九の三ヶ月間とす而して二十日乃至三十日間持續すべし一浴十分間位にして午前八時より正午迄に行ひ食後は少くとも一時間を経過すべし浴後は西洋手拭にて全身を摩擦し殊に常の冷水を被る時は一層の効能あり又海岸を散歩して常に清潔の大氣を呼吸し早眠早起して午睡を禁じ淡泊の滋養物を用ひて酒類房事を戒しむべし

衛生の心得

人間の世に在るや幸福の最も大なるものは無病健康なるにあり故に平生最も注意して心懸くべきは健康なり健康を欲するならば衛生を忽せにすべからず而して家内一人にても病者あるは是れ既に其家の幸福を缺くるものなれば其内政を掌とる主婦を常に飲食衣服住居の有様より運動睡眠等に注意せしめ平生病人なきを得るのみならず流行病等の盛んなる節にも能く其災害を免かるゝを得て家庭は期せずして圓滿なるを見るべし

第一飲食の注意 禍は多く口より出て病は多く口より入ると眞なる哉言や去れば飲食上の衛生は第一に其の品質を選び既に腐敗の嫌あるものは一切食せず又た餘りに硬きもの餘りに熱きものを避け殊に暴飲暴食を慎む其他悪疫流行の際には生水氷水果物を食ふことを慎しむべし元來食物には穀物肉類野菜果物の四種あり穀物は人間の生存に缺くべからざる大切なるものなれば其間には肉類及び魚鳥肉を適宜に併用せば衛生上一層益あるなり

第二衣服の注意 人間の體温は攝氏の寒暖計三十六度五分より三十七度五分までの間にあり故に此體温を不平均なき様に保つこと衛生上の必要なり去れば衣服は裝飾用

にあらずして第一に寒暑を防ぎ其體温を保つに必要なる爲めと心得べし衣服は直に肌に接するもの最も注意すべし而して襯衣には毛布を第一とし木綿之に次ぎ絹布麻布は用ゐざるを可とす又た仕立方に和洋兩種互に得失あれども我國の製は最も衛生に適ひたり

第三住居の注意 住居に必要なものは第一清潔なる空氣の流通宜しきこと第二太陽の光線が十分なること第三土地の高燥なること是れなり空氣の久しく停滞腐敗するものを吸収せは忽ち種種の疾病を生ず故に室内は成るべく風通りを能くすべし次に太陽の光線も人間の身體に甚だ必要ゆへ家屋は成るべく南向を良とす衣服夜具類も時々光線に曝すべし又た土地の濕氣多きは最も悪しく脚氣病リウマチス等を生じ易し又た飲料水にも注意せよ

第四運動の注意 壯健なるものは肥え太り疲勞する人は瘦せ衰ふ是れ主として筋肉の増減するものなり此筋肉を適度にし腹内の消化器を健全にして各々機能を全くせしむるには適當の運動を爲さるべからず然れども過激過度の運動を爲すときは却て全身疲勞して筋肉虚弱と爲るを免かれず故に平生室内にある人は務めて適當の運動を爲すべし其方法種々あるなり又た婦人は成るべく身體を動かし立働らき戸外の空

氣と光線に當る様にすべし
 第五睡眠の休息 時間の適當なる割合は一晝夜二十四時間を二分し一を勞役に従ひ一は休息に充つ一を睡眠に充つるを生理上の好範とす然れども習慣と體格により之に拘泥すべからず要するに睡眠時間は少くとも一晝夜に六時間を要す睡眠の不足は精神の疲勞を生し終に腦病等を起すなり又た睡眠中は體温の度數一二度を低下するものゆへ衣食の不足ならざる様に注意すべし薄着の爲めに輒もすれば感冒に罹ること多きは之が爲めなり

旅中携帯の藥品類

凡て藥品は其外包に必ず藥名分量用法等を綿密に明記し其これを用ゐる場合にも一度これを熟讀するを要す
 一 携帯輕便なる消毒藥 偶然にもせよ傳染病の疑あるもの、汚物等に觸れ又は負傷等を爲せし場合には先づ豫て昇汞一グラム入の包二つばかりを所持し(包の儘小瓶に入れ置く)用に臨みて一包を五合計の水にとかし用ふ又は硼酸三十グラム計を所持し三グラムを水一勺の比にとかし用ふ。昇汞は決して他藥と混すべからず嚴重に時ふべし。

- 一 寒胃 發熱あれば發汗すべし一回アンチピリン〇七乃至一グラム位其他撒里矢爾酸曹達一回一〇グラムを代用すこれ等は凡て此分量に分ちて携帯す
- 一 頭痛 右のアンチピリン〇七を頓服す
- 一 嘔吐及び癢 癢とは胃癢を云ふ兩方共鹽酸古加乙湿二回〇〇四を用意すべし船中の嘔吐には右鹽酸古加乙湿にアンチピリン〇五を和して服用し又は或醫師は乗船前に沃度加里〇五グラムを服用することをすゝめたり
- 一 マラリヤ(間歇熱又は瘧) は九州沖繩地方などに多し流行地にゆく時は豫防として鹽酸規泥涅一九〇五入數十粒を携帯し一日一粒宛服用すまたこれにかゝりし時は發作前六時間に右二粒を服用す
- 一 胃弱 胃弱にして暖氣出て胸が焦げる様の感あるときは東京にては太田大阪ならば猪飼などの胃散を服用す清心丹も必要なり
- 一 虎列刺流行時には稀鹽酸一オンス位を携帯す毎食後に茶飲に水をさしこれに四五滴を垂らして服用すべし
- 一 氣付藥 (興奮劑) 守田の寶丹或は樟腦丁幾を用意すべし
- 一 含嗽藥 鹽酸加里三グラムを水一合位の割合にとかす

一蛇に噛まれたるときは速かに其部に口を着けて強く吸ひ出すべし此毒は人の口より入る時は無害あり然後アムモニヤ水をぬるべし○又た糊帶ガ一ゼ絆創膏を少し許携帶すべし

尙附記すべきは食箸は食箸函と共に携帶するを要すこれ最も安全なる策なり又た頭髪の掃除用に供する櫛などを携帶するは今日早く行はるゝ所にして極めて良きことなり彼の髪毛脱落症其他頭皮の濕疹などは往々不潔なる櫛より傳染する事あればなり又た剃刀も必要なり不潔なる床屋の剃刀によりて旅瘡丹毒痘瘡其外濕疹疥癬梅毒などの傳染することありといふ。



○年 曆

年號始	大化	養老	神龜	天智	白鳳	天武	大寶	慶雲
和銅	靈龜	養老	神龜	天智	白鳳	天武	大寶	慶雲
延曆	大同	弘仁	天長	承和	嘉祥	仁壽	天德	貞觀
仁和	寬平	昌泰	延喜	承和	嘉祥	仁壽	天德	貞觀
安和	寬平	昌泰	延喜	承和	嘉祥	仁壽	天德	貞觀
長保	寬弘	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
天喜	康平	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
承和	康和	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
天承	長承	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
永曆	應保	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
元曆	文治	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
貞應	元仁	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
仁治	元仁	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
弘安	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
元應	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
曆應	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
應永	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
應仁	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
永祿	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
萬治	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
延享	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久
弘化	元亨	長和	貞元	天安	永觀	長元	永曆	長久

△印ハ北朝ノ年號ナリ○神武天皇ヨリ大化元年マテ其間千三百四年○年號ハ人皇三十六代孝德天皇乙巳年ヨリ始ル

太陽系

太陽及惑星	直徑	地軸一回轉時	容量(地球ナ)	質量(地球ナ)	地球ナ一トス	水ナ一トス	表面力(地球ナ)
太陽	八五二、五八四哩	二五〇日七時四十分	一、四〇七、二四〇、〇〇〇	三三四、九三六、〇〇〇	〇・二五二	一・三三七	二八・二八
水星	二、九六二	二時五十分	〇・〇六〇	〇・八七五	二・九四〇	一・五九九	一・一五
金星	七、五二〇	二四二日	〇・〇九七	〇・八八五	〇・九二二	五・〇二	〇・九一
地球	七、九二五	二四二日	一・〇〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	五・四四	一・〇〇
火星	四、九三〇	二四二日	〇・一四〇	〇・三三三	〇・九四八	五・一五	〇・五〇
木星	八八、三九〇	九百五十二日	一、四一四、〇〇〇	三三八、三三四	〇・一三三	一・二九	二・四五
土星	七、七九〇	一、〇九五日	七、三四八、〇〇〇	一、〇八一	〇・三三八	〇・七五	一・〇九
天王星	三三、〇二〇	一、〇九五日	一、四一四、〇〇〇	一、〇八一	〇・三三八	〇・七五	一・〇九
海王星	三六、六二〇	一、〇九五日	一、四一四、〇〇〇	一、〇八一	〇・三三八	〇・七五	一・〇九

惑星

惑星	地軸傾斜ノ度	軌道ニ於ケル一時間ノ速力	地球ノ日	各惑星ノ日	太陽ヨリ平均距離	地球ヨリ最遠距離	地球ヨリ最近距離
水星	七、〇〇〇	一〇、五三三哩	八七・九六	一・五八	三、五三三、九六三哩	四、七四七、七四七哩	二、二一四、二一四哩
金星	三、三三三	七、七、七、七、七	二二四・七〇	五八・三九	六、六、一、三、四、七、八	一、〇、一、〇、一、〇、一、〇	一、〇、一、〇、一、〇、一、〇
地球	〇、〇〇〇	六、五、五、五、五	三六五・三五	七、七、九、八	九、一、四、三、〇、三、三〇	一、三、九、三、一、二、六	六、二
火星	一、五、一、〇、六	五、三、〇、九、〇	六八六・九七	三九八・八	一、三、九、三、一、二、六	四、七、五、六、九、三、一、四、九	四、〇、九
木星	一、八、五、二、三	二、八、七、四、四	一、〇、六、七、九、二	三、七、八、八	八、七、二、三、四、五、八、三	一、七、五、三、八、五、一、〇、五、三	一、〇、一、四
土星	〇、四、六、二、八	一、四、九、三、三	三、〇、六、八、八	三、六、九、七	一、七、五、三、八、五、一、〇、五、三	一、七、四、六	一、九、二、九
天王星	〇、四、六、二、八	一、四、九、三、三	三、〇、六、八、八	三、六、九、七	一、七、五、三、八、五、一、〇、五、三	一、七、四、六	一、九、二、九
海王星	一、四、六、五、九	一、九、五、八	六、〇、一、二、六、七、一	三、六、七、五	二、七、四、六、二、七、一、三、三	二、六、二、九	二、八、六、三

月ノ直徑ハ二千六百六十哩地軸一回轉時ハ二十七時四十分軌道ニ於ケル一時間ノ速力ハ二千二百七十三哩地軸傾斜ハ五度八分三十分九秒一年ノ日數ハ地球ノ日ニテ二十七時三分二厘月ノ日ニテ二十九日五分地球ヨリノ距離二十三萬八千八百三十三哩ナリ

本邦經緯度

土地	地極	經度	緯度	地極	緯度
全土	極東	千島國占守郡占守島東端	東經	極南	臺南郡岩礁南端
全土	極西	澎湖島花嶼西端	東經	極北	千島國占守郡アライト島北端
本州	極東	伊豆國小笠原島東端	東經	極南	伊豆國小笠原島南端
本州	極西	長門國豐浦郡蓋井島西端	東經	極北	陸奥國下北郡辨天島北端
四國	極東	阿波國那賀郡伊島東端	東經	極南	土佐國幡多郡沖島南端
四國	極西	伊豫國西字郡和野田岬	東經	極北	豐前國小豆島北端
九州	極東	豐後國南郡大島東端	東經	極南	豐前國大島郡與論島南端
九州	極西	大隅國大島郡與論島西端	東經	極北	豐前國大島郡與論島北端
琉球	極東	沖繩國島崎	東經	極南	波照間島南端
琉球	極西	與那國島西端	東經	極北	波照間島北端
北海道	極東	根室國花咲郡タラク島東端	東經	極南	渡島國松前郡小島南端
北海道	極西	根室國松前郡大島西端	東經	極北	渡島國松前郡小島北端
千島	極東	占守郡占守島東端	東經	極南	國後郡計羅武威岬
千島	極西	占守郡占守島西端	東經	極北	國後郡アライト島北端
臺灣	極東	臺南郡岩礁南端	東經	極南	南岬岩礁南端
臺灣	極西	臺南郡岩礁北端	東經	極北	南岬岩礁北端
澎湖	極東	澎湖島東端	東經	極南	澎湖島南端
澎湖	極西	澎湖島西端	東經	極北	澎湖島北端

本邦周圍及面積

日露戰爭ノ結果露國ヨリ得タル樺太ノ半部即チ北緯五十度以南ノ地ハ未ダ詳細ナル調査ナキヲ以テ之ヲ掲載スルノ能ハス次表亦同シ

太陽系●惑星●本邦經緯度●本邦周圍及面積

南北各極	一三〇,一五一	南亞米利加洲	七,五〇〇,〇〇〇	南亞米利加洲	三六,〇八,九五一
兩極經過周圍	二四,八一五,〇四三	大洋洲	一六,〇〇〇,〇〇〇	大洋洲	四五,一六,五三〇
赤道三於ケル周圍	二四,八九六,九二四	合計	一五,〇〇〇,〇〇〇	合計	一五,五五〇,〇〇〇
平均周圍	二四,八五五,九三三	水陸總計	一六,七〇〇,〇〇〇	水陸總計	一六,七〇〇,〇〇〇

○各國面積及人口

國別	本國面積	屬地	合計面積	人口
英國	一〇,九七九,六一六	一〇,一六三,三三四	二一,一四二,九五〇	三九六,三三八,六一三
佛蘭西	二〇,九五六,六一六	六,六五六,七二四	二七,五二三,三四〇	三三,一九七,〇八〇
支那	二〇,七〇五,四二〇	四,〇七二,〇七六	二四,七七七,四九六	九〇,一〇一,〇八五
合衆國	一,五三三,四二〇	二,七四四,七五〇	四,二七八,一七〇	四二,〇四七,三〇五
伯利馬	三,五六六,一〇四	一六九,九四七	三,七三六,〇五一	八六,八四四,二七五
土爾其	三,二二八,一三〇	一六九,九四七	三,三九八,〇七七	一四,三三三,九一五
亞爾巴尼亞	一,一五〇,四六六	四六四,九三六	一,六一五,四〇二	四〇,四四〇,九五七
羅馬尼亞	二〇八,八三〇	一〇,二七,八二〇	二一九,一〇七,八二〇	六,九四四,七七八
希臘	一,三五,八四〇	九〇〇,〇〇〇	一,〇一五,八四〇	四,七九四,一四九
白俄羅斯	九八三,九八三	八〇,一〇,六〇〇	一,〇六四,〇八三	一,八五二,六五七
葡萄牙	一,一三七,三三三	七八二,八六三	九〇〇,一九六	三六,六九三,五四八
墨西哥	七六七,〇〇五	七六七,〇〇五	一,五三四,〇一〇	一,八五二,六五七
秘魯	六九五,七三三	六九五,七三三	一,三五四,四六六	三,六六三,五四八
波多黎各	六二八,〇〇〇	六二八,〇〇〇	一二五,六〇〇	一,〇六九,九九九
古巴	五九三,九四三	五九三,九四三	一一八七,〇〇〇	四,〇六九,九九九
西班牙	五〇四,七七三	五〇四,七七三	一,〇〇八,七四六	三,三三三,五二七
伊比利亞	一〇,五五九	二五二,八五〇	二六三,四〇九	三,八七八,六〇〇
利比亞	一一〇,五五九	一八八,三五六	二九八,九一五	一八,七四二,〇九七

○東京公廳所在

廳名	所在	面積	人口
瑞典	瑞典	二九七,〇〇六	七,四一五,一〇六
智利	智利	二七九,九〇一	二,七二一,一四五
波多黎各	波多黎各	二二六,〇〇〇	四六,九九三,三五九
墨西哥	墨西哥	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
希臘	希臘	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
白俄羅斯	白俄羅斯	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
葡萄牙	葡萄牙	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
墨西哥	墨西哥	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
波多黎各	波多黎各	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
古巴	古巴	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
西班牙	西班牙	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
伊比利亞	伊比利亞	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
利比亞	利比亞	二二六,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
合計	合計	二,九二五,七三三	一,五八〇,一四一,九〇二
其他	其他	三,四三八,八三〇	一九,七五八,〇九八
總計	總計	六,三五四,五六三	三一,五三八,二四〇

○東京日本橋ヨリ地方元標ニ至ル里程

各國面積及人口 ●東京公廳所在 ●東京日本橋ヨリ地方元標ニ至ル里程

艦名	艦材	竣工年	排水量	馬力	速度	砲射	人員
夕追	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
疾朝	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
時春	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
松白	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
白若	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
夕朝	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
如子	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
彌神	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
初潮	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
霞吹	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
有朝	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
村春	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
卷雲	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
敷波	鋼	二七	四〇〇	三〇〇〇	二二	六	一〇七
總計	鋼	二七	一七、八六四	二八七、〇〇〇	二七	一〇八	九四

本表ノ外製造中ノモノ猶ホ四月、水無月、長月、菊月ノ四隻アリ○乘組人員ハ明治三十七年十二月三十一日ノ現員ナリ○竣工ノ年ハ總

○各國海軍

テ明治年間ニ係ルモノナリ○ホハ明治三十七八年戰役中ノ戦利ニ依リ艦籍ニ入リシモノニシテ其舊名ヲ學クレハ左ノ如シ
敷波(カイダマーク)、卷雲(アサドニツク)、早月(ビエドウキ)、文月(シルルマイ)、山彦(レシタリマイ)以上五隻

種別	線路長	線路延長	建設費	停車場	機關車	客車	貨車
總計	一、六〇〇	一、〇七三	一、六七〇	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
官設	一、〇〇〇	六、二七三	四、〇九四	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
私設	六〇〇	四、四五六	二、五七六	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
明治三十七年度	三三	五、九七三	三、五八〇	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
明治三十六年度	三三	五、八五三	三、五八〇	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
明治三十五年度	三三	四、三六二	二、五七六	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
明治三十四年度	三三	四、一五二	二、五七六	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六
總計	一、六〇〇	一、〇七三	一、六七〇	一、〇〇〇	一、〇九二	一、六四六	七、三三六

各國海軍●官私設鐵道ノ一●官私設鐵道ノ二

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
官私	三十四	三十五	三十六	總計	三,〇二六	三五五	三,〇二六	三五五	三,〇二六	三五五	九,六四九	四,五五〇	二,四〇六	二,三七七	四,〇二〇	九,〇六三	九,〇六三	〇	
官	三十四	三十五	三十六	汽船	一,〇五二	一八三	一,〇五二	一八三	一,〇五二	一八三	六,一三六	三,〇一八	一,九一〇	一,九一〇	二,九一〇	六,一三六	六,一三六	〇	
私	三十四	三十五	三十六	帆船	二,〇七四	一七二	二,〇七四	一七二	二,〇七四	一七二	三,五一三	一,五三二	五七〇	一,四六七	一,一〇〇	二,九二七	二,九二七	〇	

汽船及帆船

明治三十七年十二月三十一日

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
總計	三十四	三十五	三十六	汽船	三,〇二六	三五五	三,〇二六	三五五	三,〇二六	三五五	九,六四九	四,五五〇	二,四〇六	二,三七七	四,〇二〇	九,〇六三	九,〇六三	〇	
汽船	三十四	三十五	三十六	帆船	二,〇七四	一七二	二,〇七四	一七二	二,〇七四	一七二	三,五一三	一,五三二	五七〇	一,四六七	一,一〇〇	二,九二七	二,九二七	〇	

郵便線路及局數等

三月三十一日

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
普通	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	普通	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	
鐵道	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	鐵道	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	

內外國發信郵便物

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
普通	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	普通	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	
鐵道	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	鐵道	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
新書	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	新書	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	〇	
雜誌	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	雜誌	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	

內外國小包郵便

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
國內	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	國內	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	
國外	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	國外	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	

郵便爲替及電信爲替

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
爲替	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	爲替	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	
電信	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	電信	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	

電信線路

三月三十一日

種別	明治三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	汽船		帆船		合計	不登簿船	種別	汽船		帆船		合計	收入金	支出金	益金
					噸數	隻數	噸數	隻數				噸數	隻數	噸數	隻數				
陸上	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	陸上	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	
水上	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	水上	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	

汽船及帆船 郵便線路及局數等 內外國發信郵便物 內外國小包郵便

○ 內外國發信電報通數及料金

年 度	內 國			外 國		
	有 料	無 料	合 計	有 料	無 料	合 計
明治三十三年	一四、六六〇、三三一	二、〇七六、八一九	一六、七三七、一五〇	三、八七四、九七〇	八、五三三、七	一、二、四〇八、七四〇
明治三十四年	一四、四二六、〇〇九	一九三三、九八六	一六、三五九、九九五	三、七二九、一六二	八、五三三、七	一、二、四〇八、七四〇
明治三十五年	一五、七三三、四八四	一九六〇、五七五	一七、六九四、〇五九	四、〇〇六、二五四	八、五三三、七	一、二、四〇八、七四〇
明治三十六年	一六、六九九、九二七	二、三三四、六八七	一九、〇三四、六一四	四、四〇七、四八三	八、五三三、七	一、二、四〇八、七四〇
明治三十七年	一七、七九五、六一一	二、五四六、四七二	二〇、三四二、〇八三	五、一六六、八七一	八、五三三、七	一、二、四〇八、七四〇

○ 電話線路

年 度	架 空 線 路			地 下 ケーブル		
	線 路	線 條	心 線	線 路	線 條	心 線
明治三十三年	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八
明治三十四年	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八
明治三十五年	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八
明治三十六年	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八
明治三十七年	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八	一、〇二八	一、五七三	一、〇二八

○ 電話交換度數

年 度	一 區 域 內		二 區 域 間	
	加入者	電話所	加入者	電話所
明治三十三年	六五、七九三、五〇〇	四六、七七七	五、四四三	五、四四三
明治三十四年	八九、二七一、七二八	四四、〇八五	五、四四三	五、四四三
明治三十五年	一一七、〇三九、九二二	四二、〇〇八	五、四四三	五、四四三
明治三十六年	一一五、五八三、三七一	四一、九八四	五、四四三	五、四四三
明治三十七年	一四三、〇一四、八三八	四一、九八四	五、四四三	五、四四三

○ 郵便貯金

年 度	一 區 域 內		二 區 域 間	
	加入者	電話所	加入者	電話所
明治三十三年	六五、七九三、五〇〇	四六、七七七	五、四四三	五、四四三
明治三十四年	八九、二七一、七二八	四四、〇八五	五、四四三	五、四四三
明治三十五年	一一七、〇三九、九二二	四二、〇〇八	五、四四三	五、四四三
明治三十六年	一一五、五八三、三七一	四一、九八四	五、四四三	五、四四三
明治三十七年	一四三、〇一四、八三八	四一、九八四	五、四四三	五、四四三

○ 郵便電信收入支出

種 類	收 入		支 出	
	明治三十五年	明治三十六年	明治三十五年	明治三十六年
通郵貯蓄	二〇、六九二、三三五	二二、三六八、一九八	一六、六八三、三八二	一七、二五一、九六五
郵便貯蓄	一一、六〇九、六七九	一一、二七二、七三三	一〇、八六八、八四四	一〇、九八二、四五四
郵便貯蓄	八、一六四、三三三	八、三三三、八八八	七、七三九、一〇〇	七、七三九、一〇〇
郵便貯蓄	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三
郵便貯蓄	二、二二二、二二二	二、二二二、二二二	二、二二二、二二二	二、二二二、二二二
郵便貯蓄	一、一一一、一一一	一、一一一、一一一	一、一一一、一一一	一、一一一、一一一
郵便貯蓄	〇、〇〇〇、〇〇〇	〇、〇〇〇、〇〇〇	〇、〇〇〇、〇〇〇	〇、〇〇〇、〇〇〇

○ 各國鐵道電信及郵便

國 名	年 次		線 路 長		年 次	
	明治三十五年	明治三十六年	明治三十五年	明治三十六年	明治三十五年	明治三十六年
日本	四、二〇〇	四、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
印度	三、五〇〇	三、五〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
暹羅	三、〇〇〇	三、〇〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
爪哇	二、五〇〇	二、五〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
英屬東印度	二、〇〇〇	二、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
荷屬東印度	一、五〇〇	一、五〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
菲律賓	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
暹羅	〇、五〇〇	〇、五〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
爪哇	〇、二〇〇	〇、二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

內外國發信電報通數及料金 ● 電話線路 ● 電話交換度數 ● 郵便貯金 ● 郵便電信收入支出 ● 各國鐵道電信及郵便

價還告示濟ニ係ル第四回、第五回國庫債券及金銀公債ハ之レナ青略セリ起債額及償還額ノ欄括弧内ノ金額ハ臺灣事業公債法第三條第四項ノ規定ニ依ル公債ノ變換額ナリ、臨時事件公債ハ目下拂込中ニ係ルモノナルヲ以テ起債額及未償還額ノ欄ニ募集額ヲ掲載セリ、本表未償還額ノ内外國ニ流通シ居ルモノアレドモ其額ハ未詳ナリ

○貨幣鑄造高及發行 (*ハ舊金貨)

種	自明治三十七年度		自明治三十六年度		目	性	合
	鑄造高	發行高	鑄造高	發行高			
金	六六,三九五,〇六一	五〇,〇〇〇,〇〇〇	六六,三九五,〇六一	五〇,〇〇〇,〇〇〇	一七,五三三,一三〇	純金	九百分
銀	七,三二四,七九〇	七,一八九,七九〇	七,三二四,七九〇	七,一八九,七九〇	一七,五三三,一三〇	純銀	八百分
銅	一,七九一,〇六四	一,〇六二,九八七	一,七九一,〇六四	一,〇六二,九八七	一〇,六二九,九八七	參和銅	二百分
計	九,八五〇,九四四	八,一八二,七七七	九,八五〇,九四四	八,一八二,七七七	二六,六三三,一四五		

○新貨幣明細表

種	類		徑 (曲尺)	量	目	性	合
	貨	銀					
白銅貨	五	十	六分	四	四	參和銅	二百五十分
貨	五	十	五分	四	四	參和銅	二百分
貨	五	十	四分	四	四	參和銅	二百分
貨	五	十	三分	四	四	參和銅	二百分
貨	五	十	二分	四	四	參和銅	二百分
貨	五	十	一分	四	四	參和銅	二百分

○舊貨幣明細表

種	類		徑 (曲尺)	正徑 (曲尺)	量	目	改正量	目	性合
	貨	銀							
青銅貨	五	一	九分	七	一	日本	九	九	金
貨	五	一	七分	七	一	日本	九	九	銀
貨	五	一	五分	七	一	日本	九	九	銀
貨	五	一	四分	七	一	日本	九	九	銀
貨	五	一	三分	七	一	日本	九	九	銀
貨	五	一	二分	七	一	日本	九	九	銀
貨	五	一	一分	七	一	日本	九	九	銀

貨幣鑄造高及發行 ● 新貨幣明細表 ● 舊貨幣明細表

貨	銅	白銅	五錢	二錢	一錢	半錢	一厘
明治二十一年十一月制定同二十二年六月發行	明治六年八月制定發行	明治四年制定同六年八月圖畫寸法改正	明治四年制定同六年八月圖畫寸法改正	明治四年制定同六年八月圖畫寸法改正	明治四年制定同六年八月圖畫寸法改正	明治四年制定同六年八月圖畫寸法改正	明治四年制定同六年八月圖畫寸法改正
六分八厘	一寸五厘	九分	七分七厘	七分二厘	七分二厘	七分二厘	七分二厘
日本一匁二分四厘二毛	日本七十三分九厘五毛	日本一匁二分九厘七毛	日本一匁二分九厘七毛	日本一匁二分九厘七毛	日本一匁二分九厘七毛	日本一匁二分九厘七毛	日本一匁二分九厘七毛
量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)	量目(創制ノ品)
發行年	發行年	發行年	發行年	發行年	發行年	發行年	發行年
明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行	明治五年戊子五月ヨリ發行
寛永通寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶
寛永通寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶	文久永寶

○文官及雇傭 (*ハ兼官)

年次	郡長	郡判任官	雇傭	合計
明治三十三年	二八八	一、一七七	五、〇三二	六、四九七
明治三十四年	二八九	一、一六二	五、〇三二	六、四八三
明治三十五年	三〇〇	一、一五〇	五、〇三二	六、四八二
明治三十六年	二九九	一、一四九	五、〇三二	六、四八〇
明治三十七年	三〇一	一、一五〇	五、〇三二	六、四八三

本表ハ國庫金ヲ以テ俸給ヲ支給スルモノナリ但シ宮内省ノ官吏神宮司廳等ノ職員執達吏諸官廳ノ門衛等非職休職官吏外國人居留地ノ巡査ハ算入セズ

○郡市町村吏員 (*ハ兼務)

年次	郡長	郡判任官	雇傭	合計
明治三十三年	二八八	一、一七七	五、〇三二	六、四九七
明治三十四年	二八九	一、一六二	五、〇三二	六、四八三
明治三十五年	三〇〇	一、一五〇	五、〇三二	六、四八二
明治三十六年	二九九	一、一四九	五、〇三二	六、四八〇
明治三十七年	三〇一	一、一五〇	五、〇三二	六、四八三

郡長及沖繩縣ノ郡判任官以下ハ文官ヨリ抽出シ又北海道ノ區吏員ハ市吏員ニ合算ス

○恩給及扶助料受領總人員

種別	人員	金額
恩給	一、〇六八	一、六七八、九五一
扶助料	三、〇三六	一、九三〇、四九六
合計	四、一〇四	三、六〇九、四四七

○有爵人員

年次	公爵	侯爵	伯爵	子爵	男爵	合計
明治三十三年	二	二	三	三	三	一三
明治三十四年	二	二	三	三	三	一三
明治三十五年	二	二	三	三	三	一三
明治三十六年	二	二	三	三	三	一三
明治三十七年	二	二	三	三	三	一三

○有位人員

階位	華族	士族	平民	合計
從一位	一	一	一	三
正一位	一	一	一	三
從二位	一	一	一	三
正二位	一	一	一	三
從三位	一	一	一	三
正三位	一	一	一	三
從四位	一	一	一	三
正四位	一	一	一	三
從五位	一	一	一	三
正五位	一	一	一	三
從六位	一	一	一	三
正六位	一	一	一	三
從七位	一	一	一	三
正七位	一	一	一	三
從八位	一	一	一	三
正八位	一	一	一	三
從九位	一	一	一	三
正九位	一	一	一	三

文官及雇傭●郡市町村吏員●恩給及扶助料受領總人員●有爵人員●有位人員

校別	校數	內地	本島	合計	內地	本島	合計
官立學校	120	147	172	319	285	164	449
公立學校	137	147	172	319	285	164	449
私立學校	157	147	172	319	285	164	449
總計	414	481	518	1000	855	492	1347

臺灣特用農產物

種別	明治三十四年	同三十五年	同三十六年	同三十七年	種別	明治三十四年	同三十五年	同三十六年	同三十七年
藍(大菁)	3,169,324	2,594,643	3,494,966	5,096,657	藍(小菁)	683,582	1,253,600	827,450	763,550
藍(麻)	1,558,814	1,659,688	2,333,602	3,333,602	鳳梨	1,253,600	994,226	919,590	749,590
山木	1,990,000	1,659,688	2,333,602	3,333,602	梨	1,990,000	1,990,000	1,990,000	1,990,000
茶	1,990,000	1,659,688	2,333,602	3,333,602	織	1,990,000	1,990,000	1,990,000	1,990,000
黃荳	1,990,000	1,659,688	2,333,602	3,333,602	黃維草	1,990,000	1,990,000	1,990,000	1,990,000

臺灣輸出入物品總價額 (*ハ輸出超過)

年次	輸出品		輸入品		合計	輸貨紙幣及金銀地金銀價額	輸貨紙幣及金銀地金銀價額
	輸出	輸入	輸出	輸入			
同三十四年	8,298,800	11,809,753	11,809,753	11,809,753	20,108,553	1,705,368	1,705,368
同三十五年	13,816,888	11,005,533	11,005,533	11,005,533	24,822,421	966,801	966,801
同三十六年	11,078,331	10,777,371	10,777,371	10,777,371	21,855,702	948,309	948,309
同三十七年	12,391,133	11,338,444	11,338,444	11,338,444	23,729,577	1,267,192	1,267,192
同三十八年	10,705,144	10,963,877	10,963,877	10,963,877	21,669,021	1,267,192	1,267,192

樟腦及樟腦油產出高

局所	年度	特許人員	灶數	官樟	民樟	合計	官樟	民樟	合計
局	度	員	數	官	民	合計	官	民	合計
				業	業	業	業	業	業
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

年利日歩換算表

年利	年利日歩換算		年利	年利日歩換算	
	日歩	年利		日歩	年利
1%	0.00274	36.5	1%	0.00274	36.5
2%	0.00548	73.0	2%	0.00548	73.0
3%	0.00822	109.5	3%	0.00822	109.5
4%	0.01096	146.0	4%	0.01096	146.0
5%	0.01370	182.5	5%	0.01370	182.5
6%	0.01644	219.0	6%	0.01644	219.0
7%	0.01918	255.5	7%	0.01918	255.5
8%	0.02192	292.0	8%	0.02192	292.0
9%	0.02466	328.5	9%	0.02466	328.5
10%	0.02740	365.0	10%	0.02740	365.0

利子早見表

元金	年利		元金	年利	
	日歩	年利		日歩	年利
100	0.00274	36.5	100	0.00274	36.5
200	0.00548	73.0	200	0.00548	73.0
300	0.00822	109.5	300	0.00822	109.5
400	0.01096	146.0	400	0.01096	146.0
500	0.01370	182.5	500	0.01370	182.5
600	0.01644	219.0	600	0.01644	219.0
700	0.01918	255.5	700	0.01918	255.5
800	0.02192	292.0	800	0.02192	292.0
900	0.02466	328.5	900	0.02466	328.5
1000	0.02740	365.0	1000	0.02740	365.0

臺灣特用農產物●臺灣輸出入物品總價額●樟腦及樟腦油產出高
 ●年利日歩換算表●利子早見表

公債株式利息一覽表

六三	〇・一六一	〇・三三三	〇・四八四	〇・六四五	〇・八〇六	〇・九六八	一・一三〇	一・二九二	一・四五四	一・六一三
六二	〇・一五九	〇・三二六	〇・四七七	〇・六三八	〇・八〇〇	〇・九六二	一・一二四	一・二八六	一・四四八	一・五八七
六一	〇・一五二	〇・三一九	〇・四七〇	〇・六三二	〇・七九四	〇・九五六	一・一一八	一・二八〇	一・四四二	一・五八一
六〇	〇・一四六	〇・三一三	〇・四六四	〇・六二六	〇・七八八	〇・九五〇	一・一〇二	一・二六四	一・四二六	一・五六五
五九	〇・一四〇	〇・三〇六	〇・四五七	〇・六一〇	〇・七七二	〇・九三四	一・〇九四	一・二五六	一・四一八	一・五五七
五八	〇・一三三	〇・二九九	〇・四五〇	〇・六〇三	〇・七六五	〇・九二七	一・〇八六	一・二四八	一・四一〇	一・五四九
五七	〇・一二七	〇・二九二	〇・四四三	〇・五九六	〇・七五八	〇・九二〇	一・〇七八	一・二四〇	一・四〇二	一・五四一
五六	〇・一二一	〇・二八五	〇・四三六	〇・五八九	〇・七五〇	〇・九一二	一・〇七〇	一・二三二	一・三九四	一・五三三
五五	〇・一一五	〇・二七八	〇・四二九	〇・五八二	〇・七四四	〇・九〇六	一・〇六二	一・二二四	一・三八六	一・五二五
五四	〇・一一〇	〇・二八〇	〇・四二二	〇・五七五	〇・七三七	〇・九〇〇	一・〇五四	一・二一六	一・三八〇	一・五一九
五三	〇・一〇四	〇・二七三	〇・四一五	〇・五六八	〇・七三〇	〇・八九二	一・〇四六	一・二〇八	一・三七四	一・五一三
五二	〇・九九八	〇・二六六	〇・四〇八	〇・五六〇	〇・七二二	〇・八八四	一・〇三八	一・二〇〇	一・三六二	一・五〇一
五一	〇・九九二	〇・二六〇	〇・四〇一	〇・五五三	〇・七一五	〇・八七七	一・〇三〇	一・一九二	一・三五四	一・四九三
五〇	〇・九八六	〇・二五三	〇・三九四	〇・五四六	〇・七〇八	〇・八七〇	一・〇二二	一・一八四	一・三四六	一・四八五
四九	〇・九八〇	〇・二四七	〇・三八七	〇・五三九	〇・七〇〇	〇・八六二	一・〇一四	一・一七六	一・三三八	一・四七七
四八	〇・九七四	〇・二四〇	〇・三八〇	〇・五三二	〇・六九四	〇・八五六	一・〇〇六	一・一六八	一・三三〇	一・四六九
四七	〇・九六八	〇・二三三	〇・三七三	〇・五二五	〇・六八七	〇・八四八	一・〇〇〇	一・一六二	一・三二四	一・四六三
四六	〇・九六二	〇・二三六	〇・三七六	〇・五二八	〇・六九〇	〇・八五〇	一・〇〇〇	一・一六六	一・三二八	一・四六七
四五	〇・九五六	〇・二三〇	〇・三七〇	〇・五二二	〇・六八四	〇・八四四	一・〇〇〇	一・一六〇	一・三二二	一・四六一
四四	〇・九五〇	〇・二二三	〇・三六四	〇・五一六	〇・六七八	〇・八四〇	一・〇〇〇	一・一五四	一・三一六	一・四〇五
四三	〇・九四四	〇・二二六	〇・三五七	〇・五一〇	〇・六七二	〇・八三六	一・〇〇〇	一・一四八	一・三一〇	一・四〇〇
四二	〇・九三八	〇・二二〇	〇・三五〇	〇・五〇四	〇・六六六	〇・八三二	一・〇〇〇	一・一四二	一・三〇四	一・三九四
四一	〇・九三二	〇・二一三	〇・三四三	〇・四九八	〇・六六〇	〇・八二八	一・〇〇〇	一・一三六	一・二九八	一・三八八
四〇	〇・九二六	〇・二〇七	〇・三四六	〇・四九二	〇・六五四	〇・八二四	一・〇〇〇	一・一三〇	一・二九二	一・三八二
三九	〇・九二〇	〇・二〇〇	〇・三四〇	〇・四八六	〇・六四八	〇・八二〇	一・〇〇〇	一・一二四	一・二八六	一・三七六
三八	〇・九一四	〇・一九四	〇・三三三	〇・四八〇	〇・六四二	〇・八一六	一・〇〇〇	一・一二八	一・二八〇	一・三七〇
三七	〇・九〇八	〇・一八七	〇・三二六	〇・四七四	〇・六三六	〇・八一〇	一・〇〇〇	一・一二二	一・二七四	一・三六四
三六	〇・九〇二	〇・一八〇	〇・三一九	〇・四六八	〇・六三〇	〇・八〇四	一・〇〇〇	一・一一六	一・二六八	一・三五八
三五	〇・八九六	〇・一七四	〇・三二二	〇・四六二	〇・六二四	〇・七九八	一・〇〇〇	一・一一〇	一・二六二	一・三五二
三四	〇・八九〇	〇・一六七	〇・三一五	〇・四五六	〇・六一八	〇・七九二	一・〇〇〇	一・一〇四	一・二五六	一・三四六
三三	〇・八八四	〇・一六一	〇・三〇八	〇・四五〇	〇・六一二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・〇九八	一・二五〇	一・三四〇
三二	〇・八七八	〇・一五〇	〇・三〇一	〇・四四四	〇・六〇六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・〇九二	一・二四四	一・三三四
三一	〇・八八二	〇・一四四	〇・二九四	〇・四三八	〇・六〇〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・〇八六	一・二三八	一・三二八
三〇	〇・八七六	〇・一三八	〇・二八七	〇・四三二	〇・五九四	〇・七八八	一・〇〇〇	一・〇八〇	一・二三二	一・三二二
二九	〇・八七〇	〇・一八二	〇・二八〇	〇・四二六	〇・五八八	〇・七八二	一・〇〇〇	一・〇七四	一・二二六	一・三一六
二八	〇・八六四	〇・一七六	〇・二七三	〇・四二〇	〇・五八二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・〇六八	一・二二〇	一・三一〇
二七	〇・八五八	〇・一七〇	〇・二六六	〇・四一四	〇・五七六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・〇六二	一・二一四	一・三〇四
二六	〇・八五二	〇・一六四	〇・二五九	〇・四〇八	〇・五七〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・〇五六	一・二〇八	一・二九八
二五	〇・八四六	〇・一五八	〇・二五二	〇・四〇二	〇・五六四	〇・七八八	一・〇〇〇	一・〇五〇	一・二〇二	一・二九二
二四	〇・八四〇	〇・一五二	〇・二四五	〇・三九六	〇・五五八	〇・七八二	一・〇〇〇	一・〇四四	一・一九六	一・二八六
二三	〇・八三四	〇・一四六	〇・二三八	〇・三九〇	〇・五五二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・〇三八	一・一九〇	一・二八〇
二二	〇・八二八	〇・一四〇	〇・二八一	〇・三八四	〇・五四六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・〇三二	一・一八四	一・二七四
二一	〇・八二二	〇・一三四	〇・二七四	〇・三八八	〇・五四〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・〇二六	一・一七八	一・二六八
二〇	〇・八一六	〇・一三〇	〇・二七〇	〇・三八四	〇・五四六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・〇二二	一・一七四	一・二六四
一九	〇・八一〇	〇・一二四	〇・二六六	〇・三八〇	〇・五四二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・〇一八	一・一七〇	一・二六〇
一八	〇・八〇四	〇・一二〇	〇・二六二	〇・三八六	〇・五四八	〇・七八二	一・〇〇〇	一・〇一四	一・一六六	一・二五六
一七	〇・七九八	〇・一一四	〇・二五八	〇・三八二	〇・五四四	〇・七八八	一・〇〇〇	一・〇一〇	一・一六二	一・二六二
一六	〇・七九二	〇・一一〇	〇・二五四	〇・三七八	〇・五四〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・〇〇六	一・一五八	一・二五八
一五	〇・七八六	〇・一〇六	〇・二五〇	〇・三七四	〇・五四六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・〇〇二	一・一五四	一・二五四
一四	〇・七八〇	〇・一〇二	〇・二四六	〇・三七〇	〇・五四二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・九九八	一・一五〇	一・二五〇
一三	〇・七八六	〇・一〇〇	〇・二四四	〇・三六八	〇・五四〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・九九六	一・一四八	一・二四八
一二	〇・七八二	〇・九九六	〇・二四〇	〇・三六四	〇・五四六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・九九二	一・一四四	一・二四四
一一	〇・七八八	〇・九九二	〇・二三六	〇・三六〇	〇・五四二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・九八八	一・一四〇	一・二四〇
一〇	〇・七八四	〇・九八八	〇・二三二	〇・三五六	〇・五四八	〇・七八二	一・〇〇〇	一・九八四	一・一三六	一・二三六
〇九	〇・七八〇	〇・九八四	〇・二三〇	〇・三五二	〇・五四四	〇・七八八	一・〇〇〇	一・九八〇	一・一三二	一・二三二
〇八	〇・七八六	〇・九八〇	〇・二三六	〇・三五八	〇・五四〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・九七六	一・一二八	一・二三八
〇七	〇・七八二	〇・九七六	〇・二三二	〇・三五四	〇・五四六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・九七二	一・一二四	一・二三四
〇六	〇・七八八	〇・九七二	〇・二三八	〇・三六〇	〇・五四二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・九六八	一・一二〇	一・二三〇
〇五	〇・七八四	〇・九六八	〇・二三四	〇・三五六	〇・五四八	〇・七八二	一・〇〇〇	一・九六四	一・一一六	一・二三六
〇四	〇・七八〇	〇・九六四	〇・二三〇	〇・三五二	〇・五四四	〇・七八八	一・〇〇〇	一・九六〇	一・一一二	一・二三二
〇三	〇・七八六	〇・九六〇	〇・二三六	〇・三五八	〇・五四〇	〇・七八四	一・〇〇〇	一・九五六	一・一二〇	一・二三八
〇二	〇・七八二	〇・九五六	〇・二三二	〇・三五四	〇・五四六	〇・七八〇	一・〇〇〇	一・九五二	一・一一六	一・二三四
〇一	〇・七八八	〇・九五二	〇・二三八	〇・三六〇	〇・五四二	〇・七八六	一・〇〇〇	一・九四八	一・一二二	一・三四〇
〇〇	〇・七八四	〇・九四八	〇・二三四	〇・三五六	〇・五四八	〇・七八二	一・〇〇〇	一・九四四	一・一一八	一・二三〇

公債株式利息一覽表

九〇	一・八〇〇	一・五〇〇	一・二〇〇	一・〇〇〇	〇・八〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
八〇	一・七〇〇	一・四〇〇	一・一〇〇	〇・九〇〇	〇・七〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
七〇	一・六〇〇	一・三〇〇	一・〇〇〇	〇・八〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
六〇	一・五〇〇	一・二〇〇	〇・九〇〇	〇・七〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
五〇	一・四〇〇	一・一〇〇	〇・八〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
四〇	一・三〇〇	一・〇〇〇	〇・七〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
三〇	一・二〇〇	〇・九〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
二〇	一・一〇〇	〇・八〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
一〇	一・〇〇〇	〇・七〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
〇〇	〇・九〇〇	〇・六〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
九〇	一・九〇〇	一・六〇〇	一・三〇〇	一・〇〇〇	〇・八〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
八〇	一・八〇〇	一・五〇〇	一・二〇〇	〇・九〇〇	〇・七〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
七〇	一・七〇〇	一・四〇〇	一・一〇〇	〇・八〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
六〇	一・六〇〇	一・三〇〇	一・〇〇〇	〇・七〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
五〇	一・五〇〇	一・二〇〇	〇・九〇〇	〇・六〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
四〇	一・四〇〇	一・一〇〇	〇・八〇〇	〇・五〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
三〇	一・三〇〇	一・〇〇〇	〇・七〇〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
二〇	一・二〇〇	〇・九〇〇	〇・六〇〇	〇・三〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
一〇	一・一〇〇	〇・八〇〇	〇・五〇〇	〇・二〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
〇〇	一・〇〇〇	〇・七〇〇	〇・四〇〇	〇・一〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇

○米價換算早見表

一圓二付	一俵四斗二付	一石二付	一圓二付	一俵四斗二付	一石二付	一圓二付	一俵四斗二付	一石二付
四〇	一〇〇〇〇	二五〇〇〇	六五	六〇〇〇〇	一五〇〇〇	九〇	四〇〇〇〇	一〇〇〇〇
四一	九七五〇	二四七五〇	六六	五七五〇〇	一四七五〇	九一	三七五〇〇	九七五〇
四二	九五〇〇	二四五〇〇	六七	五五〇〇〇	一四五〇〇	九二	三五〇〇〇	九五〇〇
四三	九二五〇	二四二五〇	六八	五二五〇〇	一四二五〇	九三	三二五〇〇	九二五〇
四四	九〇〇〇	二四〇〇〇	六九	五〇〇〇〇	一四〇〇〇	九四	三〇〇〇〇	九〇〇〇
四五	八七五〇	二三七五〇	七〇	四七五〇〇	一三七五〇	九五	二七五〇〇	八七五〇
四六	八五〇〇	二三五〇〇	七一	四五〇〇〇	一三五〇〇	九六	二五〇〇〇	八五〇〇
四七	八二五〇	二三二五〇	七二	四二五〇〇	一三二五〇	九七	二二五〇〇	八二五〇
四八	八〇〇〇	二三〇〇〇	七三	四〇〇〇〇	一三〇〇〇	九八	二〇〇〇〇	八〇〇〇
四九	七七五〇	二二七五〇	七四	三七五〇〇	一二七五〇	九九	一七五〇〇	七七五〇
五〇	七五〇〇	二二五〇〇	七五	三五〇〇〇	一二五〇〇	一〇〇	一五〇〇〇	七五〇〇
五一	七二五〇	二二二五〇	七六	三二五〇〇	一二二五〇	一〇一	一二五〇〇	七二五〇
五二	七〇〇〇	二二〇〇〇	七七	三〇〇〇〇	一二〇〇〇	一〇二	一〇〇〇〇	七〇〇〇
五三	六七五〇	二一七五〇	七八	二七五〇〇	一一七五〇	一〇三	七五〇〇	六七五〇
五四	六五〇〇	二一五〇〇	七九	二五〇〇〇	一一五〇〇	一〇四	五〇〇〇	六五〇〇
五五	六二五〇	二一二五〇	八〇	二二五〇〇	一一二五〇	一〇五	二五〇〇	六二五〇
五六	六〇〇〇	二一〇〇〇	八一	二〇〇〇〇	一一〇〇〇	一〇六	〇	六〇〇〇
五七	五七五〇	二〇七五〇	八二	一七五〇〇	一〇七五〇	一〇七	〇	五七五〇
五八	五五〇〇	二〇五〇〇	八三	一五〇〇〇	一〇五〇〇	一〇八	〇	五五〇〇
五九	五二五〇	二〇二五〇	八四	一二五〇〇	一〇二五〇	一〇九	〇	五二五〇
六〇	五〇〇〇	二〇〇〇〇	八五	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇	〇	五〇〇〇
六一	四七五〇	一九七五〇	八六	七五〇〇	九七五〇	一〇一	〇	四七五〇
六二	四五〇〇	一九五〇〇	八七	五〇〇〇	九五〇〇	一〇二	〇	四五〇〇
六三	四二五〇	一九二五〇	八八	二五〇〇	九二五〇	一〇三	〇	四二五〇
六四	四〇〇〇	一九〇〇〇	八九	〇	九〇〇〇	一〇四	〇	四〇〇〇

米價換算早見表

本表ハ公債株券(額面百圓)何株附テ何圓ニ賣買セハ何分ノ利息リトナルヤチ速ニ見出サン爲ニシタルモナリ例ヘハ四分利附帝國公債ヲ八十六圓ニ賣リタルトキハ八十六ノ縦行ト四分ノ横行ト見合セタル四分六厘五毛ヲ以テ其利息トナルヲ知ルヘシ

九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六	一〇七	一〇八	一〇九	一一〇	一一一	一一二	一一三	一一四	一一五	一一六	一一七	一一八	一一九	一二〇					
〇・一〇八	〇・一〇六	〇・一〇五	〇・一〇四	〇・一〇三	〇・一〇二	〇・一〇一	〇・一〇〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九				
〇・二一五	〇・二一三	〇・二一一	〇・二一〇	〇・二〇九	〇・二〇八	〇・二〇七	〇・二〇六	〇・二〇五	〇・二〇四	〇・二〇三	〇・二〇二	〇・二〇一	〇・二〇〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四			
〇・三二二	〇・三二〇	〇・三一八	〇・三一七	〇・三一六	〇・三一五	〇・三一四	〇・三一三	〇・三一二	〇・三一〇	〇・三〇九	〇・三〇八	〇・三〇七	〇・三〇六	〇・三〇五	〇・三〇四	〇・三〇三	〇・三〇二	〇・三〇一	〇・三〇〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九		
〇・四二九	〇・四二七	〇・四二五	〇・四二四	〇・四二三	〇・四二二	〇・四二一	〇・四二〇	〇・四一九	〇・四一八	〇・四一七	〇・四一六	〇・四一五	〇・四一四	〇・四一三	〇・四一二	〇・四一一	〇・四一〇	〇・四〇九	〇・四〇八	〇・四〇七	〇・四〇六	〇・四〇五	〇・四〇四	〇・四〇三	〇・四〇二	〇・四〇一	〇・四〇〇	九九九	九九八	九九七		
〇・五三六	〇・五三四	〇・五三二	〇・五三一	〇・五三〇	〇・五二九	〇・五二八	〇・五二七	〇・五二六	〇・五二五	〇・五二四	〇・五二三	〇・五二二	〇・五二一	〇・五二〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四		
〇・六四三	〇・六四一	〇・六三九	〇・六三八	〇・六三七	〇・六三六	〇・六三五	〇・六三四	〇・六三三	〇・六三二	〇・六三一	〇・六三〇	〇・六二九	〇・六二八	〇・六二七	〇・六二六	〇・六二五	〇・六二四	〇・六二三	〇・六二二	〇・六二一	〇・六二〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	
〇・七五〇	〇・七四八	〇・七四六	〇・七四五	〇・七四四	〇・七四三	〇・七四二	〇・七四一	〇・七四〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八		
〇・八五七	〇・八五五	〇・八五三	〇・八五二	〇・八五一	〇・八五〇	〇・八四九	〇・八四八	〇・八四七	〇・八四六	〇・八四五	〇・八四四	〇・八四三	〇・八四二	〇・八四一	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	
〇・九六四	〇・九六二	〇・九六〇	〇・九五九	〇・九五八	〇・九五七	〇・九五六	〇・九五五	〇・九五四	〇・九五三	〇・九五二	〇・九五一	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	
一・〇七一	一・〇七〇	一・〇六八	一・〇六七	一・〇六六	一・〇六五	一・〇六四	一・〇六三	一・〇六二	一・〇六一	一・〇一〇	一・〇〇九	一・〇〇八	一・〇〇七	一・〇〇六	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	
一・一七八	一・一七六	一・一七五	一・一七四	一・一七三	一・一七二	一・一七一	一・一七〇	一・一六九	一・一六八	一・一六七	一・一六六	一・一六五	一・一六四	一・一六三	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二
一・二八五	一・二八三	一・二八二	一・二八一	一・二八〇	一・二七九	一・二七八	一・二七七	一・二七六	一・二七五	一・二七四	一・二七三	一・二七二	一・二七一	一・二七〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二
一・三九二	一・三九〇	一・三八八	一・三八七	一・三八六	一・三八五	一・三八四	一・三八三	一・三八二	一・三八一	一・三八〇	一・三七九	一・三七八	一・三七七	一・三七六	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二
一・四九九	一・四九七	一・四九六	一・四九五	一・四九四	一・四九三	一・四九二	一・四九一	一・四九〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	
一・六〇六	一・六〇四	一・六〇三	一・六〇二	一・六〇一	一・六〇〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
一・七一三	一・七一〇	一・七〇九	一・七〇八	一・七〇七	一・七〇六	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
一・八二〇	一・八一八	一・八一七	一・八一六	一・八一五	一・八一四	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
一・九二七	一・九二五	一・九二四	一・九二三	一・九二二	一・九二一	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・〇三四	二・〇三二	二・〇三一	二・〇三〇	二・〇二九	二・〇二八	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・一四一	二・一三九	二・一三八	二・一三七	二・一三六	二・一三五	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・二四八	二・二四六	二・二四五	二・二四四	二・二四三	二・二四二	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・三五五	二・三五三	二・三五二	二・三五一	二・三五〇	二・三四九	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・四六二	二・四六〇	二・四五九	二・四五八	二・四五七	二・四五六	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・五六九	二・五六七	二・五六六	二・五六五	二・五六四	二・五六三	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・六七六	二・六七四	二・六七三	二・六七二	二・六七一	二・六七〇	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・七八三	二・七八一	二・七八〇	二・七八九	二・七八八	二・七八七	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
二・八九〇	二・八八八	二・八八七	二・八八六	二・八八五	二・八八四	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
三・〇〇〇	二・九九八	二・九九七	二・九九六	二・九九五	二・九九四	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三	八八二	八八一	八八〇	八七九	八七八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三
三・一〇七	三・一〇五	三・一〇四	三・一〇三	三・一〇二	三・一〇一	九九九	九九八	九九七	九九六	九九五	九九四	九九三	九九二	九九一	九九〇	八八九	八八八	八八七	八八六	八八五	八八四	八八三										

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
...

諸税納期及届出期日一覽

月	日	納期	届出期
一月
二月
三月
四月
五月
六月
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月

相續税法摘要

課税物件
 本則
 一、本法施行地ニ在ル不動産及不動産
 二、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 三、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 四、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 五、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 六、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 七、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 八、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 九、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 十、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 十一、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル
 十二、本法施行地ニ在ル不動産ノ上ニ存スル

諸税納期及届出期日一覽

相續財産標準評定

財産	標準
一般財産	相續開始ノ際本法施行地ニ在ル相續財産ノ價額ニ相續開始前一年内ニ被相續人が本法施行地ニ在ル財産ニ付シタル贈與ノ價額ヲ加ヘタルモノ、中ヨリ被相續人が本法施行地ニ住所ナク有スル時ハ(一)公課、(二)被相續人ノ葬式費用、(三)債務ヲ除キタルモノ、又被相續人が本法施行地内ニ住所ナク有セザル時ハ(一)其財産ニ係ル公課、(二)其財産ヲ目的トスル留置權、特別ノ先取特權、質權又ハ抵當權ヲ以テ擔保セザル、債務、(三)其財産ニ關スル贈與ノ義務ヲ除キタルモノヲ以テ課税價額トス
船舶	製造費中ヨリ製造後ノ年數ニ應シ一年ニ付其二十五分ノ一宛ヲ控除シタルモノヲ以テ其價額トス但シ製造後二十年ヲ経過シタルモノハ製造費ノ五分ノ一ヲ以テ其價額トス一年ニ滿タサル端數ハ之ヲ一年トシテ計算ス
地上	其土地賃借價格ノ 權利十年以下ノモノ 二倍 權利三十年以下ノモノ 三倍 權利五十年以下ノモノ 四倍 權利七十年以下ノモノ 五倍 權利九十年以下ノモノ 七倍 權利百年以上ノモノ 十倍
永小作	其土地賃借價格ノ 權利十年以下ノモノ 二倍 權利三十年以下ノモノ 三倍 權利五十年以下ノモノ 四倍 權利七十年以下ノモノ 五倍 權利九十年以下ノモノ 七倍 權利百年以上ノモノ 十倍
定期金	無期 一年ノ定期金ノ二十倍ヲ以テ其價額トス 有期 一年ノ定期金ノ二十倍ヲ以テ其價額トス 終身 目的トシテシタル人ノ年齢ニ依リ左ノ期間ニ於ケル定期金ノ總額ヲ以テ其價額トス 六十歳未満 四十倍 六十歳以上七十歳未満 三十倍 七十歳以上八十歳未満 二十倍 八十歳以上九十歳未満 十倍 九十歳以上 五倍

税率

課税價格	相續	家督
一 千圓以下	千分ノ十二	千分ノ十二
一 千圓以上 一 萬圓以下	千分ノ十五	千分ノ十五
一 萬圓以上 一 十萬圓以下	千分ノ十七	千分ノ十七
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ二十	千分ノ二十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ二十五	千分ノ二十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ三十	千分ノ三十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ三十五	千分ノ三十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ四十	千分ノ四十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ四十五	千分ノ四十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ五十	千分ノ五十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ五十五	千分ノ五十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ六十	千分ノ六十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ六十五	千分ノ六十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ七十	千分ノ七十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ七十五	千分ノ七十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ八十	千分ノ八十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ八十五	千分ノ八十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ九十	千分ノ九十
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ九十五	千分ノ九十五
一 十萬圓以上 一 十萬圓以上	千分ノ百	千分ノ百

提出書類

相續人ハ相續開始ヲ知リタル日ヨリ、遺言執行者又ハ相續財産管理人ハ就職ノ日ヨリ三箇月(此等ノ者ガ若シ帝國内ニ住所ナク有セザル時ハ六箇月)以内ニ相續財産目録及相續財産ノ價額中ヨリ控除セザルべき金額ノ明細書ヲ政府ニ提出スベキモノトス。○相續人確定シタル時ハ前記書類ヲ提出スルト同時ニ又ハ確定ノ日ヨリ一箇月以内ニ相續人ノ相續關係ヲ記シタル書面ヲ政府ニ提出スベキモノトス

相續人、遺言執行者又ハ相續財産管理人、期限内ニ前記書類ノ提出ヲ爲サ、ル時ハ政府ハ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ得。○相續人二人ナル場合ニ於テハ政府ハ一人ニ對シテノミ、催告ヲ爲スコトヲ得。○相續人、遺言執行者又ハ相續財産管理人其期間内ニ書類ヲ提出セザル時ハ政府ノ認ムル所ニ依リ課税標準ヲ決定シ、催告ニ關スル費用及税金十分ノ一ニ相當スル金額ヲ相續人、遺言執行者又ハ相續財産管理人ヨリ徴收スルコトヲ得ルモノトス。○此徴收金ニ付テハ相續人二人以上アル時ハ連帶納付ノ責ニ任シ、尙ホ其徴收ニ關シテハ國稅徴收法ノ規定ヲ準用セラル、モノトス

課税

外國ノ法律ニ依リ開始シタル相續ニ關シテハ遺產相續ニ關スル税率ヲ準用ス。相續人ノ廢除若ハ其取消ニ關スル裁判ノ確定前又ハ相續人又ハ推定遺產相續人ニ對スル税率ヲ適用シ、相續稅ヲ課スルコトヲ得。○相續人アルコトヲ證明ナラザル時ハ税率ノ最高キ相續人ニ對スル税率ヲ適用シテ相續稅ヲ課ス

右ニ及ビ三ノ場合ニ於テ課税後、相續人確定シタルトキハ税率ノ適用ヲ改訂シ税金ノ差額ヲ追徴シ又ハ之ヲ還付ス

相續稅ハ一時ニ之ヲ納付スベキモノトス。○審査ヲ求メ訴訟又ハ行政訴訟ヲ爲シタル場合ト雖、相續人、遺言執行者又ハ相續財産管理人ハ通知ヲ受ケタル金額ニ依リ税金ヲ納付スベキモノトス

税金額百圓以上ナル時ハ相續稅ニ相當スル擔保ヲ提供シ、三年以内ノ年賦延納ヲ求ムルコトヲ得。○年賦延納ヲ求メントスル者ハ課税價額決定ノ通知ヲ受ケタル後、二十日以内ニ政府ニ出願スベキモノトス

相續人、遺言執行者又ハ相續財産管理人ハ相續稅ヲ納付シ又ハ其延納ノ許可ヲ受ケタル後ニ非サレハ遺贈ノ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス。○又相續財産ヲ以テ相續稅ヲ完納スルコト能ハサルトキハ相續開始前一年以内ニ被相續人ヨリ本法施行地ニ在ル財産ノ贈與ヲ受ケタル者ハ其限度ニ於テ不足額ヲ納付スベキモノトス

價額決定

異議(此決定ニ對シテ異議アル者ハ)再審査ヲ求ムルコトヲ得。再審査ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ訴訟又ハ行政訴訟ヲ起スコトヲ得

制裁

第十一條ニ依リ提出シタル書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ相續稅ノ通脱ヲ圖リ又ハ通脱シタル者ハ其通脱シ又ハ通脱セムトシタル税金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス。但シ自首シタル者ハ其ノ税金ヲ徴收シ其罪ヲ問ハス

容積及重量ノ制限

通常郵便 容積 長一尺三寸 幅八寸五分 厚五寸
重量 第一種郵便物 百斤 第二種郵便物 五十斤

小包郵便 容積 長一尺 幅五寸五分 厚五分
重量 一貫五百匁

切手ノ失効 郵便切手は郵便物に貼付スル時ヨリ其効力ヲ失フ

郵便禁制品

一 公安ヲ害シ又ハ風俗ヲ亂スベキ文書圖書其他ノ物件
二 爆発性、發火性、又ハ危險性ノ物件、其他郵便吏員ニ危害ヲ加ヘ又ハ他ノ郵便物ニ損害ヲ與フベキ物件
三 通貨、金銀、寶石、珠玉、其他高價ノ物件ハ價格表記ト爲スニアラザレバ郵便物トシテ差出スル得ズ

郵便料完納ノ郵便物

一 郵便受取人ハ郵便料ノ完納セラレタル郵便物ノ受取方ヲ拒ムヲ得ズ
二 郵便受取人其受取ルベカラサル郵便物ヲ誤テ受取リタル時ハ速ニ其事由及居所氏名ヲ記シタル時ハ速ニ料金を納付スルヲナク再ビ郵便ニ差出スカ又ハ郵便局所ニ持参スベシ此場合ニ於テ其郵便物ヲ誤テ開封シタル時ハ之ヲ封緘シ又ハ相當ノ手當ヲ爲シタル上ニテ如上ノ手續ヲ爲スベキモノトス

郵便料未納又ハ不足ノ郵便物 受取人其不納額ニ倍ノ料金を納付シテ之レヲ受取ルコトヲ得、受取人其納付拒ム時ハ差出人ニ還付シ差出人ヨリ之ヲ徴收ス

損害賠償

賠償ノ金額

一 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル
二 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル
三 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル
四 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル

賠償ノ場合

一 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル
二 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル
三 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル
四 郵便物ノ損害ノ賠償額ハ左ノ割合ニ依ル

○内國郵便爲替

通常爲替 證書一枚ニ付 金五十圓

爲替料

通常 金六圓
電信 金三十圓
爲替料 金十五圓
爲替料 金十五圓
爲替料 金十五圓

爲替金拂渡ノ停延

一 爲替金拂渡ノ停延ノ事由ハ左ノ如シ
二 爲替金拂渡ノ停延ノ事由ハ左ノ如シ
三 爲替金拂渡ノ停延ノ事由ハ左ノ如シ

爲替ノ取扱

通常爲替ノ證書送達料 證書一枚ニ付 金五圓

通常爲替ノ證書訂正料 其差立後ハ 金三圓

通常爲替ノ拂渡及通知料 其差立後ハ 金三圓

郵便爲替ノ拂戻手数料 一口ニ付 通常爲替 金六圓

郵便爲替ノ拂渡又ハ拂戻局所ノ變更手数料 一口ニ付 金六圓

電信爲替特別取扱料 一口ニ付 金四十圓

爲替ノ再度證書ノ發行請求料 一口ニ付 通常又ハ電信爲替 金六圓

郵便爲替金拂渡通知料 一口ニ付 郵便ニ依ルモノ 金三圓

郵便爲替金ノ居宅拂手数料 一口ニ付 郵便又ハ電信爲替ハ 金四圓

内國郵便爲替

郵便貯金

預入 預入券 預入手 預入常 通則
一 郵便貯金一人一度預金ハ十銭以上トシ...

利率

利率 郵便貯金ノ利率ハ一箇年元金百分ノ五分...

拂戻

拂戻 拂戻券 拂戻手 拂戻常 通則
一 郵便貯金預入人ハ何程ニテモ郵便貯金ノ全額...

内國電信

内國電信 通常料金 特別料金 語数計算
一 片假名十五字以内 金十銭
二 片假名十五字以上 金十五銭

郵便貯金●内國電信

發受規則

<h4>差出</h4> <p>封筒ノ表面ニ「電報在中」ト記載スル時ハ無料郵便ニテ電報ノ差出チ爲スナ得ヘク又返信料前納電報ノ局待電報、別使配達電報、解船配達電報ヲ受ケタル者ハ其配達ノ時ヨリ五分時間以内ニ依テ送ル時ハ其配達人ニ依リテ電報ヲ差出スチ得、但豫納金ヲ要スル電報ハ此手續ニ依ルチ得サルモノトス</p> <p>電話加入者ハ別ニ告示スル電信局所ニ豫メ届出テ其使用ニ屬スル電話機ニ依リ電報ヲ發受スルコトヲ得、但電報一通毎ニ金三錢ヲ納ムルヲ要ス</p>	<h4>發送順</h4> <p>電報ハ至急電報、至急局報、至急私報、官報、局報、私報ノ順序ニ依リ發送シ同一順位ノ電報ハ受付ノ順序ニ依リ發送シ中繼及着信局所ニ於テハ受信ノ前後ニ依リ之ヲ發送配達ス</p> <p>電信局ヨリ陸上一里以内及其局所所在ノ市區内ハ配達直配達區域トス此區域内ニ配達スル電報ハ配達料ヲ要セス此區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方ノ指定ナキモノハ無料ノ普通郵便ヲ以テ發送ス○電報直配達區域外ニ居住スル者ハ電信局所ニ請求シテ別使、解船又ハ書留郵便ヲ以テ自己ニ宛テタル配達方ノ指定ナキ電報ノ配達ヲ受クルコトヲ得、但之ヲ受ケタル時ハ其配達料ヲ納ムヘキモノトス</p>	<h4>配達區</h4> <p>電報ノ誤達ヲ受ケタル者ハ其事由ヲ記シタル付箋ヲ爲シ直ニ之ヲ着信局所ニ返付スヘシ○此場合ニ於テハ無料郵便物トシテ郵便ニ付スルコトヲ得○其電報ヲ開封シタル者ハ更ニ封緘シ尙其事由ヲ付記スヘシ</p>	<h4>誤達</h4> <p>封筒ノ表面ニ「電報在中」ト記載スル時ハ無料郵便ニテ電報ノ差出チ爲スナ得ヘク又返信料前納電報ノ局待電報、別使配達電報、解船配達電報ヲ受ケタル者ハ其配達ノ時ヨリ五分時間以内ニ依テ送ル時ハ其配達人ニ依リテ電報ヲ差出スチ得、但豫納金ヲ要スル電報ハ此手續ニ依ルチ得サルモノトス</p>
--	--	--	--

料手料送 數及達

<h4>別使配達料</h4> <p>電信局ヨリ三里ヲ超ユル時ハ二里以内毎ニ金二十五錢ヲ増ス○北島電報局ヲ除クハ里數ニ拘ハラズ金二十錢トシ其配達費之ノ四割シタル時ハ其費額ニ依ル</p>	<h4>解船配達料</h4> <p>一通ニ付 金二十錢 一通ニ付 金七錢 一通ニ付 金二十錢</p>	<h4>外國郵送料</h4> <p>電報正寫(正寫料) 一通ニ付 金十五錢 及附覽料(附覽料) 電報一箇毎ニ 金三錢 登記料(略號登記料) 登記一箇毎ニ 年額金十二圓 登記先登記料 登記一箇毎ニ 年額金十二圓</p>
---	--	--

還料金

<h4>還料金</h4> <p>左記電報ニ關スル料金ハ其納付人ノ請求ニ依リテ之ヲ還付ス</p> <ol style="list-style-type: none"> 電信局所ノ過失ニ因リ受信人ニ到達セザルカ又ハ郵便ニテ到達シ得ヘキ時日ヨリ遅レテ到達シタル電報ノ料金但第九十七條ニ依リ發送シタルモノヲ除ク 電信局所ノ過失ニ依リ照校電報ニ誤謬ヲ生シ且ツ用辨ヲ開キタルモノノ料金但尋問ノ電報ニ依リ校正シ得タルモノヲ除ク 電信局所ノ過失ニ依リ徵收シタル過納及誤納ノ電報料金 發信人ノ請求ニ依リ配達前停止シタル電報ニ對シ前納シタル返信料、受取電報料及配達料 電報直配達區域内ニテ配達シタル電報又ハ別使、解船若ハ書留郵便ヲ以テ配達チ爲サリシ電報ニ對シ發信人ノ前納シタル配達料 返信料前納證書ヲ以テ發送シタル電報ノ料金前納額ニ滿タサルトキハ其ノ殘餘ノ料金 電報規則第四百十四條ノ場合ニ於テ和文十五字歐文五語ノ通常電報料ヲ控除セル前納ノ返信料金 返信料前納電報ニ對シ通信料前納證書ヲ發行セザリシトキ又ハ返信料前納電報ヲ配達シ能ハスシテ發行シタル證書ノ使用期間ヲ過キタルトキ若クハ交付シタル返信料前納證書ヲ其ノ使用期間ニ使用セザリシトキハ前納シタル返信料金 發信局所ニ於テ發送前ニ返還シタル電報ノ料金 	<h4>徵兵諸則摘要</h4> <p>義務年齡 凡ソ凡ソ七歳ニ至ル者ハ外ハ帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十七歳ノ間ニシテ現役ニ任ズルハ義務アリ</p> <p>適齡屆 凡ソ凡ソ七歳ニ至ル者ハ外ハ帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十七歳ノ間ニシテ現役ニ任ズルハ義務アリ</p> <p>免役 一、身體健全ニシテ學業ニ進ムル者ハ免役ニシ得ル 二、學業ニ進ムル者ハ免役ニシ得ル 三、公職ニ任ズル者ハ免役ニシ得ル 四、市町村長官ニ任ズル者ハ免役ニシ得ル</p> <p>徵集猶豫 一、在學者 二、在外者 三、移住者 四、占守島</p>
--	--

八五

新式萬年曆説明

此曆に據れば千七百年の昔より、將に來んとする二千年に至るまで、即ち三世紀間に於ける任意某日の七曜を手に取る如く求むるを得べし。例へば千九百六年の一月一日は何曜日なるかを知らんと欲せば、先づ表中の年數欄内に於て〇六年の6を見出し、其行を上を溯りて7なる索引の數字を求め、次に下の月數欄内に於て一月の1を求め、此1月に屬する横列を繰りて、其中より前に求めし7の字のある欄を押へ、其行を又上を溯りて一日なる數を探し出すべし。然るときは其側に書しある月の字は、即ち月曜日なることを意味するものにして、所要の曜日を示したるものなり。之に依つて千九百六年の元旦は月曜日なることを知る。

二十世紀中の曜日を求むるには、之にて差支へなしと雖も、若し其年が十八世紀中の年にて、千七百七十六年の元旦は何曜日にてありしやの問を解せんとするには、索引を代へて十八世紀の數に爲さざるべからず、即ち其索引3217654に就て、前法の如くして之を年數に求むるに、今度は7にあらざして3を得べし、依つて次に1月に屬する横列數字を繰りて3を求め、其行を上を溯りて、一日の1を求むれば金と得べし。即ち千七百七十六年の正月元旦は金曜日たりしを確め得たるなり。

之と同様に千八百七十六年の任意某日の曜日を知らんと欲せば、十九世紀の索引5432176を使用せざるべからざるを知らん。

猶ほ一つ注意すべきは閏年の場合にして、閏年は四、八、十二の如く、普通四年毎に來るものなるを以つて、表には、閏年の年數の前に、必らず空所を設けて、以つて一見明かに區別され得るやうに記しあり。故に若し閏年の一月又は二月に於ける某日の七曜を知らんとするときは、其閏年の年數の前にある空所の上にある索引の數に就て求むるか、又は一日後に戻して之を計へざるべからず、否らざれば折角探し出したる曜日も、正しきものにあらざるが故に、何の役にも立たざるべし。

○年數早見表

上部ハ年數及年數ニシテ其下部右方ノ數字ハ明治四十年ヨリ逆リテ數ヘタル年數ナリ例ヘバ明治初年生レナレバ四十二ナリテ辰年ナル故生レ年ト當年ノ年トチ除キ滿年三十八トシテ次ノ滿年求月表ト對照シテ何年何ヶ月ト數フベシ

甲	寛永	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六
乙	享保	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	
丙	元文	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六		
丁	寛延	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六			
戊	天明	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六				
己	寛政	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六					
庚	享和	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六						
辛	天保	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六							
壬	文久	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六								
癸	嘉永	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六									
	明治	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六										
	安政	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六											
	弘化	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六												
	元治	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六													
	慶應	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六														
	明治	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六															
	明治	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																
	明治	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																	
	明治	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																		
	明治	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																			
	明治	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																				
	明治	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																					
	明治	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																						
	明治	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																							
	明治	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																								
	明治	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																									
	明治	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																										
	明治	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																											
	明治	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																												
	明治	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																													
	明治	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六																														
	明治	三十三	三十四	三十五	三十六																															
	明治	三十四	三十五	三十六																																
	明治	三十五	三十六																																	
	明治	三十六																																		

年數早見表 ● 滿年求月表

徵兵適齡表

(明治十四年四月一日
から明治十四年四月一日)

明治四十年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十三年	明治四十四年
同二十年一月一日生方	同廿一年一月一日生方	同廿二年一月一日生方	同廿三年一月一日生方	同廿四年一月一日生方
同廿一年一月一日生方	同廿二年一月一日生方	同廿三年一月一日生方	同廿四年一月一日生方	同廿五年一月一日生方
同廿二年一月一日生方	同廿三年一月一日生方	同廿四年一月一日生方	同廿五年一月一日生方	同廿六年一月一日生方
同廿三年一月一日生方	同廿四年一月一日生方	同廿五年一月一日生方	同廿六年一月一日生方	同廿七年一月一日生方

滿十七歳トナリ國民兵ニ入ル者

廿三年一月一日生方	廿四年一月一日生方	廿五年一月一日生方	廿六年一月一日生方	廿七年一月一日生方
同廿三年一月一日生方	同廿四年一月一日生方	同廿五年一月一日生方	同廿六年一月一日生方	同廿七年一月一日生方
同廿四年一月一日生方	同廿五年一月一日生方	同廿六年一月一日生方	同廿七年一月一日生方	同廿八年一月一日生方
同廿五年一月一日生方	同廿六年一月一日生方	同廿七年一月一日生方	同廿八年一月一日生方	同廿九年一月一日生方
同廿六年一月一日生方	同廿七年一月一日生方	同廿八年一月一日生方	同廿九年一月一日生方	同三十年一月一日生方

滿年求月表

(上ハ生レ月ニテ右ハ當年ノ月ナリ其ノ求メ
メトスル月トシテ得シ)

十二月生	十一月生	十月生	九月生	八月生	七月生	六月生	五月生	四月生	三月生	二月生	一月生	算月
二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	一月
三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	二月
四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	三月
五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	四月
六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	五月
七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	六月
八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	七月
九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	八月
十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	九月
十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十月
十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十一月
一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	十二月

小賣規程改正

各位益御清榮の段奉賀候然者今般弊館小賣規程左記
の通り改正致し割引販賣仕り候間續々御注文被下度
奉希上候也 博文館小賣係

- 一金壹圓以上(郵税ヲ含マズ)
- 一金參圓以上(同)
- 一金五圓(同)
- 外二館友證乙種(有効期限二ケ年)ヲ呈ス
- 外三館友證甲種(有効期限五ケ年)ヲ呈ス

細則

- 一前記ノ割引ハ凡テ定價ニ對スル割引ニシテ雜誌、全書並ニ豫約出版品ノ如キ前金割引又ハ部數割引及ビ期限内割引實價ヲ定メタルモノニハ適用セザルモノトス
- 一館友證ヲ有セラル、向ノ御注文ニ對シテハ其有効期間ハ金額ノ多少ニ拘ハラズ一割引トス
- 一送金一圓以上ノ時若シ其ノ注文品ニシテ賣切トナリタルモノアルカ又ハ他店品等ノモノアリテ送金ノ一部預リトナリタル時ハ其ノ預金ニ對シテハ更ニ新規ノ御注文ト同様に取扱チナスモノトス
- 一文部省檢定済ノ書籍ニ限リ送金ノ多少ニ拘ハラズ又館友證ヲ有セラル、向ノ御注文ニテモ一切割引セズ
- 一御注文ニ對スル宛名ハ必ず日本橋區本町三丁目博文館小賣係ト明記セラレタシ
- 一爲替ニテ御送金ノ時ハ拂渡局指定欄ニ(十軒店)受取人指定欄ニ(博文館小賣係)ト必ズ明記セラレタシ
- 一郵券代用ハ一割増トス
- 一以上ハ内地清韓臺灣ニ適用スルモノニシテ海外ノ注文割引ニ對シテハ別ニ規程ヲ設ク

製上形大記日用當
製複許不
錢拾五金價定

明治三十九年十月廿九日印刷
明治三十九年十一月一日發行

發行兼編輯者 大橋新太郎
東京市日本橋區本町三丁目八番地

印刷者 飯田三千太郎
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一ノ十二

印刷所 株式會社秀英舎第一工場
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一ノ十二

發兌元 博文館
東京市日本橋區本町三丁目

文藝俱樂部

菊判紙數三百廿頁 ▲木版摺錦繪一枚 ▲三色版一枚 寫真版光澤紙二頁 普通寫真版八葉 挿入

文藝俱樂部發刊以來既に十星霜を過ぎぬ。此間小説に時文に將た美文に天下の名篇佳作を蒐めて、文壇に貢獻せるところ宇内に絶す。殊に講話成立後の本誌は、一面文學の思想を鼓舞し、一面戰後國民の慰藉たらんことを期し、懸賞小説を募集するの外、文學界諸大家の隨筆雜俎より落語談に至るまで、多くはまた時代の思潮に伴ひ更に時代の精神に先んじ活氣横溢、一度巻を繙かば其の途に倦くことを知らざらしむ。若夫れ彩色美麗なる木版繪と原色寫真版の艶麗人を魅するが如きに至つては、本誌を措いて他に其比を見ざるべし。

毎月一日發行 ▲正價一冊金貳拾五錢
定期増刊四回 ▲郵税一冊金貳錢五厘

●四冊金九拾五錢 ●八冊金壹圓八拾錢 ●十六冊一圓六拾錢 ●外二要郵税

寫真畫報

大判本文紙數七十二頁 ▲石版口畫三頁 ▲コロム三色版一頁 ▲着色刷數頁 ▲普通寫真版廿四頁

面白く奇麗で有益なること天下第一との評判！四面の彩色石版口畫は奇拔な時事漫畫一見頤を解く。八面の光澤版には最新式の着色華麗目を驚かす。十四回の寫真版には何人も見ざるべからざる世界の一大パノラマ。記事は七十二頁奇麗なる時評あり人物月旦あり就作落語あり武勇講談あり逸語珍聞あり滑稽噺あり旅行談ありポンチ畫あり開卷一讀三嘆寫真畫報程奇麗で有益で面白く其上比較的安價な雜誌は天下何處にも無い紳士佳人學者學生誰が讀んでも手を拍つて快哉を呼ぶのは此の雜誌です。

毎月八日發行 ▲正價一冊金貳拾錢
外に臨時増刊 ▲郵税貳錢

●四冊七拾五錢 ●八冊壹圓四拾五錢 ●十六冊貳圓八拾錢 ▲外要郵税

女學世界

菊判紙數二百八頁 ▲水彩畫二頁 ▲習字帖及習書帖六頁(内二枚彩色刷) ▲寫真版光澤紙四頁 普通四頁挿入

我邦雜誌界の女王として一大勢力を占めつゝある本誌は、今や異数の發達をなして、學窓と家庭とに數十萬の讀者を有するに至れり、是れ獨り本誌の喜びのみならず、又た以て本誌をして茲に至らしめたる一般婦人界の進歩實に賀すべきの事なりとす。由て此際一層記事に注意を加へて、實益と趣味と、華實兼備の良雜誌たらしめ、女子の品位を造る一大道場たらんことを期す、本誌紙數二百八頁、巻頭には習書手本、寫真版十六頁を載せ、内容には女子必須の新智識と、家庭經營の好材料とを收め、高等女學校其他各種女學校に在る學生に課外の教訓を授けると同時に家庭に在る主婦にも好箇の指鍼を與へ以て女子教育に貢獻する所あらんとす。

毎月五日發行 ▲正價一冊金貳拾錢
定期増刊四回 ▲郵税一冊金貳錢

●四冊金七拾五錢 ●八冊金壹圓四拾五錢 ●十六冊一圓六拾錢 ▲外二要郵税

少女世界

菊版紙數百十二頁 ▲石版口畫二頁 ▲普通寫真版四頁

從來少女方の讀物としては、少年世界や女學世界の一部を以て、これに充て、居りまし、又從つて今日女子教育の著しい發展は、到底今迄通りでは世間の希望に添ふことも出来ず、又從つて少女方の一大不幸を思ひ、茲に斷然獨立して少女世界を發行することになりまし、其編輯統監には、お馴染の小波山人が、少女訓、少女お伽噺に其卷頭を飾るべく、其他少女修養談、少女小説、少女的科學談の如きは、何れも女子教育界の知名の士に乞ふて、専ら斬新に有益なる材料を網羅し、以て後日賢母たり良妻たる人の良師たり良友たらんとするのてあります。

毎月五日發行 ▲正價一冊金拾錢
外に臨時増刊 ▲郵税壹錢五厘

●四冊參拾八錢 ●八冊金七拾五錢 ●十六冊壹圓四拾錢 ▲外要郵税

少年世界

菊判紙數百三十六頁 ▲三色版一枚 ▲石版色刷一枚 ▲光澤寫真銅版四頁挿入

毎月一日發行 ▲正價一冊金拾錢 ●四冊金三拾八錢 ●八冊金七拾五錢 ●十六冊一ヶ年分金壹圓四拾錢 ▲外三要郵稅

本誌は趣味津津たる間に、少年學生に普通教育の知識を授くるを目的とし、口繪には彩色少年畫曆の外、博物標本畫譜は西野氏の快腕になり、其他寫真四頁には、毎號斬新奇抜のものを撰ぶ、記事には小波氏のお伽噺、少年訓を始めとし、石川博士、三好博士、箕作博士、岡村博士、等の學術談の外、當代少年文學家の、傑作を網羅して、學校家庭の好伴侶たらしむ、殊に少年文壇、少年新聞、誌友俱樂部等の各欄は、之を開放して、少年諸君の遊戯場たらしむ、乞ふ續々御愛讀あらんことを。

幼年畫報

▲美麗にして趣味ある石版十六頁 ▲有益にして面白き記事二色刷十六頁 ▲光澤寫真版四頁

毎月五日發行 ▲正價一冊金拾錢 ●四冊金三拾八錢 ●八冊金七拾五錢 ●十六冊一ヶ年分金壹圓四拾錢 ▲外三要郵稅

サア、皆さん！我が幼年畫報は坊ちゃん方や嬢ちゃん達には、又と無い好い御相手。石版の極彩色刷に、寫真版や、活版の二度刷と云ふ、頗る奇麗な挿畫の上に、益に成る畫解や、面白お伽噺を加へて、實に可愛らしい畫本であります、而かもこの編輯は、お馴染の小波山人、幼年諸君の御友達、少女方の御朋輩には、此の他に誰が御座りませう。世に子を持つた親御さん方！苟も明治の新社会に、眞の家庭の樂みを知ろうと思ひなら、是非この好雜誌を迎へて、坊ちゃん嬢ちゃんの笑顏を見る事を、決してお忘れなさいませよ。

中學世界

菊判紙數二百四十頁 ▲水彩畫二頁 ▲ペン畫一頁 ▲鉛筆畫一頁 ▲色鉛筆畫一頁 ▲光澤寫真版四頁 ▲普通寫真版四頁

毎月十日發行 ▲正價一冊金貳拾錢 ●四冊金七拾五錢 ●八冊金壹圓四拾五錢 ●十六冊一ヶ年分金貳圓八拾錢 ▲外三要郵稅

中學世界は中學程度學生諸君の師友として、創刊以來茲に九年に及べり。紛々たる世上幾多の青年雜誌、朝に起り夕に仆るもの比々皆然らざるなき間に立ちて、本誌が獨り巒然頭角を抜き、年を逐ふて愈隆昌に向へるもの、亦以て其如何に天下に勢力あるを知るべし。本誌每號二百四十頁、巻頭には繪畫寫真版十六頁を掲げ、内容は悉く趣味と實益を兼ねたる名流大家の寄稿にして、中學及同程度の各種學校に在る者の絶好の同伴たり。掲載事項は時勢の趣向に従ひ着々大改善を行ひ智徳修養に、將又運動遊戯に、一切を網羅して遺算なからしめんとす。又本誌は毎號懸賞を以て汎く青年の投書を募り作文練習の場を提供す。學校以外に在る諸君も本誌を讀まば中學教育を自修するを得べし。

文章世界

菊判紙數貳百四十頁 ▲水彩畫二頁 ▲光澤寫真版四頁 ▲普通寫真版四頁

毎月十五日發行 ▲正價一冊金貳拾錢 ●四冊七拾五錢 ●八冊壹圓四拾五錢 ●十六冊貳圓八拾錢 ▲外三要郵稅

天地の間、皆文ならざるなし。山の聳ゆる川の流るゝ、人の其間に棲息せる、皆是れ文なり。文章の用たる、蓋し此の自然と此の人間とを描きてよく餘さざるにあり。本誌はこの聖代に生れて、微力ながらも、此の文章の用を講じ、文を學ぶものをして、文章の組織、文章の効力、文章の事業等を了了せしめんことを期す。殊に現今青年が、徒らに之を舞はし、語を佳麗にして、しかも實質實用に缺くる所あるを、最も遺憾とせるを以て、勉めて此方面に於て、華實兩全の文章を奨励せんと欲す。其の内容の豊富にして趣味に饒かなるは、他雜誌に見る能はざるなり。

數學世界

各科共毎月一回 ▲正價一冊金拾錢
五日發行 ▲郵 稅 壹 錢
三冊貳拾九錢宛 ●六冊五拾七錢宛 ●十二冊壹圓拾錢宛 ●三科全部三十六冊壹圓拾五錢 ▲外要郵稅

算術と三角○代數學○幾何學(紙數各八拾頁)

各科の講義は順序を追て初學者と雖も直に了解し得る如く親切に説明し、且之に新なる問題を課するは勿論毎號研究資料欄には斯道知名なる學者の意見を載し、尙每號に課題を掲出して諸子の解答を求め、自問自答欄は廣く開放して大方の投書を蒐め、殊に各種學校の試験問題は汎く拾集して之れが一法の指針を示さんとす。

物理學講義

毎月一回 ▲正價一冊金貳拾錢
十五日發行 ▲郵 稅 壹 錢 五 厘
半年分金壹圓拾錢 一年分金貳圓拾錢

泰西科學大家肖像一頁 ▲本文百三十頁 ▲菊判並製

此講義録は主として中學教育程度に由り各中學校生徒が課外研究の資料に備ふるの目的に出つ而して各部を擔當する講師は何れも物理學專攻の名家にして日常各學校に親しく教鞭を執られある實地の教授法に由り最も明快に講述す且つ各部の餘白には其學科に係ある問題を掲出して讀者の知能を啓發するに勉められたり。

表 誤 正

舊 冊	榜 行	本 文	表 大 陰 陽 中 小 曆 頭
二 九 頁	二〇〇頁	一九九頁	六 五 月 月 (正)
	二〇〇頁	一九九頁	六 ● 小 ●
三 十 日	六月三日	六月三日	六 五 月 月 (正)
	六月三日	六月三日	小 ○ 大 ○
五 月 正 十 日	六月三日	五月三十日	五 ○ (正)
	六月三日	五月三十日	三 ○
五 月 正 十 日	六月三日	五月三十日	十 ○
	六月三日	五月三十日	日 日

